

事務事業評価報告書

令和4年3月

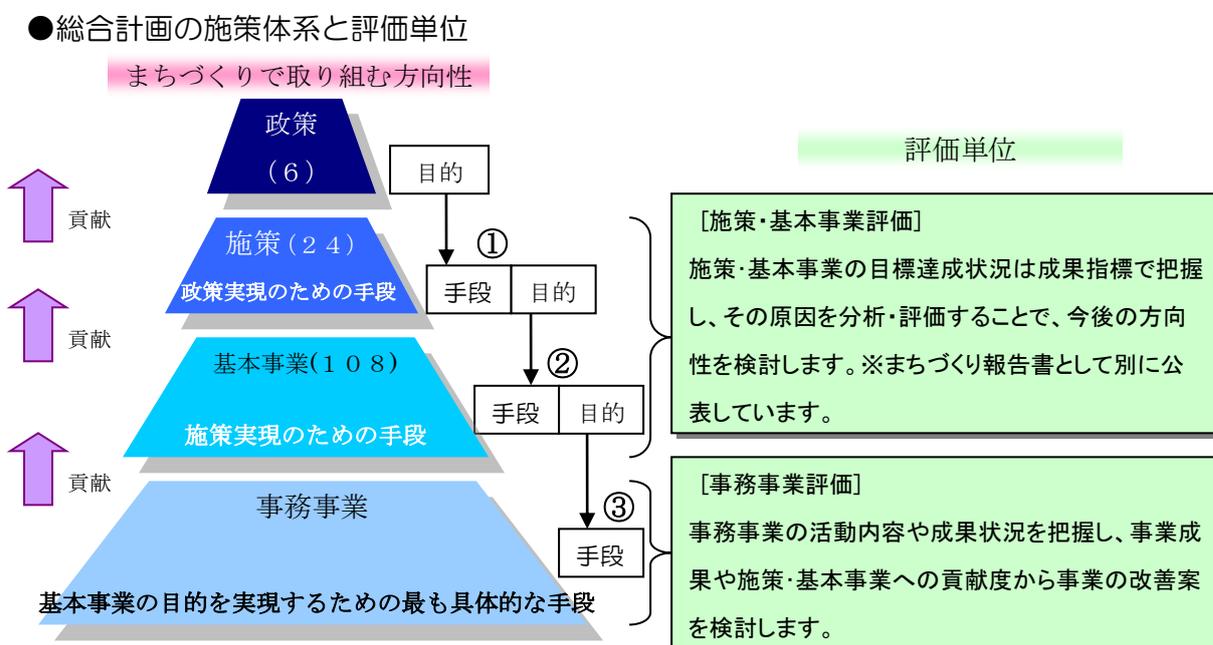
山武市

1 事務事業評価報告の基本的な考え方

(1) 施策体系の中での事務事業の役割

山武市総合計画の施策体系の設定にあたっては、まちづくりで取り組む方向性を6つの「政策」にまとめ、この実現のための手段として24の「施策」を設定し、さらに施策を108の「基本事業」に分類し、この目的達成のための事業実施の最小単位として「事務事業」を位置づけています。

総合計画は、この政策—施策—基本事業—事務事業という施策体系のもとで推進するものとしており、この施策体系はそれぞれの階層の間で、目的と手段の関係にあることを前提としています。



- ① 施策は、上位の政策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の基本事業の目的となっています。
- ② 基本事業は、上位の施策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の事務事業の目的となっています。
- ③ 事務事業は、上位の基本事業の目的を達成するための最も具体的な手段となっています。

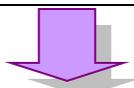
このことは、施策体系のそれぞれの階層は、そのすぐ上位の階層に貢献しなければならないと言い換えることもできます。

個々の事務事業は、それぞれの属する基本事業に必ず貢献していなければならない、貢献の度合いが低い、あるいは貢献度のない場合は事務事業を継続する理由が希薄になるということを意味します。

(2) 事務事業評価の組織決定について

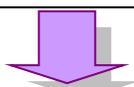
① 事業課の評価(1次評価)

事務事業を実施する担当課自らが評価者の視点に立って行う評価。



② 全庁視点での評価(2次評価)

1次評価結果をもとに、行政評価推進事務局(総務課・財政課・企画政策課の合同組織)と担当課で点検会を実施し、行政評価推進事務局が全庁的視点を持って行う評価。



③ 評価結果の決定・反映

1次評価、2次評価の結果に基づき、市長を含めた部長以上で市としての方向性を決定。

(3) 事務事業評価の報告

今回報告する事務事業評価は、令和2年度に実施した事務事業のうち、上位施策・基本事業への貢献度が高い主要な事業である計 186 事業について公開します。

具体的には、「実施計画 2020」、「令和元年度決算における主な事業」及び「行政改革関連事業」等に位置付けられている事業の中で、成果指標が設定されているものを中心に選定しています。

令和3年度の事務事業評価結果

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
1 地域核をネットワークする都市整備の推進					
1 道路網の整備・維持管理					
			交通安全施設整備管理事業	土木課	10
			道路維持補修事業	土木課	11
			交通安全施設事業	土木課	12
			避難道路整備事業	土木課	13
			成東259号線道路改良事業	土木課	14
			上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	15
			蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	16
			橋梁長寿命化修繕事業	土木課	17
			緑海239号線道路改良事業	土木課	18
2 成田空港周辺地域としての基盤整備					
			成田空港周辺対策道路・水路整備事業	土木課	19
3 浸水対策の推進					
			松尾駅周辺排水対策事業	土木課	20
4 駅周辺の利便性の向上					
			成東駅南口線整備促進事業	都市整備課	21
			成東駅北側周辺地区調査・あり方検討事業	都市整備課	22
6 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用					
			地籍調査事業	土木課	23
			住宅居住環境推進事業	都市整備課	24
			空家等対策事業	都市整備課	25
99 施策の総合推進					
			都市計画マスタープラン見直し事業	都市整備課	26
2 公共交通網の整備・充実					
1 市内における交通手段の確保					
			身近な公共交通確保事業	企画政策課	27
2 バスでの主要都市へのアクセス向上					
			空港シャトルバス利用促進事業	空港地域振興課	28
3 防災・減災対策の推進					
1 地域防災力の向上					
			自主防災組織育成事業	消防防災課	29
2 災害支援体制の確立					
			災害時要援護者支援システム管理事業	社会福祉課	30
3 防災意識の向上					
			防災用備蓄物資整備事業	消防防災課	31
			防災訓練実施事業	消防防災課	32
4 消防力の充実					
			消防ポンプ車等整備事業	消防防災課	33
5 強靱化対策の推進					
			津波避難施設整備事業	消防防災課	34
2 住みやすい環境と安全なまちづくり					
1 生活環境の充実					
2 美化運動の推進と不法投棄防止対策					
			不法投棄防止対策事業	環境保全課	35
			不法投棄パトロール事業	環境保全課	36

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
1 地域核をネットワークする都市整備の推進					
1 道路網の整備・維持管理					
3 航空機騒音等の対策					
			防音家屋冷暖房設備維持管理補助事業	空港地域振興課	37
			航空機騒音障害防止対策費交付事業	空港地域振興課	38
			航空機騒音対策空調機器設置事業	空港地域振興課	39
3 自然環境の保全					
4 再生可能エネルギー対策の推進					
			省エネルギー等対策事業	環境保全課	40
5 汚水処理の推進					
			浄化槽設置支援事業	環境保全課	41
5 防犯・交通安全の推進					
3 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備					
			駅前自転車駐車場等防犯カメラ維持管理事業	市民自治支援課	42
4 消費者トラブルの防止					
			消費生活相談事業	商工観光課	43
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり					
1 農林水産業の振興					
1 経営の安定化の推進					
			有害鳥獣駆除及び保護管理事業	農政課	44
			経営所得安定対策推進事業	農政課	45
2 担い手の育成・支援					
			認定農業者育成事業	農政課	46
			地域農業経営支援事業	農政課	47
3 農地の利用集積の推進					
			農地中間管理事業	農政課	48
5 農業基盤整備の推進					
			北総中央用水土地改良事業	農政課	49
			多面的機能事業	農政課	50
			両総茂原地区県営かんがい排水事業	農政課	51
			農業水路等長寿命化・防災減災事業	農政課	52
			ほ場整備事業	農政課	53
6 森林再生の推進					
			県単森林整備事業	農政課	54
			サンブスギ林再生・資源循環促進事業	農政課	55
			災害に強い森づくり事業	農政課	56
99 施策の総合推進					
			農業委員会運営事業	農業委員会事務局	57
2 商工業の振興と地域経済活性化					
1 市内消費の向上					
			商店等リフォーム助成事業	商工観光課	58
2 経営体の体質強化・育成					
			商工会運営支援事業	商工観光課	59
			中小企業運営資金利子補給事業	商工観光課	60
			エコノミックガーデニング推進事業	商工観光課	61
4 成田空港経済圏の形成					
			就業環境改善推進事業	空港地域振興課	62

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
1 地域核をネットワークする都市整備の推進					
1 道路網の整備・維持管理					
3 観光の振興					
1 魅力ある観光事業の推進					
			観光推進支援事業	商工観光課	63
2 海岸を活用した観光推進					
			海水浴場維持管理安全対策事業	商工観光課	64
			美しい海水浴場次世代継承事業	商工観光課	65
3 観光情報の発信					
			観光PR事業	商工観光課	66
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり					
1 高齢者福祉の充実					
1 生きがいづくりと介護予防の推進					
			ふれあいデイサービスセンター運営事業	高齢者福祉課	67
			介護予防研究事業	高齢者福祉課	68
2 介護サービス・日常生活の支援					
			老人保護措置費	高齢者福祉課	69
3 安心・安全な生活への仕組みづくり					
			緊急通報ネットワーク事業	高齢者福祉課	70
2 障がい者(児)福祉の充実					
1 自立支援サービスの促進					
			障害者自立支援事業	社会福祉課	71
2 地域生活支援の基盤づくり					
			重度心身障害者医療費助成事業	社会福祉課	72
			地域生活支援事業	社会福祉課	73
4 児童発達支援の充実					
			障害児通所等支援事業	社会福祉課	74
3 健康づくりの推進					
1 心身の健康管理の充実					
			高齢者予防接種事業	健康支援課	75
			さんぶの森元気館指定管理事業	健康支援課	76
			さんぶの森元気館改修事業	健康支援課	77
2 健診の受診率向上と生活習慣の改善					
			乳・子宮がん検診事業	健康支援課	78
			胃がん検診事業	健康支援課	79
			肺がん検診事業	健康支援課	80
			大腸がん検診事業	健康支援課	81
3 母子の健康管理					
			妊婦一般健康診査委託事業	健康支援課	82
			乳児一般健康診査委託事業	健康支援課	83
			小児予防接種事業	健康支援課	84
4 医療体制の充実					
			地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業	健康支援課	85
			医学生奨学金等貸付事業	健康支援課	86
			看護学生奨学金貸付事業	健康支援課	87
99 施策の総合推進					
			成東保健福祉センター施設管理事業	健康支援課	88

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
1 地域核をネットワークする都市整備の推進					
1 道路網の整備・維持管理					
4 子育ての支援					
1 幼保機能の充実					
			ちびっこ国際交流事業	子育て支援課	89
			まつおこども園移転整備事業	子育て支援課	90
			こども園園児健康安全管理事業	子育て支援課	91
			訪問型病児保育利用助成事業	子育て支援課	92
2 子育て不安の軽減					
			子育て支援センター運営事業	子育て支援課	93
			子育て世代包括支援センター運営事業	健康支援課	94
			産後ケア事業	健康支援課	95
3 子育て家庭への援助					
			母子家庭自立支援給付金事業	子育て支援課	96
			子ども医療費助成事業	子育て支援課	97
			高校生等医療費助成事業	子育て支援課	98
			ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業	子育て支援課	99
4 こどもの人権の尊重					
			家庭児童相談事業	子ども教育課	100
5 学童保育の充実					
			学童保育運営事業	子ども教育課	101
5 次世代形成による家族形成の支援					
			移住定住促進事業	企画政策課	102
			三世帯同居等支援事業	企画政策課	103
5 地域福祉の充実とセーフティーネットの推進					
2 社会福祉機関・団体の充実					
			社会福祉協議会補助事業	社会福祉課	104
3 生活困窮者自立支援の充実					
			生活困窮者自立相談支援事業	社会福祉課	105
4 生活保護制度の適正な実施					
			生活保護者扶助事業	社会福祉課	106
5 公営住宅の維持管理					
			市営白幡住宅施設管理運営事業	都市整備課	107
5 生涯を通じて人と人がふれあい共に学びあえるまちづくり					
1 学校教育の充実					
1 「確かな学力」の向上と「活かした学力」の推進					
			外国人英会話授業支援事業	子ども教育課	108
			英語教育推進事業	子ども教育課	109
			学力向上支援事業	子ども教育課	110
2 「健やかな体」の育成					
			児童健康安全管理事業	子ども教育課	111
			生徒健康安全管理事業	子ども教育課	112
3 「豊かな心」を育む					
			不登校対策推進事業	子ども教育課	113
			学びを広げる学校図書館づくり事業	子ども教育課	114
4 ICT教育の実践					
			中学校情報化教育環境整備事業	子ども教育課	115
			小学校情報化教育環境整備事業	子ども教育課	116
			教育情報機器管理事業	子ども教育課	117
			ICTサポート事業	子ども教育課	118

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
1 地域核をネットワークする都市整備の推進					
1 道路網の整備・維持管理					
5 教育環境の整備					
			学校のあり方検討事業	教育総務課	119
			小中学校閉校・開校事業	教育総務課	120
			小学校トイレ環境整備事業	施設整備課	121
			中学校トイレ環境整備事業	施設整備課	122
			小学校施設整備事業	施設整備課	123
			中学校施設整備事業	施設整備課	124
			松尾小学校新校舎整備事業	施設整備課	125
			日向・山武西統合小学校施設改修事業	施設整備課	126
			小学校施設改修事業	施設整備課	127
			中学校空調設備改修事業	施設整備課	128
			成東学校給食センター施設管理運営事業	学校給食センター	129
			学校給食センター施設整備事業	学校給食センター	130
6 地域と学校の協力体制の推進					
			小学校・学校評議員制度事業	子ども教育課	131
			中学校・学校評議員制度事業	子ども教育課	132
			地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業	子ども教育課	133
			放課後子ども教室開催事業	子ども教育課	134
			コミュニティ・スクール推進事業	子ども教育課	135
2 生涯学習の推進					
1 主体的な学習の推進					
			各種講座事業	公民館	136
			松尾公民館ダンス振興事業	公民館	137
			松尾公民館公営塾運営事業	公民館	138
2 生涯学習施設の利用促進					
			成東文化会館施設管理事業	文化会館	139
			成東文化会館改修事業	文化会館	140
			松尾図書館運営事業	図書館	141
			さんぶの森公園管理事業	運動公園管理事務所	142
			さんぶの森中央会館等施設改修事業	運動公園管理事務所	143
			さんぶの森公園改修事業	運動公園管理事務所	144
3 文化財の保護・活用					
			食虫植物群落保護管理事業	歴史民俗資料館	145
			伊藤左千夫顕彰事業	歴史民俗資料館	146
			成東・東金食虫植物群落国天然記念物指定百周年事業	歴史民俗資料館	147
4 芸術文化活動の充実					
			成東文化会館自主事業	文化会館	148
			さんぶの森文化ホール自主事業	文化会館	149
5 青少年の育成					
			少年海外派遣支援事業	生涯学習課	150
			山武市青少年派遣事業	生涯学習課	151
3 スポーツの振興					
1 スポーツ活動の充実					
			トップアスリートスポーツ教室事業	スポーツ振興課	152
			ポッチャ大会開催事業	スポーツ振興課	153

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
1 地域核をネットワークする都市整備の推進					
			1 道路網の整備・維持管理		
			3 体育施設の利用促進		
			成東総合運動公園維持管理事業	運動公園管理事務所	154
			蓮沼スポーツプラザ施設改修事業	運動公園管理事務所	155
4 人権尊重のまちづくり					
			1 人権教育・人権啓発の推進		
			子ども人権(CAP)事業	子ども教育課	156
			3 男女共同参画の推進		
			男女共同参画推進事業	企画政策課	157
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり					
1 協働と交流によるまちづくり					
2 市民活動の活性化					
			市民提案型交流のまちづくり推進事業	市民自治支援課	158
			地域まちづくり事業	市民自治支援課	159
			地域まちづくりグローバル賑わい空間事業	市民自治支援課	160
			3 市民活動施設の利用促進		
			コミュニティ施設整備支援事業	市民自治支援課	161
			5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進		
			東京オリンピック・パラリンピック戦略推進事業	東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室	162
			事前キャンプ実施事業	東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室	163
2 開かれた市政とまちの魅力発信					
			1 情報発信力の充実		
			ふるさと納税推進事業	企画政策課	164
			広報さんむ作成・発行事業	秘書広報課	165
			ホームページ運営事業	秘書広報課	166
			3 議会情報の公開の推進		
			議会だより作成事業	議会事務局	167
			議会改革推進事業	議会事務局	168
3 計画的・効率的な行財政運営					
			1 行政経営の推進		
			行政評価制度推進事業	企画政策課	169
			2 人材育成と効率的な組織運営		
			職員研修事業	総務課	170
			人事評価事業	総務課	171
			組織体制見直し事業	総務課	172
			定員適正化推進事業	総務課	173
			ワークライフバランス推進事業	総務課	174
			3 健全な財政運営		
			指定管理者指定事業	企画政策課	175
			予算管理事業	財政課	176
			基金管理事業	財政課	177
			4 税収の確保		
			市税等徴収事務事業	収税課	178
			債権回収事業	収税課	179
			法的債権回収事業	収税課	180
			5 公共資産の適正化とファンリティマネジメントの推進		
			学校等跡地活用検討事業	企画政策課	181
			本庁舎管理運営事業	財政課	182
			庁用車適正配置事業	財政課	183

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
1 地域核をネットワークする都市整備の推進					
1 道路網の整備・維持管理					
			公共施設マネジメント事業	財政課	184
			庁舎感染症対策環境整備事業	財政課	185
			松尾 I T 保健センター施設等改修事業	松尾出張所	186
6 情報化の推進と適正管理					
			証明書等コンビニ交付構築事業	総務課	187
99 施策の総合推進					
			例規・法制支援事業	総務課	188
4 公正確実な事務の執行					
3 監査の充実					
			監査委員活動費	監査委員事務局	189
5 窓口サービスの向上					
			窓口サービス向上事業	市民課	190
			山武出張所事務費	山武出張所	191
			松尾出張所事務費	松尾出張所	192
			蓮沼出張所事務費	蓮沼出張所	193
			松尾出張所事務費	松尾出張所	194
99 施策の総合推進					
			議員研修事業	議会事務局	195
99 総合推進					
1 政策の総合推進					
1 施策の総合推進					
			特別定額給付金給付事業	企画政策課	196

事務事業名 交通安全施設整備管理事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 196

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

市内の交通安全の確保に必要な環境整備を図るため、交通安全施設（カーブミラー）を設置します。
 <設置方法>
 ・カーブミラー設置要望地区より申請書を提出してもらう 現地調査 設置等の決定 工事

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

見通しの悪い交差点等が解消されます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
カーブミラー新規設置基数	基	8	11	8
カーブミラー修理基数	基	50	59	50
成果状況				
カーブミラーの設置要望対応率	%	80	80	80
カーブミラー設置総数	基	3,246	3,257	3,265

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	13,618	0	0	0	162	13,456	
02年度 実績	14,687	0	0	0	4,766	9,921	
03年度 当初	9,647	0	0	0	0	9,647	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>要望にて設置基準に該当し、設置した基数は、令和2年度においては、11基です。
 <原因>市内のカーブミラーの設置総数は、令和2年度で3,257基が設置されており、設置基準に該当する危険箇所には、概ね設置されています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	2.91	4.59	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	2	0	0

事務事業名 道路維持補修事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 628

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市の管理する道路
市道利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な道路の維持補修を行い道路の機能を保全することで、
通行者の安全が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

日常の道路パトロール、自治会要望、市民通報等により補修箇所を把握して、舗装、道路側溝、道路施設等の適正な維持補修を実施します。
簡易な補修については職員が対応し、それ以外については業者施工となります。
区等要望・市民通報から実施までの流れ
現地調査 補修方法の検討 補修内容により設計 実施
自治会等で実施する側溝清掃、道路補修については、重機等の貸出しや原材料の支給を行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
年間道路維持・修繕件数	件	412	353	350
年間舗装修繕・合材舗装件数	件	43	26	50
成果状況				
道路の管理瑕疵に起因する損害賠償件数	件	2	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	252,705	0	0	0	28,833	223,872	
02年度 実績	296,593	0	0	0	85,986	210,607	
03年度 当初	299,818	0	0	67,800	0	232,018	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>道路管理瑕疵に起因する損害賠償請求は、0件です。
<原因>道路等の老朽化により維持、修繕の件数は増加傾向にありますが、パトロールや通報により現地確認を迅速に行い、対応処理している結果だと考えています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	2.91	4.59	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	2	0	0

事務事業名 交通安全施設事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 637

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
市道

事務事業の内容、やり方、手順

市道利用者の通行の安全を確保するため、地元区要望や自主的な判断により整備の必要な箇所を把握し、区画線やガードレール等の設置を行います。
要望から実施までの流れ
地元区からの要望 現地調査 工事箇所の選定
測量・調査 工事実施
整備内容
ガードレール・転落防護柵・区画線等の工事の実施

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路の交通安全環境を良好に整備し、利用者の安全を確保し、交通事故発生件数の減少を図ります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
年度当たりの防護柵等設置箇所数	箇所	4	6	6
成果状況				
年度当たりの交通事故発生件数	件	121	126	120

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	6,030	0	0	0	0	6,030	
02年度 実績	8,005	0	0	0	0	8,005	
03年度 当初	5,729	0	0	0	0	5,729	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 交通事故発生件数(人身事故)は126件で前年度と比較して5件増加しております。
< 原因 > 通学路交通安全プログラム等、計画通りに危険な箇所の整備を行っておりますが、今後も交通環境の充実を進めてまいります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	2.91	4.59	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	2	0	0

事務事業名 避難道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	平成 24 年度 ~ 令和 02 年度		事務事業整理番号 1652

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

木戸川河口付近を含む緑海地区の海岸周辺市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海岸周辺市民の安全と命を守り、安心安全な生活環境の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

震災時に避難場所まで遠距離避難を余儀なくされる地域などに住む人が、安全に避難するために、避難道路を整備します。
 整備内容 延長 = 2.95Km 幅員 = 8.0m (車道部)
 総事業費 1,202,040千円
 平成25年度 調査設計
 平成26年度 調査設計、関係機関協議
 平成27年度 用地買収、工事
 平成28年度 用地買収、工事
 平成29年度 用地買収、工事
 平成30年度 用地買収、工事
 令和元年度 用地買収、工事
 令和2年度 用地買収、工事 令和3年度 用地買収、工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
工事発注件数	回	2	3	1
関係機関(警察等)との協議回数	回	2	3	1
成果状況				
市道改良済延長	m	2,550	2,640	2,870
用地買収面積	m ²	7,777	8,299	8,373

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							96,914
02年度 実績							126,144
03年度 当初							(250,537)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 用地買収面積は、8,299m²で順調に進んでいますが、一部用地交渉が難航しています。
 <原因>
 相続等に時間を要しているためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	2.91	4.59	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	2	0	0

事務事業名 成東259号線道路改良事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	平成25年度～令和05年度		事務事業整理番号 1762

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により、道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。
 整備内容 延長1.2Km 幅員11m
 総事業費 600,000千円
 平成25年度 交差点部詳細設計
 平成26年度 用地測量、設計、関係機関協議
 平成27年度 用地買収
 平成28年度 用地買収、工事
 平成29年度 用地買収、工事
 平成30年度 用地買収、工事
 令和元年度 用地買収、工事
 令和2年度 用地買収、工事 令和3年度 用地買収、工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
年度当たりの市道成東259号線道路改良延長	m	100	315	245
年度当たりの道路用地買収面積	m ²	480.05	30.49	449.56
成果状況				
市道成東259号線道路改良済延長	m	100	300	800

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	82,764	25,424	0	54,400	2,116	824	38,108
02年度 実績	111,142	17,080	0	88,400	0	5,662	
03年度 当初	141,654	60,000	0	77,500	0	4,154	(50,551)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 道路改良済延長は300mです。
 <原因> 平成25年度から設計を行い、平成28年度から工事着手しました。一部の区間では路盤開放をし、地盤を安定させています。成果は順調に上がっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	2.91	4.59	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	2	0	0

事務事業名 上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	平成 26 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 1796

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東地区の海岸周辺市民
災害対応従事者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の日常の利便性が向上します。また、災害時の避難行動や救助活動等が迅速化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、木戸川河口の周辺地域を含む緑海地区と防災拠点である成東総合運動公園へのアクセス道路を整備します。
 整備内容 延長=1.8km 幅員=9.5m
 総事業費 359,000千円
 平成26年度 用地測量、設計
 平成27年度 設計、関係機関協議
 平成28年度 工事発注
 平成29年度 用地買収、文化財調査、工事
 平成30年度 用地買収、工事
 令和元年度 用地買収、工事
 令和2年度 用地買収、工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
年度当たりの道路改良延長	m	400	800	400
関係機関との協議回数	回	2	2	2
成果状況				
市道改良済み延長	m	600	1,400	1,800

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							104,325
02年度 実績	102,682	47,335	0	0	0	55,347	122,691
03年度 当初	106,617	50,000	0	45,000	0	11,617	(38,618)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 市道改良延長は1400mです。今年度は、買収済区間(800m)の施工を行いました。用地補償については、概ね順調に交渉を続けておりますが、一部難航しております。
 < 原因 > 相続等により、時間を要しているためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	2.91	4.59	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	2	0	0

事務事業名 蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	平成 26 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 1797

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東地区の海岸周辺市民
災害対応従事者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の日常の利便性が向上します。また、災害時の避難行動や救助活動等が迅速化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、蓮沼地域（殿下・川下地区）から防災拠点である蓮沼避難タワーへのアクセス道路を整備します。
 整備内容 延長=1.6km 幅員=10.0m
 総事業費 452,000千円
 平成26年度 用地測量、設計
 平成27年度 設計、関係機関協議
 平成28年度 工事着手
 平成29年度～
 令和2年度 用地買収、工事
 令和3年度 用地買収、工事
 令和4年度 工事完了予定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
年度当たりの市道改良延長	m	0	0	200
関係機関との協議回数	回	2	2	2
成果状況				
市道改良済み延長	m	200	597	797

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	61,349	28,964	0	30,700	916	769	115,902
02年度 実績	42,370	22,087	0	19,800	0	483	
03年度 当初	119,076	49,500	0	66,000	0	3,576	(63,000)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 市道改良延長は0mです。
 <原因> 令和2年度は140mの完成断面の改良工事を行っていますが、令和3年度に繰越をしているため、令和2年度の実績はありません。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	2.91	4.59	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	2	0	0

事務事業名 橋梁長寿命化修繕事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1826

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

橋りょう通行者の安全が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市で管理する橋梁について、平成25年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき計画的に補修工事を実施します。道路交通の安全性を確保するため、点検を実施し、計画見直しを行います。平成30年度に見直しを行い、中期計画として10年間の点検実施期間を設けています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
年間橋梁修繕件数	件	1	1	4
成果状況				
橋梁の管理瑕疵に起因する損害賠償件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	53,343	20,369	0	14,900	0	18,074	23,937
02年度 実績	71,674	35,750	0	21,100	0	14,824	
03年度 当初	113,849	54,855	0	15,100	0	43,894	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>橋梁の管理瑕疵に起因する損害賠償件数は、前年度と同様、0件です。
 <原因>山武市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、適正な修繕を実施しているためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	2.91	4.59	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	2	0	0

事務事業名 緑海239号線道路改良事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	令和02年度～令和04年度		事務事業整理番号 2069

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により、道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。
 整備内容 延長0.3km 幅員12m
 総事業費 175,000千円
 令和元年度 地質調査、測量設計、用地測量
 令和2年度 鑑定、物件調査、工事、用地買収
 令和3年度 用地買収、工事
 令和4年度 用地買収、工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
年度当りの市道緑海239号線道路改良延長	m	0	0	250
成果状況				
市道緑海239号線道路改良済延長	m	0	0	250

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	2,365	0	0	0	0	2,365	
03年度 当初	83,047	36,750	0	44,900	0	1,397	(54,232)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 令和2年度は、千葉県警察本部交通規制課との道路協議等を実施しました。一部遅れはあるものの、概ね順調に進められております。
 <原因> 計画する道路が保安林区域に指定されているため、解除に時間を要しているためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	2.91	4.59	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	2	0	0

事務事業名 成田空港周辺対策道路・水路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	02	基本事業名	成田空港周辺地域としての基盤整備
計画年度	平成 29 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1974

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成田空港周辺地域（松尾地区・蓮沼地区）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成田空港へのアクセス道路整備や、その整備の影響に伴う付帯施設の整備を行い、生活道路機能の充実と、安全・利便性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅や側溝等の整備により道路機能を充実することで、道路利用者の安全と利便性の向上を図ります。

整備箇所 松尾地区・蓮沼地区

工事選定までの流れ

現地調査 工事箇所の選定

地元協議 測量・調査 用地・補償 工実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
市の管理する生活道路・水路の測量調査及び工事件数	件	15	41	31
成果状況				
工事延長	m	1,100	1,820	1,130

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	119,935	0	0	0	71,432	48,503	
02年度 実績	103,485	0	0	0	58,486	44,999	11,055
03年度 当初	98,833	0	0	0	3,000	95,833	(22,076)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 緊急性や重要性を勘案し、地元協力のもと工事を実施しています。
 < 原因 > 計画通りに事業が行われているため、成果としては順調に上がっているものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
成田空港関連事業実施箇所数（延べ）	箇所	30	76	48

事務事業名 松尾駅周辺排水対策事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	03	基本事業名	浸水対策の推進
計画年度	平成 28 年度 ~ 令和 04 年度		事務事業整理番号 1902

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民 浸水区域

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

浸水区域が減少し、浸水被害が低減されます。

事務事業の内容、やり方、手順

浸水被害状況及び浸水区域を把握し、実施設計により対策工法を検討し、浸水対策工事を実施します。	
H28 基本設計	検討面積：151ha
H29 実施設計	設計対象面積：46ha 工事延長L=1,818m 雨水貯留施設1基
H30 対策工事	
R 1 対策工事	
R 2 対策工事	
R 3 対策工事	
R 4 対策工事	

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
浸水対策工事実施延長	m	0	0	580
成果状況				
浸水面積	ha	46	46	46

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	51,484	0	0	48,000	0	3,484	75,217
02年度 実績	132,957	0	0	34,200	98,112	645	605,222
03年度 当初	741,001	0	0	703,900	0	37,101	(181,996)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 松尾駅周辺排水対策事業スケジュールにより、雨水貯留施設（調整池）工事を発注しました。
<原因> 工事実施延長の実績は0mですが、貯留施設の工事を実施したためです。 周辺住民のご理解、ご協力を得て、事業の遂行ができています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
床上浸水件数	件	61	0	0

事務事業名 成東駅南口線整備促進事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	04	基本事業名	駅周辺の利便性の向上
計画年度	平成 24 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 1548

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

都市計画道路

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成東駅南口へのアクセス向上が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

1. 成東駅南口線の整備	
H29	用地・物件の調査等 用地・補償契約 準備工事
H30	用地・補償契約 工事 事業計画変更認可手続（事業施工期間延長）
H31～R5	用地・補償契約 工事

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
年度当たりの整備率（事業費ベース）	%	67.6	100	100
成果状況				
満足度	%	47	43.5	43
全体整備率（事業費ベース）	%	63.7	67.7	88.34

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	12,005	0	0	11,400	0	605	2,533
02年度 実績	7,541	0	0	7,100	0	441	4,059
03年度 当初	22,076	0	0	20,900	0	1,176	(5,026)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 駅周辺の利便性に対する満足度は43.5%で、昨年度実績より3.5ポイント低下しましたが、上位基本事業のめざそう値（43%）は達成しています。全体の整備率（事業費ベース）は67.7%で、昨年度実績より4ポイント向上しましたが、整備完了までの事業進捗には遅延がみられます。

< 原因 > 代替地の希望による交渉の難航などにより、用地の収用が進んでいないことが事業進捗遅延の原因となっています。また、事業進捗の遅れが満足度の低下にもつながっていると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
駅周辺の利便性に対する満足度	%	47	43.5	43

事務事業名 成東駅北側周辺地区調査・あり方検討事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	04	基本事業名	駅周辺の利便性の向上
計画年度	平成 30 年度 ~ 令和 06 年度		事務事業整理番号 1994

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東駅北側周辺地区における地権者、地元市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

消防活動困難地域での地域防災機能、通学路の安全性、移動の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

成東駅北側地区における道路整備の実現化を図ります。

- ・現況調査（道路・用排水路断面調査）
- ・地盤高調査
- ・地質調査（ボーリング調査・2箇所）
- ・地盤検証
- ・公図調整図等の作成（地権者情報等）
- ・地区説明会（意向の確認・整備における検証）
- ・都市計画道路（主要道路）の検討及び手続き
- ・道路設計（概略及び詳細設計）
- ・道路等の整備（主要道路、幹線道水路等）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
地区及び関係機関との調整回数	回	2	9	5
業務委託の完了数		0	2	1
成果状況				
進捗率	%	33	43	79

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	2,459	0	0	0	0	2,459	
02年度 実績	4,730	0	0	0	0	4,730	5,844
03年度 当初	9,235	0	0	0	0	9,235	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和 2 年度の進捗率は43%で、当初予定していた現況調査等については、年度内に終了しましたが、地区説明会は道路の構造や位置が決定していないため、開催しませんでした。
 < 原因 > 計画道路については、既存道路を拡幅することで計画を進めていましたが、山武成東ICから国道へのアクセス向上を図るための関係機関との協議により道路線形の変更が必要となったことで一部遅れが生じました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
駅周辺の利便性に対する満足度	%	47	43.5	43

事務事業名 地籍調査事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
計画年度	平成 07 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 635

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武地域の土地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

土地の境界と面積等が明確になり、正確な土地の状況が登記簿と公図に反映されます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武地区を対象として、土地一筆ごとにその所有者、地番、地目、境界の調査を行い、測量を実施することにより、正確な地図「地籍図」と簿冊「地籍簿」を作成します。

- ・説明会の開催
- ・一筆地調査
- ・一筆地測量、地積測定
- ・土地所有者による閲覧
- ・県の検査、国の認定
- ・地籍図と地籍簿を法務局へ送付

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
説明会開催回数	回	1	0	2
立会い調査回数	回	320	372	300
成果状況				
地籍調査実施面積	km ²	0.74	0.82	0.85
地籍調査後の法務局に送付した筆数	筆	355	697	487

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	39,846	0	22,064	0	88	17,694	
02年度 実績	42,312	0	22,573	0	78	19,661	
03年度 当初	42,406	0	19,813	0	79	22,514	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 説明会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催せず書面で通知しました。一筆地調査については、年の計画どおり業務を順調に進めることができました。法務局には2区域の成果を送付し順調です。しかし、国の認証手続きが遅延している区域があります。

原因 認証手続きについては、東日本大震災に伴う国・県の受け入れ不可期間があったため、遅れが蓄積しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
空家対策数	件	8	19	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 住宅居住環境推進事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
計画年度	平成 24 年度 ~ 令和 03 年度		事務事業整理番号 1666

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の事業者を活用してリフォームを行う市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

住宅の居住環境が向上し、市の地域経済が活性化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

1. 対象者
 - ・市内在住で、住民基本台帳に登録されている人
 - ・世帯全員が市税等を滞納していない人
 - ・本制度を利用したことのない世帯
2. 対象住宅
 - ・市内に申請者が自ら居住している住宅
3. 対象工事
 - ・住宅のリフォーム工事
4. 補助金額
 - ・事業費の1/10 上限20万円
 - ・予算の範囲内での実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
申請受付件数	件	36	21	15
成果状況				
補助金執行率（事業費ベース）	%	83.9	42.5	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	5,037	563	0	0	0	4,474	
02年度 実績	2,554	0	0	0	0	2,554	
03年度 当初	3,008	0	0	0	0	3,008	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 申請受付件数は当初計画の30件に対して、21件と減少しており、また、補助金執行率についても当初計画の90%に対して、42.5%となっており、47.5ポイント減少しました。
 < 原因 > 令和2年度は、コロナウイルス対応として、通年2回（5月・8月）の申請受付を1回（8月）としたこととや令和元年台風15号等の影響により市内請負業者の不足が生じたことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
空家対策数	件	8	19	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 空家等対策事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
計画年度	令和 01 年度 ~	年度	事務事業整理番号 1999

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、空家等

事務事業の内容、やり方、手順

空家の発生抑制・予防として啓発パンフレットの配布を行いました。
管理不全の解消として現地調査を実施し、助言や支援制度の検討などを行うとともに、特定空家等の認定及び法に基づく指導書の送付を行いました。
利活用・市場流通の促進として空家バンクへの登録啓発のためパンフレットの配布を行いました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市空家等対策計画に基づく空家等対策事業の実施により、空家等が適正に管理されます

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
空家対策協議会の回数	回	2	1	2
空家への通知、指導数	件	54	71	50
成果状況				
空家の相談件数	件	54	76	50
特定空家の認定数（累計）	件	0	5	8

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	3,077	0	0	0	0	3,077	
02年度 実績	2,328	0	0	0	0	2,328	
03年度 当初	3,966	0	0	0	0	3,966	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 空家の相談件数は76件で昨年度と比較し22件の増加、特定空家の認定数は5件で昨年度と比較して5件の増加となり、事業進捗としては維持・横ばいです。
< 原因 > 令和2年度に啓発チラシの区長回覧を行ったことから市民への空家対策の周知が図られ、空家の相談件数が増加したと考えられます。今後、長期的には、少子高齢化、人口減少の進展により市内の空家が増加傾向にあり、空家の増加に比例して相談件数も増加していくことが予想されます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
空家対策数	件	8	19	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 都市計画マスタープラン見直し事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	令和 02 年度 ~ 令和 03 年度		事務事業整理番号 2080

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、職員、都市計画マスタープラン

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

現状の土地利用計画に合致した内容が計画へ反映され、長期的な視点に立ったまちづくりが実現されます。

事務事業の内容、やり方、手順

計画準備（作業実施方針の検討）
 計画条件の整理（計画の変更要素の整理）
 現行基礎データ更新（人口、産業、土地利用等）
 部門別整備構想及び地域別構想の改定
 各種会議の開催（庁内会議、策定委員会）
 都市計画審議会の開催
 パブリックコメントの実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
策定委員会等の開催回数	回		1	1
庁内会議等の開催回数	回		1	1
成果状況				
策定スケジュールに対する進捗率	%		90	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							
03年度 当初							(9,515)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和2年度中に策定予定でしたが遅延が生じました。
 <原因>新型コロナウイルス感染症の影響により、策定委員会等が行えず、業務に遅れが生じたためです。
 なお、令和3年6月末に策定済みです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値

事務事業名 身近な公共交通確保事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	02	施策名	公共交通網の整備・充実
基本事業番号	01	基本事業名	市内における交通手段の確保
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 102

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民 交通弱者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

日常生活の移動手段が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

<ul style="list-style-type: none"> ・山武市地域公共交通活性化協議会へ補助金を交付し、協議会運営、基幹バス及び乗合タクシーの運行等を実施しました。 ・さんむ成田線路線バス実証実験運行を終了しました（令和2年度）。 ・JR日向駅前上屋建築工事を実施しました（令和2年度）。 ・平成30年度に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」に基づき、各交通手段の連携・維持向上を図り、より公共交通を使いやすい環境づくりに取り組んでいます。
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
基幹バス・乗合タクシー年間運行延回数	回	47,429	40,816	39,100
成果状況				
基幹バス・乗合タクシー1日当たりの利用者数	人	264	205	232

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	79,975	8,148	0	0	0	71,827	
02年度 実績	100,190	8,148	1,000	0	6,664	84,378	
03年度 当初	106,830	0	0	0	0	106,830	(568)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<p><状況> 基幹バス・乗合タクシー年間運行延回数は、前年度と比べ6,613人減少、約14%低下しました。また、1日当たりの利用者数は、前年度と比べ59人減少、約23%低下しました。</p> <p><原因> 年間運行延回数の減少は、基幹バスの運行便数と乗合タクシーの運行時間に変更はありませんでしたが、乗合タクシーの利用者の減少から運行回数が減少したことが要因です。また、1日当たりの利用者数の減少は、コロナ禍において、不要不急の外出や移動の自粛が求められたことが影響したと考えられます。</p>

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市内移動の交通手段に困っている市民の割合	%	34.5	35.8	35.8
基幹バスの年間利用者数	人	47,854	34,640	48,000
乗合タクシーの年間利用者数	人	47,462	39,131	47,000
バス運行状況の満足度	%	42.4	38.4	39

事務事業名 空港シャトルバス利用促進事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	02	施策名	公共交通網の整備・充実
基本事業番号	02	基本事業名	バスでの主要都市へのアクセス向上
計画年度	平成 13 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 105

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
芝山鉄道延伸連絡協議会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内と成田国際空港間の交通利便性が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

空港シャトルバスは、芝山鉄道延伸連絡協議会（山武市、芝山町及び横芝光町で構成）が実施する事業で、成田国際空港と九十九里地域を結ぶバス路線を確保・充実することにより、地域住民の交通の利便性向上を図ります。
<バスの運行ルート等>
空港第2旅客ターミナル～横芝屋形海岸 停留所17箇所（うち山武市内9箇所）
大型バス2台で1日往復12便
乗車料金：1回300円（ICカード利用270円）
小学6年生まで及び障害者150円（ICカード135円）、小学6年生までの障害者80円（ICカード68円）、保護者同伴の乳幼児無料

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
年間運行のべ回数	本	8,784	8,760	8,760
協議会（総会・幹事会）の開催回数	回	4	4	4
成果状況				
年間利用者数（山武市内9停留所）	人	27,594	14,132	41,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	18,197	0	0	0	966	17,231	
02年度 実績	26,023	0	0	0	1,704	24,319	
03年度 当初	24,945	0	0	0	0	24,945	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>年間利用者数が令和元年度と比較して、約13,400人が減少しています。
<原因>長引くコロナ禍の影響により、空港従業員や観光客等の空港利用者数が引き続き低迷したためと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
東京・千葉方面への1日当たりのバス利用者数	人	1,117	605	1,332
成田空港方面への1日当たりのバス利用者数	人	68.5	33.4	95

事務事業名 自主防災組織育成事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進
基本事業番号	01	基本事業名	地域防災力の向上
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1072

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

区、自治会
自主防災組織

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害発生時に自分たちの地域の自主的な災害復旧活動が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

いざ災害が起こったときに「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて、区会、自治会単位で自主的に活動する組織の結成を促進します。結成した自主防災組織を対象に千葉県地域防災力向上総合支援補助金を活用し1組織当たり40万円を限度に必要な資機材の購入費に補助金を交付します。自主防災組織の活動費として、年間3~7万円を限度に交付します。自主防災組織のメンバーやボランティア精神旺盛な市民に防災士資格を取得してもらい、市内防災力の向上を図ります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
関係機関（区長連合会、区、自治会）説明回数	回	1	0	1
活動促進事業補助金交付件数	件	29	9	68
成果状況				
新規結成自主防災組織数（当該年度）	組織	7	4	1
自主防災組織数（合計）	組織	81	85	89

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	3,925	0	1,950	0	0	1,975	
02年度 実績	3,332	0	1,640	0	0	1,692	
03年度 当初	4,000	0	1,950	0	0	2,050	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 活動促進事業補助金交付件数は前年度と比較して20件減少し、9件となりました。
< 原因 > 補助対象となる防災訓練等の活動を、コロナ禍の影響により自粛したことが原因と考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
自主防災組織数	組織	81	85	72
各地区防災訓練実施率	%	46.2	46.2	70
避難行動要支援者名簿の情報提供に同意した人数の割合	%	22.3	88.1	75

事務事業名 災害時要援護者支援システム管理事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進
基本事業番号	02	基本事業名	災害支援体制の確立
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1688

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

避難行動要支援者
（災害対策基本法第49条の10第1項）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害時における避難行動要支援者の生命及び身体を災害から保護するため、円滑かつ迅速な避難の確保を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

災害対策基本法に基づく避難行動要支援者名簿(以下、「名簿」)を、区・自主防災組織・福祉関係者等の避難支援等関係者(以下、「支援関係者」)に情報の提供を行なえるようシステムにより管理します。

- ・名簿の管理
住民基本台帳とシステムを連携し、名簿を常時更新します。
- ・平時における支援関係者への名簿情報の提供(年度毎)
毎年新規避難行動要支援者へ、支援関係者への名簿情報提供の意向確認を行い、拒否者以外の名簿を作成します。
名簿の取扱いに関する協定を締結した関係者へ名簿を提供します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
避難支援台帳登録者数	人	10,951	11,998	12,000
成果状況				
名簿提供件数	件	0	208	12

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	7,479	0	0	0	0	7,479	
02年度 実績	954	0	0	0	0	954	
03年度 当初	681	0	0	0	0	681	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和2年度から名簿提供を開始し提供数は、208件となりました。
(地区82、自主防災組織13 民生委員113)

< 原因 > システムを更新し、名簿を提供できる体制を構築したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率	%	100	100	100

事務事業名 防災用備蓄物資整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進
基本事業番号	03	基本事業名	防災意識の向上
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1101

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（避難者）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害時に避難者へ供給する食料、飲料水、生活必需品等が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

災害の発生に備え、避難所で必要となる食料、飲料水、生活必需品等の物資を市内の小中学校等の備蓄倉庫へ備蓄します。また、賞味期限が近い備蓄食料や飲料水については、防災訓練等で配布して有効活用します。

- ・既存備蓄物資の保存期限確認作業・備蓄物資の選定
- ・備蓄物資数量の決定
- ・備蓄物資の購入契約
- ・備蓄物資の納品・検査

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
保存食備蓄量（当該年度アルファ米購入分）	食	3,300	4,500	3,300
飲料水備蓄量（当該年度ペットボトル購入分）	ℓ	2,640	0	2,640
成果状況				
年度末保存食備蓄量（アルファ米）	食	16,500	16,500	16,500
年度末飲料水備蓄量（飲料水兼用貯水槽+ペットボトル）	ℓ	210,692	210,692	210,692

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	16,379	0	345	0	11,925	4,109	
02年度 実績	15,757	0	0	0	0	15,757	
03年度 当初	3,620	0	0	0	0	3,620	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 山武市地域防災計画では、災害発生後3日間を備蓄で対応することとしており、現在の備蓄状況で対応可能な状況を保ち順調です。

< 原因 > 各備蓄物資の期限を把握し、災害時に必要な備蓄を十分に保つよう事業を進めているためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)	項目	4.88	4.67	4.25

事務事業名 防災訓練実施事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進
基本事業番号	03	基本事業名	防災意識の向上
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1588

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・職員・防災関係機関等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害時における「自助」、「共助」の重要性が周知され、市民の防災意識が醸成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を得て、日頃から住民や関係機関が地震等の脅威を十分認識するほか、地域防災力を充実させるため、自主防災組織を中心とした訓練を毎年地域を定めて実施します。
また、市民防災意識の向上を目的としていっせい行動訓練（シェイクアウト訓練）を実施します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
防災訓練実施回数	回	0	1	1
成果状況				
防災訓練参加者数	人	0	3,876	300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	769	0	0	0	0	769	
02年度 実績	163	0	0	0	0	163	
03年度 当初	1,855	0	0	0	0	1,855	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 市民の防災意識が向上を目的としたシェイクアウト訓練を実施し、順調です。
< 原因 > 山武地域振興事務所管内一斉訓練を行うことで学校や職員の防災意識の向上が図れます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)	項目	4.88	4.67	4.25

事務事業名 消防ポンプ車等整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進	
基本事業番号	04	基本事業名	消防力の充実	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 4

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

消防ポンプ車等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

車両更新により消防力が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

更新期間の目安を20年とし、使用年限を超える消防車両について点検を実施し、状態に応じて順次更新整備を行います。

年度別更新計画

	ポンプ車、	小型ポンプ付積載車
R2年度	1台、	0台
R3年度	1台、	0台
R4年度	0台、	1台
R5年度	1台、	1台

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
粒子物質減少装置装着台数（当該年度）	台	0	0	0
使用年限到来による更新台数	台	3	1	1
成果状況				
粒子物質減少装置を装着すべきディーゼル車のうち装着していない台数	台	0	0	0
使用年数20年以上経過した台数	台	2	4	6

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	65,389	0	4,085	30,600	22,797	7,907	
02年度 実績	23,459	0	1,807	10,800	7,088	3,764	
03年度 当初	24,786	0	1,807	11,300	0	11,679	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
新規登録から20年が経過する消防車両を適切な時期に更新しています。

<原因>
不具合がある場合は点検・修理を実施し、消防車両の状態に基づく更新計画ができています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
消防団の火災出動率	%	65.8	74	70
消防団員の充足率	%	93.5	90.5	96
常備消防職員の充足率	%	98.2	97.8	100

事務事業名 津波避難施設整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進
基本事業番号	05	基本事業名	強靱化対策の推進
計画年度	平成 29 年度 ~ 令和 03 年度		事務事業整理番号 1609

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、観光客

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

津波から市民等の生命が守られます。

事務事業の内容、やり方、手順

津波避難施設（築山）の整備

- ・基本及び実施設計業務委託
- ・設置場所選定
- ・土地所有者との協議
- ・仕様書の作成
- ・入札事務手続き
- ・入札
- ・契約（工事発注）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
津波避難施設（築山）設置数	基	1	1	1
成果状況				
避難収容可能人数	人	300	300	300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	6,423	0	0	4,400	0	2,023	9,225
02年度 実績	227,653	0	0	226,900	0	753	186,505
03年度 当初	500	0	0	0	0	500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和2年度に津波避難施設（築山）の整備が終了し、順調です。

<原因>
東日本大震災で津波の被害を受けた井之内地区に、津波避難施設が整備されたことで近隣住民の津波からの避難場所が確保されました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
強靱化対策が終了した箇所・施設数（東日本大震災以降の累計）	箇所	5	7	6

事務事業名 不法投棄防止対策事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	02	基本事業名	美化運動の推進と不法投棄防止対策
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 585

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全域

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域に密着した活動により不法投棄が抑制されます。

事務事業の内容、やり方、手順

不法投棄監視員（25名）を委嘱し、不法投棄監視パトロール等の実施により不法投棄の被害拡大の防止に努めます。（定数25名、月5,000円任期2年）
不法投棄パトロール等で回収した処理困難物を業者委託により、処理します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
不法投棄監視員会議	回	1	1	2
パトロール回数	回	1,080	950	1,200
成果状況				
不法投棄監視員活動報告書による異常あり件数	件	62	37	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	2,586	0	815	0	0	1,771	
02年度 実績	2,100	0	750	0	0	1,350	
03年度 当初	2,344	0	750	0	0	1,594	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 活動状況として、令和元年度より130件減少し順調です。
< 原因 > 不法投棄監視員の監視活動パトロールにより、投棄される不法投棄ごみの発見や野焼き行為での速やかな指導に結びつき、被害拡大の防止に繋がっていることが減少の原因と考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
産業廃棄物不法投棄件数	件	13	13	4
一般廃棄物等不法投棄件数	件	100	84	87
ごみゼロ運動参加者数	人	9,571	0	10,000

事務事業名 不法投棄パトロール事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	02	基本事業名	美化運動の推進と不法投棄防止対策
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 586

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全域

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公有地（道路等）の不法投棄を早期に回収することで、市内の環境美化が維持されます。

事務事業の内容、やり方、手順

廃棄物の不法投棄を未然に防ぎ、不法投棄される恐れがある地域等のパトロールを実施し、道路、水路における公共用地に不法投棄された廃棄物を回収します。1日2名×3組体制

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
連絡調整会議	回	2	2	2
不法投棄パトロール日数	日	239	242	245
成果状況				
収集したごみ量（袋数）	袋	9,468	10,048	7,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	9,454	0	0	0	0	9,454	
02年度 実績	10,942	0	0	0	0	10,942	
03年度 当初	10,968	0	0	0	0	10,968	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 昨年よりごみ量が580袋増加しています。
 <原因> 道路沿いや山林への不法投棄が増加したことが原因と考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
産業廃棄物不法投棄件数	件	13	13	4
一般廃棄物等不法投棄件数	件	100	84	87
ごみゼロ運動参加者数	人	9,571	0	10,000

事務事業名 防音家屋冷暖房設備維持管理補助事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 114

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成田国際空港（株）の助成による空調器設置者〔騒防法第1種区域内〕
 （財）成田空港周辺地域共生財団の助成による空調器設置者〔隣接区域内及び騒防法第1種区域内〕

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・航空機騒音対策に対する満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

国土交通省告示により指定された騒防法第1種区域及び財）成田空港周辺地域共生財団が定めた第1種区域の隣接区域内で、成田国際空港(株)及び成田空港周辺地域共生財団の助成を受けて設置した冷暖房設備の維持管理費の軽減を図るため当該設置者に補助金を交付します。

12月 該当予定者に申請通知
 1月～2月 申請受付
 3月 交付

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
補助金申請件数	件	1,107	1,142	1,357
成果状況				
補助金交付件数	件	1,107	1,142	1,357

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	53,216	0	0	0	47,188	6,028	
02年度 実績	73,012	0	0	0	66,167	6,845	
03年度 当初	90,780	0	0	0	0	90,780	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和2年度の申請件数は1,142件で、令和元年度と比べ、35件増加しています。
 < 原因 > 令和2年度に騒防法第1種区域及び隣接区域が広がり、市事業で助成された機器を共生財団事業に移管したため、交付対象者が増加しました。今後、住宅防音工事に併せて設置された機器が増えることにより、交付件数の増加が見込まれます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	76.4	79.9	80

事務事業名 航空機騒音障害防止対策費交付事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策
計画年度	昭和 53 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 121

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・旧松尾町及び旧蓮沼域の全区
- ・旧成東町の木戸岡、木戸浜及び原横地区

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・航空機騒音対策に対する満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

- 成田国際空港の航空機の騒音による障害の緩和を図るため、地区が行う騒音対策事業に充てる経費を交付します。
- 交付金対象事業
1. 地区集会施設の整備及び維持管理
 2. 生活環境関連施設の整備又は改善若しくは保全
 3. 航空機災害に備える消防施設の整備等及び自主防災組織の育成
 4. 地域振興に寄与すると認められる施設の整備
 5. スポーツ又はレクリエーション活動若しくは関連施設の整備
 6. コミュニティ育成活動
 7. その他市長が特に必要と認める事業

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
交付金申請区数	区	59	59	59
成果状況				
交付金交付区数	区	59	59	59

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	31,768	0	0	0	0	31,768	
02年度 実績	45,909	0	0	0	43,060	2,849	
03年度 当初	45,751	0	0	0	0	45,751	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和2年度は59地区に交付し、横ばいです。
<原因>
交付対象の区数に増減が無かったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	76.4	79.9	80

事務事業名 航空機騒音対策空調機器設置事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1766

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

住民基本台帳に登録されている松尾地域・蓮沼地域及び成東地域の一部の住民（航空機騒音の影響を受ける地域）
ただし、成田国際空港（株）及び（財）成田空港周辺地域共生財団による民家防音工事対象住宅を除く

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

航空機騒音が軽減されています。

事務事業の内容、やり方、手順

国土交通省告示により騒防法第1種区域及び公益財団法人成田空港周辺地域共生財団が定めた第1種区域の隣接区域を除いた航空機騒音の影響を受ける地域（松尾地域・蓮沼地域及び成東地域の一部）の世帯を対象に、この区域の住宅に冷暖房機を設置する工事を実施した者に補助金を交付します。
（平成28年度以前に実施した事業を平成31年度から対象等を変更して実施）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
補助金額	千円	63,938	45,065	48,000
成果状況				
空調機器補助台数（単年度）	台	812	569	600

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	64,025	0	0	0	64,025	0	
02年度 実績	45,177	0	0	0	43,833	1,344	
03年度 当初	48,117	0	0	0	3,000	45,117	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和2年度の補助台数は569台で、令和元年度より243台減少しています。
<原因>
令和元年度は事業が開始され設置希望者が多かったが、令和2年度は希望者が落ち着いたためと思われます。10年後に更新工事が行える事業ですが、今後、希望者の減少が見込まれます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	76.4	79.9	80

事務事業名 省エネルギー等対策事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	03	施策名	自然環境の保全
基本事業番号	04	基本事業名	再生可能エネルギー対策の推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1544

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（世帯）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内の各世帯が住宅用太陽光発電設備を設置することにより、電力不足の解消及び停電時の電力確保ができ、住みやすい環境が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

地球温暖化対策の一環として、市民が住宅用太陽光発電設備を設置する場合に、設置費用の一部を補助します。

太陽光発電システム1kw20,000円（4.5kwまで）上限90,000円
定置用リチウムイオン蓄電システム 上限100,000円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
補助金を交付した世帯数	世帯	35	34	35
成果状況 この事業により住宅用太陽光発電設備を設置した世帯の総発電量	kw	49.65	43.18	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	3,605	0	3,599	0	0	6	
02年度 実績	3,721	0	3,415	0	0	306	
03年度 当初	3,306	0	2,900	0	0	406	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 補助事業を用いて設置した世帯数は、太陽光発電システム8世帯、定置用リチウムイオン蓄電システム31世帯（合計39世帯の内、5世帯は太陽光と蓄電を同時に設置）で、設置された太陽光発電システムの総発電量は43.18kwでした。総発電量は令和元年より6.47kw減少、補助金申請世帯も1件減少しました。
<原因> 太陽光発電システム導入後10年経過による売電期間終了や台風等による災害に備えた導入を検討する家庭が増加していることから、蓄電システムの導入が増加したものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
再生可能エネルギーの発電装置の普及件数	件	1,948	1,982	1,538
再生可能エネルギーの発電装置による契約発電量	kw	463,844	517,948	259,882
市の事務事業により発生する二酸化炭素の量	tCO2	4,772	4,274	5,366

事務事業名 浄化槽設置支援事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	03	施策名	自然環境の保全
基本事業番号	05	基本事業名	汚水処理の推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 598

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（新たに合併浄化槽を設置しようとする者。）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

未処理の生活排水が排出されなくなります。

事務事業の内容、やり方、手順

くみ取り便槽、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換する場合に補助を行い、合併処理浄化槽の設置を促進します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
1年間の浄化槽補助金申請件数	件	59	86	70
成果状況				
単独浄化槽設置基数	基	4,431	3,708	4,296
し尿処理世帯戸数	戸	2,041	2,012	2,084

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	47,638	15,510	16,233	0	15,336	559	
02年度 実績	69,653	26,266	23,756	0	19,631	0	
03年度 当初	58,048	20,824	19,707	0	17,517	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 合併浄化槽補助金申請件数が、前年度より27件増加しました。
 <原因>
 補助制度により、転換費用の個人負担額が軽減されたことが、申請件数が増加となった原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
BOD濃度作田川（中流域）	mg/l	1.7	1.7	2
BOD濃度木戸川（中流域）	mg/l	1.5	1.7	2
汚水処理世帯の普及率	%	44.3	55.7	44

事務事業名 駅前自転車駐車場等防犯カメラ維持管理事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進
基本事業番号	03	基本事業名	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備
計画年度	平成 21 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1232

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

監視カメラを管理することにより、犯罪が未然に防止されま

す。

事務事業の内容、やり方、手順

安心・安全な暮らしの実現及び安全・安心確保等における治安体制の整備等として、公共空間の犯罪抑止を推進するため、駅前自転車駐車場等の監視カメラを維持管理しました。

【設置場所】

・成東駅前自転車駐車場周辺（14台）

・日向駅前自転車駐車場周辺（4台）

・松尾駅前自転車駐車場周辺（2台）

【設置台数】

20台

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
防犯カメラ映像の提供数	件	12	11	6
成果状況				
自転車駐車場内での犯罪発生数	件	15	11	15
防犯カメラ映像を提供したことによる検挙数		0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	4,303	0	600	0	0	3,703	
02年度 実績	333	0	0	0	0	333	
03年度 当初	305	0	0	0	0	305	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>自転車駐車場内での犯罪発生数は11件で、前年度と比較すると4件の減少となります。映像を提供したことによる検挙数は0件で、前年度と同数です。犯人の検挙はありませんでした。
<原因>各自転車駐車場内に効果的に防犯カメラ設置され、抑止効果が十分に発揮されているため、犯罪の発生数は減少しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
防犯灯設置要望対応率	%	100	100	100
防犯カメラの設置台数(累積)	台	39	39	40

事務事業名 消費生活相談事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進
基本事業番号	04	基本事業名	消費者トラブルの防止
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 533

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

消費生活センターの運営
 開設日 月～金曜日（祝祭日及び12月29日から1月3日を除く）
 開設時間 午前9時～正午まで及び午後1時～午後4時30分まで
 業務
 ・消費生活相談員による事業者に対する消費者からの苦情に係る相談及び処理のためのあっせん
 ・消費生活における安全性の確保のために必要な情報の収集及び提供

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

消費者と事業者との間の情報や交渉力の格差が軽減され、商品及び役務についての必要な知識や判断力が養われ、消費者自らが利益を保護し自主的に行動することができるようになります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
消費生活センターへの問合せ件数	回	1,666	2,350	1,600
啓発物の配布枚数	枚	22,104	29,300	22,000
成果状況				
消費者相談件数（山武市受付分）	件	464	471	450
消費者相談件数	件	573	580	600

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	7,491	0	2,836	0	142	4,513	
02年度 実績	2,305	0	1,321	0	147	837	
03年度 当初	2,319	0	1,324	0	140	855	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 相談件数は、令和元年度より7件ほど増加しています。
 < 原因 > 消費者啓発により消費生活センターが市民に認識されてきたことが考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
消費者相談件数	件	573	580	455
消費者トラブルにあった市民の割合	%	3.4	3.3	3.3

事務事業名 有害鳥獣駆除及び保護管理事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	01	基本事業名	経営の安定化の推進
計画年度	昭和 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 451

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農作物被害

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農作物に被害を与えてる有害鳥獣をできる限り駆除することで農作物被害が軽減されています。

事務事業の内容、やり方、手順

区長回覧によるお知らせにより、各区からの申請に基づき、県へ捕獲許可申請を行い、申請のあった場所を重点的に、有害鳥獣の駆除を山武北部猟友会に委託します。期間・数については、県への申請・許可を得て限られた中で行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
申請受付件数	件	20	60	60
駆除委託数	羽・頭	510	740	850
成果状況				
有害鳥獣駆除 合計数	羽・頭	510	348	500
鳥獣による被害件数	件	50	50	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	2,669	0	497	0	0	2,172	
02年度 実績	4,081	0	392	0	0	3,689	
03年度 当初	5,410	0	910	0	0	4,500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和元年度と比較して、被害件数は同数、有害鳥獣駆除数は162羽(頭)減少しています。
 < 原因 > 獣の駆除数は概ね横ばいですが、鳥の駆除数が減少しています。なお、有害鳥獣の捕獲については、猟友会に委託、区や農家からの申請場所を重点的に実施していますが、被害件数が増加傾向にあるため、新たな対策を検討する必要があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
耕作面積	h a	2,915	2,904	2,902.8
家畜伝染病発生件数（酪農、養豚、養鶏）	件	0	0	0

事務事業名 経営所得安定対策推進事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	01	基本事業名	経営の安定化の推進		
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1602	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市農業再生協議会
農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農業経営の安定化が図られています。
産業としての持続性が回復し、農村の再生が図られています。

事務事業の内容、やり方、手順

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物（水稻）を対象に、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、主食用米から新規需要米への作付転換を支援します。市は、山武市農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進活動に必要な補助金を助成します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
生産調整面積	h a	1,000	877	1,000
成果状況				
生産調整実績	h a	455	531	530
事業加入者数	人	181	175	180

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	76,106	0	13,150	0	0	62,956	
02年度 実績	71,057	0	7,090	0	0	63,967	
03年度 当初	81,543	0	9,544	0	0	71,999	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
令和元年度と比較して、生産調整実績は76ha増加、事業加入者数は6人減少しています。
< 原因 >
生産調整実績の増加は、政府備蓄米の実績が増加したためです。事業加入者数は概ね横ばいです。人口減少等による需要減等によって主食用米の需要は減少しており、更なる米価の下落が懸念されているため、新規加入者並びに生産調整面積を増やしていく必要があります。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
耕作面積	h a	2,915	2,904	2,902.8
家畜伝染病発生件数（酪農、養豚、養鶏）	件	0	0	0

事務事業名 認定農業者育成事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援	
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	447

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内認定農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

機械・施設の導入・更新が促進され、作業の省力化・効率化が進むことで、農業経営が改善されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市内認定農業者が農業経営改善に必要とする農業用機械の購入（貨物自動車を除く。）及び農業用施設の整備に要する経費の10%以内を限度額250,000円として、同一年度内に一度限り助成します。
申請受付を4月～5月末まで行います。
なお交付を受けた翌年度については事業申請できません。
令和2年度は、新たにスマート農業関連に上乗せで助成します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
事業要望件数	件	45	47	33
補助金交付件数	件	44	44	33
成果状況				
交付額	円	6,920,442	8,849,000	9,000,000
認定農業者増加件数	人	22	5	9

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	6,920	0	0	0	0	6,920	
02年度 実績	8,849	0	0	0	0	8,849	
03年度 当初	9,000	0	0	0	0	9,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和元年度と比較して、補助金交付額は1,928,558円、認定農業者数は5人増加しています。
< 原因 > 補助金交付額の増加は、スマート農業関連機械及び施設等への上乗せ助成を開始したためです。認定農業者数の増加は、機械・施設整備に要する助成制度の優遇措置によるものと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
認定農業者数	人	364	369	389
青年等就農計画認定者数	人	6	11	20

事務事業名 地域農業経営支援事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援		
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1667

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新規就農者や農業後継者を支援することで、地域農業の担い手が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

人・農地プランを策定することにより以下の助成を受けることができます。
 農業次世代人材投資資金（原則50歳未満で、独立自営就農する方）150万円/年支給（夫婦認定225万）
 スーパーL資金の当初5年間無利子化

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
マスタープラン作成地区数	箇所	10	13	13
成果状況				
青年就農給付金支給者数	人	13	11	10
	a	0	0	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	12,005	0	11,250	0	0	755	
02年度 実績	21,420	0	21,000	0	0	420	
03年度 当初	16,695	0	15,750	0	0	945	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和元年度と比較して、農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）支給者数は2人減少しています。
 < 原因 > 資金支給期間（経営開始から5年）終了によるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
認定農業者数	人	364	369	389
青年等就農計画認定者数	人	6	11	20

事務事業名 農地中間管理事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	03	基本事業名	農地の利用集積の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1882

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

中心経営体に農地を集積・集約されるとともに、耕作放棄地の解消が図られています。

事務事業の内容、やり方、手順

担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の解消を加速化するため、農地所有者と農業経営者の間に農地中間管理機構が立つて農地の貸借等を行い、農地の集団化、経営規模の拡大、新規参入を進めます。
 ・経営転換・リタイアする個々の出し手に対する支援（経営転換協力金）出し手の全自作地を10年以上機構が借受け、担い手等に貸付けが行われる場合
 1.5万円/10a（上限50万円/戸）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
申請件数	件	196	82	100
成果状況				
申請面積	m ²	1,099,000	375,000	200,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	9,714	0	9,485	0	0	229	
02年度 実績	1,957	0	1,714	0	0	243	
03年度 当初	4,598	0	4,598	0	0	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和元年度と比較して、申請面積は724,000m²減少しています。
 < 原因 > ほ場整備事業に伴う大規模な農地の集積・集約化を令和元年度に実施したことが面積減少の主な要因です。
 なお、その他の地域では担い手や地権者に本制度の趣旨が理解され、制度を活用する方が増加傾向にあります。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
農地中間管理集積面積	ha	311.2	320.2	281

事務事業名 北総中央用水土地改良事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進	
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	480

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

北総中央用水土地改良区

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

北総中央用水土地改良区の適正な運用が行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

北総中央用水農業水利事業を推進する上で、土地改良区の運営に要する経費を対象とし、負担金及び補助金を交付します。また、山武市北総中央水推進委員の活動を支援します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
補助金交付額	千円	4,210	4,210	4,609
成果状況				
組合員数	人	100	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	6,149	0	0	0	0	6,149	
02年度 実績	6,301	0	0	0	0	6,301	
03年度 当初	6,620	0	0	0	0	6,620	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

状況
北総中央用水土地改良区の受益対象地区に用水管が順調に整備されています。

原因
推進員（19名）による啓発活動や調査協力等を実施しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	4	4	5

事務事業名 多面的機能事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1542

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

活動実施組織
活動実施組織の地区に存在する保全対象施設（農用地、開水路、パイプライン、ため池、農道）
（変更前名称：農地・水保全管理事業）

事務事業の内容、やり方、手順

活動組織が実施する活動に対し、対象農用地面積により国(50%)・県(25%)・市(25%)の負担割合により各活動組織へ交付します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

混住化や農業者の高齢化が進み、農業者だけでは管理できなくなるであろう社会情勢により、これからは非農業者を含めた地域住民で農業施設を管理していくことにより、農村環境の向上及び農業や生活環境が活性化されます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
農地維持支払交付金額・資源向上支払交付金額(長寿命化除く)	千円	13,489	13,489	13,490
資源向上支払交付金額(長寿命化)	千円	0	0	0
成果状況				
活動組織における活動実施回数	回	12	12	12

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	14,865	0	10,456	0	0	4,409	
02年度 実績	14,909	0	10,472	0	0	4,437	
03年度 当初	15,053	0	10,416	0	0	4,637	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 農用地、開水路、パイプライン、農道の保全活動が適切に実施されています。
< 原因 > 活動組織がそれぞれ計画を立て、それに基づき保全活動を実施しているためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	4	4	5

事務事業名 両総茂原地区県営かんがい排水事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進		
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1770

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

両総土地改良区

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

県営かんがい排水事業により、農業基盤整備が進捗します。

事務事業の内容、やり方、手順

県営かんがい排水事業「両総茂原南地区」の迅速かつ円滑な事業促進のため負担金を支出します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
負担金額	千円	10,196	10,839	10,072
成果状況				
償還率	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	10,195	0	0	0	0	10,195	
02年度 実績	10,839	0	0	0	0	10,839	
03年度 当初	10,072	0	0	0	0	10,072	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 県営かんがい排水事業として農業基盤の整備が順調に進捗しています。
 < 原因 > 事業に応じた負担金を適切に交付したことが原因と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	4	4	5

事務事業名 農業水路等長寿命化・防災減災事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1996

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化した農業水路等の農業水利施設の整備、更新等を地域の実情に応じて実施します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農業水利施設の整備、更新等により生産基盤が整備されています。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
整備更新等に係る事業数	件	1	1	1
成果状況				
事業実施済地区数	地区	1	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	101,498	0	33,404	0	25,603	42,491	117,732
02年度 実績	11,451	0	6,272	0	0	5,179	
03年度 当初	60,038	0	31,776	13,400	0	14,862	(108,199)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 水路整備工事に伴い水路境界の確認作業を実施しました。水路境界が確定したので、令和3年度に整備工事を発注します。

< 原因 > 土木課が主体となり工事実施地区の境界査定を行い、地権者の同意書を得ることができたのが、円滑に進んだ要因と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	4	4	5

事務事業名 ほ場整備事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1997

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

担い手へ農地が集積・集約化され、耕作放棄の発生が防止されています。

事務事業の内容、やり方、手順

担い手への農地の集積・集約化を加速するため、受益対象農地について、区画整理、農用地造成等の基盤整備事業を実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
事業実施予定地区数	地区	3	3	3
成果状況				
事業採択申請件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	37,982	0	0	0	0	37,982	
02年度 実績	50,287	0	0	0	0	50,287	
03年度 当初	49,772	0	12,000	0	0	37,772	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 3地区に土地改良事業推進員が設立され事業採択に向けて進捗しています。
 < 原因 > 推進員が地権者に対して事業の説明をしたことにより、円滑に進んでいると考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	4	4	5

事務事業名 県単森林整備事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	06	基本事業名	森林再生の推進	
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1606

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内山林

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

荒廃した森林が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

森林の適正な整備を行い、林木の健全な成長を促進し、森林の持つ多面的機能を高度に発揮する優良な森林を造成するため、造林・保育（下刈り・枝打ち・間伐・除伐等）・間伐材搬出を行う森林所有者に対して、事業費の一部を補助します。

補助率：事業費の 7 / 10以内
県 4 / 10以内 市 3 / 10程度

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
補助金額	千円	3,189	4,811	5,895
成果状況				
県単森林整備事業で整備された森林面積	ha	5.18	1.27	1
間伐材搬出量	立米	862	502	1,510

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	2,710	0	1,549	0	0	1,161	
02年度 実績	2,712	0	1,550	0	0	1,162	
03年度 当初	5,895	0	3,368	0	0	2,527	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>前年度より整備された森林整備面積は3.91ha、木材の搬出量は360立方メートル減少しました。
<原因>他事業（災害に強い森づくり事業）の予算増加や現地作業員の分散により県単森林整備事業の活動が低下していると思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所	41	33	27
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	1,700	3,735	1,400

事務事業名 サンプスギ林再生・資源循環促進事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	06	基本事業名	森林再生の推進	
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度			事務事業整理番号 1695

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内山林（溝腐病の激害林）
千葉県森林組合北総事業所等の事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

サンプスギ溝腐病に罹患した被害森林が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

森林所有者からの委託により、千葉県森林組合北総支所等が実施したサンプスギ被害林の整備に対して、整備費用の10分の7（県4/10・市3/10）を補助します。
平成21年度までは「サンプスギ森林再生事業」、平成22年度から「被害森林再生・資源循環促進事業」、平成25年度から「サンプスギ林再生・資源循環促進事業」として実施してきましたが、令和元年度から「サンプスギ林総合対策事業」として新たに実施します。
内容 被害木の伐倒、搬出及び整理
跡地への植栽
被害材の運搬

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
補助金額	円	16,227	24,381	26,861
成果状況				
サンプスギ林再生・資源循環促進事業で整備された山林面積	ha	3.96	4.02	9.46
被害材の運搬量	立米	622	2,030	4,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	4,845	0	3,688	0	0	1,157	
02年度 実績	7,428	0	5,416	0	0	2,012	11,382
03年度 当初	26,861	0	20,640	0	0	6,221	(16,953)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 整備された山林面積0.06ha、被害材の運搬量1,408立方メートル増加しました。
< 原因 > 前年度は令和元年度の房総半島台風の対応に追われましたが、今年度は台風の倒木処理も進み、作業が順調に行われたためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所	41	33	27
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	1,700	3,735	1,400

事務事業名 災害に強い森づくり事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	06	基本事業名	森林再生の推進	
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度			事務事業整理番号 2073

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内森林

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

重要インフラ施設に隣接する森林が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

重要インフラ（道路・鉄道・送配電）の施設に隣接し、林地からの風倒木や土砂流出等が当該施設に被害を及ぼす懸念を有する森林において、森林所有者及び重要インフラ施設管理者との協定に基づき伐採、更新伐等を行う事業体に対して事業費を補助します。

補助率 県:4/10以内 市2/10以内

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
補助金額	千円	45,598	65,020	46,937
成果状況				
災害に強い森づくり事業で整備された森林面積	ha	0	5.46	5
災害に強い森づくり事業で運搬された被害材の量	立米	0	750	2,125

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							44,892
03年度 当初	46,937	0	30,668	0	0	16,269	(65,020)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和元年度より整備された森林面積5.46ha、運搬された被害材の量750立方メートル増加しました。
 <原因>当初より被害材の運搬が減少した理由としては、令和元年度の房総半島台風で東京電力との運搬に関する協定に時間を要したこと、時間的に令和元年度の繰越金のみを使用したことが原因と考えられます。
 また、令和元年度3月補正で予算要求した事業であるため、令和元年度の実績はありません。
 令和2年度は令和元年度分の予算繰越をした実績となりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所	41	33	27
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	1,700	3,735	1,400

事務事業名 農業委員会運営事業

農業委員会事務局 農業委員会事務局

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 688

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業委員 農地利用最適化推進委員 農地 農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農地が適正に利用されます。
農業経営が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

農地法による権利移転や転用、農業経営基盤強化法による利用権設定等を希望する農業者に対し、申請に係る指導を行い、適切な農地利用を図りました。
提出のあった農地法許可議案等は、毎月開催される総会において審議し、承認された案件については、その後速やかに許可や県への進達を行いました。
その他の事業については以下のとおり実施しました。
・農家基本台帳の整備
・農地法に基づく農地の利用状況について調査
・農業委員・農地利用最適化推進委員の研修
・法務局や裁判所等からの地目変更照会に対する調査回答

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
審議議案数	件	539	566	500
現地調査件数	件	641	657	550
成果状況				
農地申請不許可率	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	20,657	0	2,278	0	0	18,379	
02年度 実績	20,050	0	2,279	0	0	17,771	
03年度 当初	21,327	0	2,716	0	0	18,611	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
農業委員及び農地利用最適化推進委員による委員会運営が円滑に行われ、農地の適正利用が図られました。
<原因>
農地法等の法令について、事務局から農業委員及び農地利用最適化推進委員へ随時助言をしていることや委員と事務局が連携し現地確認等を実施していることが円滑に運営が行われたと思います。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値

事務事業名 商店等リフォーム助成事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化	
基本事業番号	01	基本事業名	市内消費の向上	
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1845

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

事業を活用してリフォームを行う商店等の主

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

商店等の環境が改善されることで集客と業績が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

市内で商店等を営む商工会員事業者が、集客の向上のため店舗をリフォームする場合に対して、その費用の一部を助成します。助成額は、対象経費の2分の1以内で100万円を限度とします。本事業は、市から商工会へ補助金を交付し、商工会から当該事業者に助成します。

事業実績 (R27～R2年度合計)

- ・件数 6件 (57件)
- ・補助額 4,540千円 (32,235千円)
- ・総工事費 10,380千円 (83,838千円)

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
申請受付件数	件	6	6	7
成果状況				
補助金執行率（事業費ベース）	%	86.8	92.3	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	4,340	0	0	0	0	4,340	
02年度 実績	4,616	0	0	0	0	4,616	
03年度 当初	4,000	0	0	0	0	4,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 補助金執行率は目標を大きく上回りました。

< 原因 > 新型コロナウイルス感染症への対応等の必要性から、店舗改修等の需要が高まったものと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市内で日用品や食料品を買う市民の割合	%	70.7	67.6	72

事務事業名 商工会運営支援事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	02	基本事業名	経営体の体質強化・育成
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 539

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
商工会・商工会員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

商工会が事業展開することにより、会員資質の向上や安定した経営ができるようになり、商工業が活性化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内小規模事業者に対する経営相談・指導事業の充実及び商工業の活性化を推進するため、商工業の振興に大きく貢献する商工会に対して補助金を交付します。

事業実績（山武市商工会）

会員数753名（普通会員728名、定款会員15名、特別会員10名）
相談指導件数2,493件（巡回指導1,156件、窓口指導1,336件
創業指導1件）

決算額（支出）262,280,194円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
商工会運営費補助金額	千円	11,000	11,000	11,000
成果状況				
商工会の把握する商工会加入率	%	52.3	52.7	55
商工会の実施する経営指導件数	件	3,587	2,493	2,600

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	11,000	0	0	0	0	11,000	
02年度 実績	11,000	0	0	0	0	11,000	
03年度 当初	11,000	0	0	0	0	11,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 経営指導件数、商工会加入率ともに目標を達成できませんでしたが、商工会加入率は増加しました。
< 原因 > 新型コロナウイルス感染症の影響により巡回指導が難しい状況がありました。一方、商工会加入率の増加については、コロナ禍において商工会の支援にメリットを感じた事業者が増加したことによると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	%	41.8	39.3	60.3
新規法人登録件数	件	67	83	82
支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数	社	163	235	214

事務事業名 中小企業運営資金利子補給事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	02	基本事業名	経営体の体質強化・育成
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	540

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中小企業者（対象資金の融資を受けた者）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

中小企業者の負担軽減により、経営が安定します。

事務事業の内容、やり方、手順

対象資金に対し、支払った利子の一部を補給します。
対象資金
 ・千葉県中小企業振興資金
 ・国民生活事業の事業資金融資（株式会社日本政策金融公庫）
 ・中小企業事業融資（株式会社日本政策金融公庫）
 ・その他市長が必要と認める融資制度
利子補給限度額 令和2年度
 ・年利子支払額の50%以内（延滞利子除く）
 ・1事業所に対し30万円以内
事業実績
 件数 158件（令和元年度158件）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
市内企業等数	件	1,344	1,345	1,345
成果状況				
受給率	%	11.7	11.7	12

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	10,428	0	0	0	0	10,428	
02年度 実績	14,248	0	0	0	0	14,248	
03年度 当初	11,932	0	0	0	0	11,932	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 受給率が令和元年度と比べ増減なく、目標は達成できませんでした。
 < 原因 > 新型コロナウイルス感染症に係る事業者支援策として、国の実質無利子無担保融資が行われ、借り換え等により本制度の活用を要しない事業者が出てきたことが原因として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	%	41.8	39.3	60.3
新規法人登録件数	件	67	83	82
支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数	社	163	235	214

事務事業名 エコノミックガーデニング推進事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	02	基本事業名	経営体の体質強化・育成
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1802

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内中小企業、小規模事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地元企業が成長し、雇用が確保されるとともに経営が安定します。

事務事業の内容、やり方、手順

さんむエコノミックガーデニング推進協議会を中心にエコノミックガーデニング事業を推進します。企業ヒアリングによりエコノミックガーデニング事業の推進を図ります。

事業内容

- ・さんむエコノミックガーデニング推進協議会の運営
- ・エコノミックガーデニング事業の企画、展開
- ・商圈分析などデータ構築、提供
- ・域内企業マッチング

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
活動事業数	事業	18	10	15
成果状況				
参加事業所数	所	73	74	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	9,067	4,482	0	0	0	4,585	
02年度 実績	1,744	0	0	0	872	872	
03年度 当初	3,629	0	0	0	1,718	1,911	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
協議会への参加事業所数は令和元年度から1事業所増加しており順調です。
< 原因 >
新型コロナウイルス感染症の影響により7事業が中止となり活動が縮小されましたが、10事業はコロナ禍での対応を工夫し活動できたことが参加事業所増加につながったと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	%	41.8	39.3	60.3
新規法人登録件数	件	67	83	82
支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数	社	163	235	214

事務事業名 就業環境改善推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	04	基本事業名	成田空港経済圏の形成
計画年度	平成 29 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1943

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
地域内立地企業

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民の就業先となっている地域内立地企業の就業環境が整うことで、地域内就業の向上が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

地方創生推進交付金を活用し、若年層の定住促進に資する各種調査等を行います。

<令和2年度計画>

- ・航空業界に関する小中学生向け講話事業
- ・成田空港立地企業等の就業環境調査

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
地域内就業改善事業実施検討数	件	1	1	1
成果状況				
地域内就業改善事業実施数	事業	2	2	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,275	638	0	0	0	637	
02年度 実績	938	469	0	0	0	469	
03年度 当初	138	0	0	0	0	138	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 地域内就業改善事業実施数は前年度と同数で、順調です。

<原因> 成田空港立地企業等の就業環境調査については、新型コロナウイルスの影響により当初予定していたヒアリング調査の実施が危惧されましたが、小規模で実施することにより調査を完了することができました。成田空港講和事業についても、新型コロナウイルスの影響により対面での開催が困難となりましたが、オンラインで開催することで前年度に引き続き実施することができました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
成田空港周辺自治体としての取組件数	件	7	7	9
成田空港関連の市内従業員数	人	-	-	630

事務事業名 観光推進支援事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	01	基本事業名	魅力ある観光事業の推進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	545

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・観光推進団体

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

観光振興団体がより多くの観光PR・イベントの実施をすることで、市の観光の推進及び振興を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市の観光の推進、振興のため市内の観光PR・観光イベントの実施を主たる目的とする団体の事業に対し補助金を交付します。
 年度事業計画を提出させ内容を審査し、補助金の交付を決定します。事業終了後、実績報告により補助金を清算します。
 補助金先：特定非営利活動法人山武市観光協会
 令和2年度に観光推進団体が開催を予定していた「山武市サマーカーニバル」、「山武市エコキャンドル」、「さんむS1フェスティバル」はいずれもコロナ感染予防対策のため、中止となりました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
観光案内所利用件数	件	6,670	5,859	6,800
成果状況				
イベント主催数	回	2	0	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	7,033	0	0	0	0	7,033	
02年度 実績	8,999	0	0	0	0	8,999	
03年度 当初	7,200	0	0	0	0	7,200	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> イベント主催数は前年度より2回減少しました。
 <原因> 新型コロナウイルス感染予防対策のため、イベントの開催が難しい状況が続いたことが原因となっています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
イベントの来場者数	人	5,400	0	27,300
広域(県)、民間事業者との連携事業数	件	12	5	18
体験型観光客数	人	284,076	111,100	292,500

事務事業名 海水浴場維持管理安全対策事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	553

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

<ul style="list-style-type: none"> ・観光客 ・海水浴場施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海水浴客の安全が確保されます。また、施設の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

<p>来遊する海水浴客の安全対策、海水浴場開設期間の駐車場の管理業務、海水浴場の施設管理業務を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水浴場数：5カ所
--

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託業務数	件	6	0	6
海水浴場開設日数	日	40	0	46
成果状況				
水難事故件数	件	0	0	0
苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	47,261	0	0	0	3,302	43,959	
02年度 実績	6,630	0	0	0	0	6,630	
03年度 当初	56,224	0	0	0	3,301	52,923	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<p>< 状況 > 水難事故件数と苦情件数は、前年度と同様に0件でした。 < 原因 > 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、海水浴場は不開設となりましたが、注意喚起看板の設置や海岸パトロール等の安全対策や日常的な施設管理をしっかりと実施しました。</p>
--

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	69,000	0	95,000
観光施設の維持管理上の不具合件数	件	0	0	0

事務事業名 美しい海水浴場次世代継承事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	03	施策名	観光の振興
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進
計画年度	令和 01 年度 ~	年度	事務事業整理番号 2013

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・本須賀海水浴場
- ・観光客
- ・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

ブルーフラッグ取得によるイメージアップにより、観光客が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

国際環境認証であるブルーフラッグを取得するため、下記の事業を行いました。

- ・海岸環境保全教育
- ・ビーチクリーン活動及び支援
- ・水質検査（開設前1回・開設期間中5回）
- ・安全リスク評価（3年に1回・次回は2021年度）
- ・ブルーフラッグ認証取得申請（毎年更新）

令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため、本須賀海水浴場は不開設となりました。しかし、実施した海岸環境保全への取り組みが認められ、2021年もブルーフラッグを取得しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
海岸環境教育活動回数	回	14	9	12
成果状況				
海岸環境教育活動参加者数	人	868	304	250
本須賀海水浴場入込数	人	21,535	0	46,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	12,009	0	0	0	11,992	17	
02年度 実績	2,338	0	0	0	2,336	2	
03年度 当初	7,016	0	0	0	6,920	96	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 海岸環境教育活動参加者数は、前年度より564人の減少、本須賀海水浴場入込数は皆減となりました。
 < 原因 > 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、海水浴場を不開設としたことやイベント開催を中止したことが原因となっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	69,000	0	95,000
観光施設の維持管理上の不具合件数	件	0	0	0

事務事業名 観光PR事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	03	基本事業名	観光情報の発信	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 544

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・観光客

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

観光客の来遊を誘引します。

事務事業の内容、やり方、手順

観光客の誘致促進のため観光PRイベントへの参加及びマスコットキャラクターの活用を行います。
 ・広報宣伝活動・・・スマホ・iPad・各旅行会社等（風評被害の払拭・イメージアップ等を含む）
 ・プロモーション活動・・・各種イベント活動事業
 ・情報配信媒体・・・PRポスター・販促用グッズ等

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
チラシの配布数	枚	27,588	25,500	20,000
成果状況				
ポスター掲示数	箇所	727	700	500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	3,118	0	0	0	2,029	1,089	
02年度 実績	2,280	0	0	0	984	1,296	
03年度 当初	3,092	0	0	0	1,601	1,491	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> ポスター掲示数は前年度より27箇所減少しました。
 <原因> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種観光PRイベントの開催や参加ができなかったことが原因となっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
観光案内所利用件数	件	6,670	5,859	6,800
観光協会HP等の閲覧数	人	46,945	96,491	7,200

事務事業名 ふれあいデイサービスセンター運営事業

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実
基本事業番号	01	基本事業名	生きがいづくりと介護予防の推進
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 355

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

ふれあいデイサービスセンター
65歳以上の介護保険非該当者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生きがいをもって健康づくりを行うことで、要介護認定を受ける可能性が低くなります。

事務事業の内容、やり方、手順

H29年4月からR4年3月まで、基本協定に基づき社会福祉法人緑海会に管理を委託し業務を行います。
 <ふれあいデイサービスセンターの業務>
 施設の管理及び運営 入浴サービス 生活指導 日常動作の訓練 養護 家族介護者の指導 保健予防及び健康チェック 輸送サービス
 <ふれあいデイサービスセンターの利用>
 利用時間は午前8時30分～午後5時15分
 利用期間は6か月
 利用できる者は市内の65歳以上の介護保険非該当者
 <ふれあいデイサービスセンターの利用の許可>
 緑海会に申請し許可を受けます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
開館日数	日	234	198	242
成果状況				
ふれあいデイサービス延べ利用者数	回	2,412	1,506	2,171
維持管理上の不具合件数	件	3	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	15,074	0	0	0	0	15,074	
02年度 実績	14,667	0	0	0	0	14,667	
03年度 当初	14,837	0	0	0	0	14,837	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 利用者は昨年度と比較し、906人(37.6%)減少しました。また、手洗器の排水工事を行いました。
 <原因> 利用者の減少については、新型コロナウイルス感染症予防対策による休館に起因するものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
社会参加している高齢者の割合	%	30.7	31.3	40
生きがいを持っている高齢者の割合	%	45	43.8	50
新規要支援・新規要介護認定者の割合	%	3.6	3.6	3

事務事業名 介護予防研究事業

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実
基本事業番号	01	基本事業名	生きがいづくりと介護予防の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 令和 02 年度		事務事業整理番号 1912

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適切な介護予防事業を行うことにより、自立した生活を送っています。

事務事業の内容、やり方、手順

介護給付データ等を活用し、介護予防等の効果分析を行います。分析の結果を踏まえ、今後の介護予防プログラム、介護保険計画への反映を行います。

事業手順

山武市から筑波大学へ介護給付データ等を提供
筑波大学でデータ解析、文献調査、住民聞き取り調査実施
コホート試験のため、データ解析には長期間（複数年）を要することから、今年度分の分析結果のみ市に報告

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
65歳以上の市民		17,627	17,854	
要介護認定者・要支援認定者数		2,791	2,846	
成果状況				
介護予防研究報告書数		1	1	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	4,613	0	0	0	0	4,613	
02年度 実績	4,400	0	0	0	0	4,400	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>平成28年度から実施してきた筑波大学との共同研究事業の最終年度にあたり、筑波大学から研究成果が報告されました。
<原因>市の実状に合った介護予防プログラムとして転倒骨折予防プロジェクトの提案があり、第8期介護保険事業計画に位置づけました。今後はこの計画に基づき、根拠に基づく介護予防の推進に向けた事業を準備・開始して行きます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
社会参加している高齢者の割合	%	30.7	31.3	40
生きがいを持っている高齢者の割合	%	45	43.8	50
新規要支援・新規要介護認定者の割合	%	3.6	3.6	3

事務事業名 老人保護措置費

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実
基本事業番号	02	基本事業名	介護サービス・日常生活の支援
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 367

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

概ね65歳以上の高齢者で、環境上の理由及び経済的理由から居宅での生活が困難な高齢者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

養護老人ホームに入所することにより、日常生活に対する指導及び支援が行われ、社会への適応が可能となり、自立した生活が送れるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

環境的経済的理由により居宅での生活が困難な高齢者の措置如何について、入所判定委員会において審議を行います。その結果、入所が適切と判断されれば入所措置を行い、養護します。

<手続きのながれ>

入所申出書の記入
 申出者の調査
 入所判定委員会開催（郡）
 施設へ入所依頼
 措置開始通知書、徴収金決定通知書作成
 毎月施設へ措置費を支払う
 被措置者、扶養義務者に納付書送付

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
入所判定委員会にかけ措置入所した人数	人	1	1	2
成果状況				
措置している人数	人	6	6	6

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	13,782	0	0	0	266	13,516	
02年度 実績	13,575	0	0	0	251	13,324	
03年度 当初	16,694	0	0	0	255	16,439	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和2年度に新たに措置した入所者は1名、退所者(死亡)1名の異動があり、令和2年度末時点の入所者は昨年度末と同人数(6人)でした。
 <原因>高齢社会を反映し、経済的及び環境上の理由により措置入所が必要な高齢者が増えていることが考えられます。措置入所による日常生活に対する支援を行い、併せて新規の措置入所及び措置入所継続の要否判定を慎重に判断していきます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
介護給付サービス利用率（居宅）	%	58.1	58.3	60
施設入所待機率	%	9.4	8.3	8

事務事業名 緊急通報ネットワーク事業

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実
基本事業番号	03	基本事業名	安全・安心な生活への仕組みづくり
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 357

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の高齢者のみの世帯に属する方
身体障害者1級または2級に該当する65歳未満の方のみで構成される世帯に属する方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

急病等の緊急時に適切な対応が行われ、日常生活上の不安が解消されます。

事務事業の内容、やり方、手順

高齢者世帯等に対し、緊急通報装置を貸与することにより、日常生活の不安を解消し、急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図ります。また申し出により、救急医療情報キットの配布も行います。

<事務手順>

緊急通報装置貸与申請を市に提出します。（救急医療情報キットについては、申請書を提出するのみ）
市が該当要件を審査し該当者には決定通知を郵送します。
市と委託契約した事業所が日程調整の上装置を設置します。
貸与は無料で、装置に係る費用は市が負担します。
月に一度、市と委託契約した事業所が安否確認の連絡をします。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
緊急通報装置設置申請受理件数	件	36	29	30
お元気コール実施回数	回	4,955	4,661	5,100
成果状況				
緊急通報連絡により対応した件数	件	292	243	229
緊急通報装置の設置数	台	419	366	416

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	9,264	0	0	0	0	9,264	
02年度 実績	7,615	0	0	0	0	7,615	
03年度 当初	9,707	0	0	0	0	9,707	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 昨年度と比較し、緊急通報装置の設置台数が53台(12.6%)減少し、緊急通報連絡により対応した件数も49件(16.8%)減少しました。

<原因>

設置台数の減少は、利用者の死亡、施設入所、家族との同居等の理由により撤去したことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
相談先がある高齢者の割合	%	79.7	77.9	78.4

事務事業名 障害者自立支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実
基本事業番号	01	基本事業名	自立支援サービスの促進
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1063

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障害者総合支援法に基づく障害（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）を持っている山武市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障がいのある人が自立を図るため、障害福祉サービスが受けられます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害の手帳や難病の受給者証を所持している方を対象に、障害福祉サービス（介護給付・訓練等給付等）を利用していただく事業です。

【利用申請手順】

窓口にて申請
心身の状況の調査
医師の意見書の取り寄せ
審査会にて障害支援区分の判定
サービス等利用計画の作成、提出
支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
介護給付費・訓練等給付費の支給を行った人数	人	449	488	525
成果状況				
障害者のうち介護給付費・訓練等給付費の支給を受けた割合	%	18.1	20.4	22

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	987,445	492,998	245,992	0	0	248,455	
02年度 実績	1,058,537	525,453	262,734	0	0	270,350	
03年度 当初	1,067,161	532,020	266,370	0	0	268,771	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
障害福祉サービスの支給を行った割合は、20.4%（前年度比2.3%増加）となりました。就労や共同生活を障害福祉サービスで支援し、社会復帰等に向けて自立支援をしています。
<原因>
新型コロナウイルス感染症拡大により、将来への不安等から自立支援医療受給者（精神通院）が増加したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
自立支援給付サービスの利用者数	人	588	638	540

事務事業名 重度心身障害者医療費助成事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	02	施策名	障がい者(児)福祉の充実		
基本事業番号	02	基本事業名	地域生活支援の基盤づくり		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	267	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

身体障害者手帳1・2級の所持者
療育手帳A以上の所持者
精神保健福祉手帳1級の所持者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

医療費助成を受けることにより、経済的負担が軽減されま
す。

事務事業の内容、やり方、手順

登録者の医療に要する、保険適用分の一部負担金について助成
します。

<助成内容>

・通院または入院に係る保険適用の医療費を所得状況に応じ
て、無料または1回(入院時は1日)300円負担になります。
保険調剤は、無料になります。

<助成の受け方>

・重度心身障害者医療費等助成資格認定申請書を提出します。
・認定後、交付された受給券を医療機関へ提出します。

事業活動と成果

活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
受給者数	人	816	787	861
成果状況				
対象者1人あたりの助成金額	円	122,626	122,310	124,453

事業費の推移 単位:千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	101,624	0	43,780	0	0	57,844	
02年度 実績	97,705	0	42,116	0	0	55,589	
03年度 当初	109,070	0	53,551	0	0	55,519	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和2年度の1人あたりの助成金額は122,310円で前年度と比較して316円減少し成果指標は横ばいです。
<原因>新型コロナウイルス感染症対策の影響により、医療機関の受診を控え1人あたりの助成金額が減少したと考えら
れます。

貢献する基本事業の成果

成果状況(成果指標)

	単位	01年度	02年度	めざそう値
地域生活支援事業(地域活動支援センター 型)での相談件数	件	1,833	2,300	2,050
医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数	人	1,568	1,643	1,610

事務事業名 地域生活支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者(児)福祉の充実
基本事業番号	02	基本事業名	地域生活支援の基盤づくり
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1065

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

障害者(児)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

障害のある人が、その有する能力や適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき実施します。
 コミュニケーション支援事業
 手話通訳者設置事業
 日常生活用具給付等事業
 移動支援事業
 日中一時支援事業
 訪問入浴サービス事業
 成年後見制度利用支援事業
 事前に利用申請を提出することにより事業利用を決定します。利用した事業から自己負担分を差し引いた利用料を助成します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
地域生活支援事業の数	事業	13	13	13
成果状況				
地域生活支援事業を利用することによって、自立した日常生活を営みやすくなった者	人	261	235	261

事業費の推移 単位:千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	36,051	10,067	5,034	0	0	20,950	
02年度 実績	31,827	10,223	5,111	0	0	16,493	
03年度 当初	40,323	19,857	9,990	0	0	10,476	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 地域生活支援事業の数は、過年度に引き続き13件で変更ありません。地域生活支援事業の利用者数は、令和元年度の261人から26人減少し、235人でした。
 <原因> 新型コロナウイルス感染症の拡大により利用を控える傾向が見られた日中一時支援事業では、令和元年度に比べて14人の減少でした。また、同じく利用控えの見られた移動支援事業では、14人の減少となっています。その他、令和元年度は5人の利用者があった手話奉仕員養成研修事業では、感染対策のため研修自体が中止となっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況(成果指標)

	単位	01年度	02年度	めざそう値
地域生活支援事業(地域活動支援センター 型)での相談件数	件	1,833	2,300	2,050
医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数	人	1,568	1,643	1,610

事務事業名 障害児通所等支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実
基本事業番号	04	基本事業名	児童発達支援の充実
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1995

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童福祉法に規定する障害児及び精神障害者のうち18歳未満の者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障害のある児童の生活能力の向上と自立が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害手帳を所持している児童や、発達が気になる児童に対して、障害児通所支援を利用していただく事業です。

【利用申請手順】

窓口にて申請
手帳のコピーか意見書を提出
サービス等利用計画の作成、提出
支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
通所受給者証を交付した就学前の児童数	人	60	55	55
通所受給者証を交付した就学後の児童数	人	86	95	95
成果状況				
通所支援を利用した就学前の児童の割合	%	86.7	100	100
通所支援を利用した就学後の児童の割合	%	84.9	91	91

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	114,693	54,984	28,056	0	0	31,653	
02年度 実績	148,663	74,335	38,064	0	0	36,264	
03年度 当初	139,933	69,966	34,983	0	0	34,984	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 通所支援を利用した就学前の児童の割合は100%、通所支援を利用した就学後の児童の割合は91%です。
< 原因 > 通所支援を利用した就学前の児童、就学後の児童ともに利用率が上昇しており、サービスの支給決定を受けた児童が適切に通所支援を利用しているためと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
就学前の障がい児通所支援の利用者数	人	52	55	56
切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数	回	2	1	8

事務事業名 高齢者予防接種事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	01	基本事業名	心身の健康管理の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 440

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

【インフルエンザ】接種日に 65歳以上の市民及び 60歳以上64歳までで心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に障害（身体障害者手帳1級程度）を持つ市民
 【肺炎球菌】年度内に65,70,75,80,85,90,95,100歳以上となる市民及びインフルエンザと同様の方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

接種費用の一部を助成することにより、インフルエンザ又は肺炎球菌の予防接種を受ける市民が増え、感染予防対策となります。

事務事業の内容、やり方、手順

前年度末 医療機関と調整
 4月 医療機関と契約（希望があれば随時）
 【インフルエンザ】
 9月 対象年齢等の公告、対象者個別通知及び広報等の周知 10月1日～12月31日 個別予防接種の実施
 助成額：1人年1回まで1,500円助成 対象者のうち生保世帯該当者は全額助成
 【肺炎球菌】
 4月 対象年齢等の公告、対象者個別通知及び広報等の周知 4月1日～3月31日 個別予防接種の実施
 助成額：1人1回限り2,000円助成 対象者のうち生保世帯該当者は全額助成

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
高齢者インフルエンザ予防接種者数	人	8,956	10,848	8,850
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種者数	人	666	691	747
成果状況				
インフルエンザ予防接種を受けた高齢者の割合	%	51.2	60.7	50
肺炎球菌ワクチン予防接種を受けた高齢者の割合	%	23.4	24	25

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	16,473	0	0	0	0	16,473	
02年度 実績	19,757	0	0	0	0	19,757	
03年度 当初	17,418	0	0	0	0	17,418	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 元年度と比較して、インフルエンザ予防接種は、接種者が1,892人、接種率が9.5ポイント増加しました。肺炎球菌ワクチン予防接種は、接種者が25人、接種率が0.6ポイント増加しました。
 <原因> 新型コロナウイルス感染症が流行したため、予防接種に対する関心が高まったためと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	項目	4	3.8	3.8

事務事業名 さんぶの森元気館指定管理事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	01	基本事業名	心身の健康管理の充実
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1197

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

「さんぶの森元気館」及び「利用者」

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

指定管理者による円滑な施設管理及び利用者ニーズに応じたサービスが提供され、利用者が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

さんぶの森元気館の管理運営について指定管理者に委任し、利用者ニーズに対応したサービスの提供を図るとともに、指定管理者による管理運営の円滑化を支援します。

平成22年4月1日より指定管理者による管理運営開始
平成27年4月1日～平成32年3月31日 株式会社コナミススポーツクラブに指定管理業務を委任
令和2年4月1日～令和7年3月31日 山武市元気づくりパートナーズに指定管理業務を委任

- ・指定管理者との連携を図ります。
- ・指定管理料及び市支出分修繕費等の支払いを実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
開館日数	日数	262	152	306
健康づくりプログラムレッスンの開催回数	回数	2,894	863	3,330
成果状況				
市民の年間実利用者数	人	7,135	2,772	8,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	73,673	0	0	0	0	73,673	
02年度 実績	88,139	0	0	0	0	88,139	
03年度 当初	78,166	0	0	0	0	78,166	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 市民の年間利用者数は大幅に減少しています。
原因 新型コロナウイルスによる閉館や、大規模改修工事による閉館による影響により開館日数が大幅に減少したことが原因かと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	項目	4	3.8	3.8

事務事業名 さんぶの森元気館改修事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	01	基本事業名	心身の健康管理の充実
計画年度	平成 27 年度 ~ 令和 16 年度		事務事業整理番号 1843

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

「さんぶの森元気館」及び「利用者」

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

計画的な維持管理により安全・快適に利用されています。

事務事業の内容、やり方、手順

建築引渡日：平成17年1月
 請負金額：1,274,000千円（税別）
 構造：S造
 用途：保健福祉施設
 耐用年数：34年（期待耐用年数35年）
 ・平成27年10月作成の「さんぶの森元気館 長期修繕計画【平成27年（築11年目）～平成46年（築30年目）】を基にし計画的に改修を実施します。
 ・平成28年度以降、計画的に自主設計を行い、改修工事を実施します。
 ・令和2年に空調配管工事を主とした大規模改修工事を実施しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
工事費総額（現年度）	千円	4,176	242,554	6,600
工事費累計総額（平成27年度～）	千円	45,690	288,244	310,300
成果状況				
進捗率（現年度）	%	100	96.6	100
進捗率（平成27年度～）	%	4	21.8	23.4

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	10,776	0	0	0	0	10,776	
02年度 実績	242,554	0	0	211,600	23,580	7,374	
03年度 当初	5,500	0	0	0	0	5,500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 令和2年度に大規模改修工事を実施しました。
 原因 経年劣化による不具合箇所が増加したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	項目	4	3.8	3.8

事務事業名 乳・子宮がん検診事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進		
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1091	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子宮がん検診 20歳以上の女性市民
乳がん検診 30歳以上の女性市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

がん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につながります。

事務事業の内容、やり方、手順

1. 集団検診（保健センター等）
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
2. 個別検診（契約医療機関）
申込方法：電話または窓口で受付
検診日：6月から2月に実施
検診料金：マンモグラフィ2,100円・エコー1,800円・子宮がん2,100円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
子宮・乳がん検診車延稼働台数	台	51	0	44
要精密検査者への支援件数	人	165	0	155
成果状況				
20歳以上の子宮がん検診受診者数	人	2,603	401	2,000
30歳以上の乳がん検診受診者数	人	3,734	472	2,430

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	30,705	214	0	0	5,321	25,170	
02年度 実績	9,025	43	0	0	0	8,982	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

《状況》令和元年度と比較すると乳がん検診3,262名、子宮がん検診2,202名減少しました。
《原因》新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集団検診が中止となったことが大きく影響しています。
個別検診について周知し、令和元年度と比較すると乳がん検診347名、子宮がん検診207名増加しました。
今後は感染予防と検診実施を両立するため、集団検診実施方法を日時完全予約制として実施していきます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
特定健康診査受診率	%	40.1	12.6	36.4
がん検診を年1回受けている市民の割合	%	50.3	36.2	53
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%	34.4	-	29

事務事業名 胃がん検診事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	1092

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

40歳以上の市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

がん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につながります。

事務事業の内容、やり方、手順

1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団胃がん検診は中止。
2. 個別胃がん検診は実施（期間：9月～1月末まで）
3. 申込み：電話
4. 通知：受診票を郵送
5. 検診会場：さんむ医療センター・浅井病院
6. 検診料金：1200円（生活保護の申請のあった方は無料）
7. 検査方法：胃透視撮影（バリウム使用）
8. 検査結果：受診医療機関より全員に通知
9. 精密検査受診勧奨

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
胃がん検診実施日数	日	13	0	16
要精密検査者への支援件数	件	62	27	150
成果状況				
胃がん検診受診者数	人	2,172	74	2,350
要精検と判定された受診者数	人	62	27	150

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	9,867	0	0	0	0	9,867	
02年度 実績	1,222	0	0	0	0	1,222	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

（状況）令和2年度は、個別検診を新規事業として立ち上げました。年度途中から始めた事業でしたが、74名の方が受診されました。

（原因）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団胃がん検診を中止したことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
特定健康診査受診率	%	40.1	12.6	36.4
がん検診を年1回受けている市民の割合	%	50.3	36.2	53
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%	34.4	-	29

事務事業名 肺がん検診事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進		
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1093	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

40歳以上の市民

事務事業の内容、やり方、手順

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

がん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につながります。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
肺がん検診実施日数	日	24	0	33
要精密検査者への支援件数	件	71	0	70
成果状況				
肺がん検診受診者	人	7,204	0	7,000
要精検と判定された受診者数	人	64	0	70

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	12,448	0	0	0	0	12,448	
02年度 実績	34	0	0	0	0	34	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

状況
受診者なしのため、令和元年度と比較して減少しました。
原因
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検診を中止しました。代替として人間ドックで胸部レントゲン検査が実施できる医療機関の紹介を実施しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
特定健康診査受診率	%	40.1	12.6	36.4
がん検診を年1回受けている市民の割合	%	50.3	36.2	53
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%	34.4	-	29

事務事業名 大腸がん検診事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1094

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

40歳以上市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

がん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につながります。

事務事業の内容、やり方、手順

1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団大腸がん検診は中止。
2. 個別大腸がん検診は実施（期間：8月～1月末まで）
3. 申込み：電話
4. 通知：受診票と容器を郵送
5. 検診会場：さんむ医療センター
6. 検診料金：500円（生活保護の申請のあった方は無料）
7. 検査方法：便潜血反応検査（2日間法）
8. 検査結果：1か月半以内に全員に通知
9. 精密検査受診勧奨

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
大腸がん検診実施日数	日	14	0	14
要精密検査者への支援件数	件	254	140	300
成果状況				
大腸がん検診受診者	人	3,553	615	3,900
要精検と判定された受診者数	人	254	140	300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	6,097	0	0	0	0	6,097	
02年度 実績	1,937	0	0	0	0	1,937	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> R元年度と比較すると集団大腸がん検診の受診者は3530名減少しました。
個別大腸がん検診の受診者は592名増加しました。
<原因>新型コロナウイルス感染症拡大防止により、集団大腸がん検診を中止し、その影響で個別大腸がん検診が増加したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
特定健康診査受診率	%	40.1	12.6	36.4
がん検診を年1回受けている市民の割合	%	50.3	36.2	53
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%	34.4	-	29

事務事業名 妊婦一般健康診査委託事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	03	基本事業名	母子の健康管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 387

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市に住所を有する妊婦

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・妊婦がきちんと妊娠早期から健診を受け、妊娠中を安全に過ごし、安心して出産に臨むことができます。
- ・健診を受けずに飛び込み出産をする人が出ません。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・妊娠届出をした妊婦に対し、母子健康手帳別冊1を交付（医療機関委託妊婦一般健康診査票、14回分含む）
- ・県医師会他、妊婦一般健康診査可能な医療機関と委託契約（追加医療機関は随時契約）
- ・ちば県民保健予防財団と支払い事務委託契約
- ・妊娠中に別冊の健康診査票を提示して、委託医療機関受診
- ・健康診査料請求
委託医療機関 ちば県民保健予防財団 山武市（診査月の翌々月請求）
- ・健康診査料支払い
山武市 ちば県民保健予防財団 委託医療機関
契約不可の医療機関を受診した場合は償還払い手続き実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
妊婦1人当たりの公費負担回数	回	14	14	14
受診延べ件数	件	2,525	2,176	2,800
成果状況				
健康診査票の利用割合	%	77.8	76.2	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	19,722	0	0	0	0	19,722	
02年度 実績	17,610	0	0	0	0	17,610	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 妊婦一般健康診査の利用割合は、76.2%で令和元年度と比べると1.6%減少していますが、順調に進んでいます。
 < 原因 > その原因として、妊婦一般健康診査票は妊娠届出時に配付しますが、転入、転出、妊娠週数が進んでからの届出、流産等様々な理由から、妊婦が全14回すべて受診するわけではないことが考えられます。そのため各年度で利用状況も変わります。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
乳幼児健診の受診率	%	93.5	92.6	95
乳幼児健診の満足度	%	95.1	96.5	94
幼児（3歳）のむし歯保有者率	%	14.7	13	16

事務事業名 乳児一般健康診査委託事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進		
基本事業番号	03	基本事業名	母子の健康管理		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	395	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市に住所のある生後3ヶ月～8ヶ月、9ヶ月～11ヶ月の乳児

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・乳児が心身ともに健康を保持・増進できるようになります。
- ・乳児の病気の早期発見、早期治療につながります。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・母子手帳発行の際に母子健康手帳別冊（医療機関委託乳児一般健康診査受診票2回分含む）を配布
- ・毎年4月に乳児一般健康診査実施可能な医療機関及びちば県民保健予防財団と委託契約（追加医療機関は随時契約）
- ・生後3ヶ月～8ヶ月、9ヶ月～11ヶ月に各1回、乳児一般健康診査委託医療機関受診
- ・健康診査料請求：委託医療機関 ちば県民保健予防財団 山武市（診査月の翌々月請求）結果を確認し、必要時地区担当保健師に連絡、保健指導
- ・健康診査料支払：山武市 ちば県民保健予防財団 委託医療機関
- ・契約不可の医療機関を受診した場合は償還払い手続き実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
乳児1人当たりの公費負担回数	回	2	2	2
成果状況				
健康診査票利用割合	%	79.5	74.9	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	2,244	0	0	0	0	2,244	
02年度 実績	1,928	0	0	0	0	1,928	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 乳児一般健康診査の利用割合は、74.6%で令和元年度と比べると4.6%減少しています。
 < 原因 > 乳児一般健康診査の委託健診は、生後3～8か月児と9～11か月児の2回分があります。しかし、生後4か月頃に市の乳児集団健診を受けることから、保護者の選択により委託健診を1回分のみ受診としている可能性も考えられます。また新型コロナウイルス感染症の影響により、病院に行くことを控えた可能性もあり、利用割合が減少したと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
乳幼児健診の受診率	%	93.5	92.6	95
乳幼児健診の満足度	%	95.1	96.5	94
幼児（3歳）のむし歯保有者率	%	14.7	13	16

事務事業名 小児予防接種事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	03	基本事業名	母子の健康管理
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1371

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・山武市に居住する生後2か月から7歳6か月未満児の内定期予防接種対象者
- ・山武市に居住する小中学校の児童生徒の内定期予防接種対象者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

予防接種率を維持・向上させることで、市での感染症の発生を未然に防止できます。

事務事業の内容、やり方、手順

- * 乳幼児の予防接種*
B型肝炎、Hib、小児用肺炎球菌、四種混合、BCG
日本脳炎、麻しん風しん混合、水痘、不活化ポリオ、ロタ
【周知方法】出生届時に予診票配布及び保健事業案内などで対象年齢、接種方法などを周知
【実施場所】委託契約医療機関
- * 児童生徒の予防接種*
日本脳炎2期、二種混合、HPV（子宮頸がん予防）
【周知方法】保健事業案内及び学校等を通じて周知するとともに二種混合・日本脳炎は、個別に予診票を送付
【実施場所】委託契約医療機関

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
定期予防接種者数（麻しん・風しん混合 期、期）	人	522	476	470
定期予防接種者数（児童生徒：二種混合、日本脳炎 期）	人	657	580	436
成果状況				
接種を受けた児の割合	%	93.4	96.6	90
接種を受けた児童生徒の割合	%	91.1	88.4	73

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	56,289	0	0	0	0	56,289	
02年度 実績	58,390	0	0	0	0	58,390	
03年度 当初	72,314	0	0	0	0	72,314	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和2年度の予防接種を受けた乳幼児の割合は、前年度に比較して3.2ポイント増加しており、国の目標である95%と比較しても1.6ポイント増加しています。児童生徒の接種割合は2.7ポイント低下しています。コロナ禍のために予防接種を遅らせることがないよう注意喚起の周知をしました。
< 原因 > 乳幼児の予防接種については、出生届出時の説明のほか、未接種者へ他の母子保健事業や電話により勧奨を行いました。児童生徒の予防接種は、電話による接種勧奨を行いました。今年度は全国的に日本脳炎ワクチンの不足があったため、予約ができず接種数が減少した可能性があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
乳幼児健診の受診率	%	93.5	92.6	95
乳幼児健診の満足度	%	95.1	96.5	94
幼児（3歳）のむし歯保有者率	%	14.7	13	16

事務事業名 地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	04	基本事業名	医療体制の充実
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1290

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんむ医療センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

病院事業が健全に運営され、安定した医療が提供されています。

事務事業の内容、やり方、手順

内容：さんむ医療センターへの繰出金の処理、長期貸付金にかかる病院企業債の借入れ事務等
 やり方：繰出し基準により金額を算出し、予算を確保します。病院企業債の借入れについては、県に申請し、借入れ同意をもらいます。
 手順：【繰出し関係】予算要求 予算の確定 さんむ医療センターからの請求 支出伝票の起票 決裁 会計課へ伝票の送付 支出
 【借入れ関係】さんむ医療センターから市へ長期借入れの申請します 市は県へ借入れの申請します ヒアリング 同意を得ます 借入れ手続き 入金 さんむ医療センターへ貸付け さんむ医療センターは借入証書を提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
さんむ医療センターとの病院運営に関する会議回数（定例会及び必要に応じ開催した会議回数）	回	15	6	12
成果状況				
評価委員会による年度計画評価で、計画を下回る小項目数（C及びD）	項目	0	1	0
さんむ医療センターへの繰出金	千円	355,648	398,844	405,715

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	355,648	0	0	0	7,582	348,066	
02年度 実績	548,844	0	0	0	5,816	543,028	
03年度 当初	405,715	0	0	0	0	405,715	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 令和2年度さんむ医療センター評価委員会は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し書面評価としました。年度計画評価で、計画を下回る小項目数は1項目でした。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
地域医療体制の充足度	%	58.6	61.8	57

事務事業名 医学生奨学金等貸付事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	04	基本事業名	医療体制の充実
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1324

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

医学生（山武市に5年以上住所を有したことの者）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんむ医療センターに勤務する医師が確保され、さんむ医療センターの経営が安定化します。

事務事業の内容、やり方、手順

【趣旨】さんむ医療センターの医師の確保を図るため、将来医師としてさんむ医療センターの業務に従事しようとする医学生等に対し、修学に必要な奨学金・修学一時金を貸付。
 【内容】奨学金 大学1～6年生、臨床研修医又は大学院生、（1年度につき）2名・月額20万円を貸付。 修学一時金 大学1～6年生、（1年度につき）1名、上限1千万円を貸付。（返済有り）
 【貸付条件】 山武市に5年以上在住したことの者 奨学金の貸付期間をさんむ医療センターで勤務。
 【免除】奨学金の貸付期間をさんむ医療センターで勤務した時、貸付した奨学金の返済を免除。ただし、修学一時金は10年以内で返済。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
奨学金の申請を受けた件数（新規）	件	0	0	2
修学一時金の申請を受けた件数（新規）	件	0	0	1
成果状況				
奨学金を貸し付けした件数	件	3	3	4
修学一時金を貸し付けした件数	件	0	0	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	7,203	0	0	0	7,200	3	
02年度 実績	7,203	0	0	0	7,200	3	
03年度 当初	17,204	0	0	0	17,200	4	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 新規申請者はいませんでした。
 <原因>
 制度の認知度は向上しつつあるものの、対象となる医学生が少ないため、申請がなかったものと考えられます。（県内高等学校に周知）

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
地域医療体制の充足度	%	58.6	61.8	57

事務事業名 看護学生奨学金貸付事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	04	基本事業名	医療体制の充実
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1468

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

看護学生
（大学看護学部・看護師養成所学生1～4年生、養成施設高等学校1～5年生）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんむ医療センターに勤務する看護師が確保され、さんむ医療センターの経営が安定化します。

事務事業の内容、やり方、手順

【趣旨】さんむ医療センターに勤務する看護師の確保を図るため、将来看護師としてさんむ医療センターの業務に従事しようとする看護学生に対し、修学に必要な奨学金を貸し付けます。
【内容】1年度につき20名以内、月額5万円を貸し付けます。
【貸付条件】奨学金を貸し付けた期間（年数）をさんむ医療センターで勤務すること。
【償還免除】奨学金を貸し付けた期間（年数）をさんむ医療センターで勤務した時、貸し付けた奨学金の返済を免除します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
奨学金の申請を受けた件数（新規）	件	12	15	9
成果状況				
奨学金を貸し付けた件数	人	29	43	43

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	17,422	0	0	0	17,400	22	
02年度 実績	25,813	0	0	0	25,800	13	
03年度 当初	25,219	0	0	0	25,200	19	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 奨学金貸付制度利用者総数が増え、順調です。これにより地方独立行政法人さんむ医療センターへ勤務する看護師が確保できています。（令和2年度勤務者数40名）（令和3.3.31現在）
< 原因 > 昨年と比べ、申請件数は増加しています。ホームページや広報誌、城西国際大学学校説明会（令和2年度オンライン開催）等による奨学金制度の周知を図っているため貸付件数は平均的に安定化していると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
地域医療体制の充足度	%	58.6	61.8	57

事務事業名 成東保健福祉センター施設管理事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進	
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	435

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東保健福祉センター、施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安全に施設を活用でき、機能します。

事務事業の内容、やり方、手順

健康支援課が管理しています。
 ・需用費（消耗品・光熱水費・修繕）
 ・消防設備保守点検委託（年2回）
 ・空調機器清掃委託料（年1回）
 ・空調設備保守点検（年2回）・日常清掃（平日）
 ・床清掃（年4回）・カーペット清掃（年2回）
 ・窓ガラス清掃（年2回）
 ・害虫駆除（年2回）・栄養指導室ダクト清掃（年2回）
 ・水質検査（年1回）・エレベーター保守点検（月1回）
 ・自動ドア保守点検（年2回）
 ・浄化槽清掃（年1回）・浄化槽保守点検（週1回）
 ・施設貸出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
修繕件数	件	4	9	3
修繕費総額	千円	280	940	200
成果状況				
修繕件数前年度比増加率	%	40	300	100
修繕費前年度比増加率	%	85.6	335.7	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	4,598	0	0	0	45	4,553	
02年度 実績	6,612	0	0	0	28	6,584	
03年度 当初	101,001	0	0	76,900	14,889	9,212	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 施設維持管理上の不具合件数、修繕費ともに増加しました。
 原因 建設後20年以上が経過し、不具合箇所が多くなったからと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値

事務事業名 ちびっこ国際交流事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1875

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

幼児等（児童）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

幼児等が外国語にふれあうことで、国際的な文化や歴史への関心が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

こども園等に通う幼児等が外国人の生の外国語に触れる機会を提供することで遊びを通して外国語を学び、その国の文化・歴史に興味を持つ事業を展開します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
外国語指導員数	人	1	1	1
成果状況				
保護者のこども園等に対する満足度	%	95.2	94.6	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	5,334	0	0	0	0	5,334	
02年度 実績	4,577	0	0	0	0	4,577	
03年度 当初	4,620	0	0	0	0	4,620	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 私立保育園を含む市内9か所の保育所、幼稚園、こども園で各施設1回、外国人講師の生の英語に幼児が触れる機会を提供しました。保護者対象アンケートによる満足度は94.6%と0.6%減少しましたが、概ね順調です。
 < 原因 > 幼児期に外国語に触れる機会を提供することにより保護者の満足度を得られています。事業の実施回数を増やして欲しいとの意見もあり、事業自体には十分な満足度を得られています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	87.9	94	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	94.6	95.5	97

事務事業名 まつおこども園移転整備事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実
計画年度	平成 29 年度 ~ 令和 02 年度		事務事業整理番号 1958

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

まつおこども園の入園児童及びその保護者
一時保育利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

松尾・豊岡小学校の統合計画と並行し「まつおこども園」を移転します。

事務事業の内容、やり方、手順

豊岡小学校閉校後（平成31年度）、既存校舎の改修を行い、「まつおこども園」として利用する計画です。
 ・平成29年度 基本設計（9月補正）
 ・平成30年度 実施設計
 ・平成31年度 改修工事
 ・令和元年度 まつおこども園移転
 ・令和2年度 進入路整備工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託件数		7	0	-
工事件数		10	1	-
成果状況				
供用開始までの事業進捗率		100	95	-
				-

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	383,526	0	0	353,000	18,946	11,580	
02年度 実績	8,459	0	0	8,000	0	459	15,114
03年度 当初							(10,853)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 進入路整備工事を実施しましたが、年度内に完了することができませんでした。
 <原因> 進入路整備予定地内の建物取り壊し及び電柱の移設が計画どおり進まず、進入路の舗装工事のみ令和3年度に繰り越しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	87.9	94	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	94.6	95.5	97

事務事業名 こども園園児健康管理事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実
計画年度	令和 01 年度 ~	年度	
			事務事業整理番号 2004

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

こども園の園児

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

園児の健康管理を行うことにより、心身ともに健康で楽しい園生活を過ごすことができます。
また、災害給付を行うことにより、保護者の負担軽減を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

各こども園において、内科健診・歯科健診を実施します。
また、日本スポーツ振興センターへ加入し、災害（負傷、疾病、傷害又は死亡）時には、医療費や障害見舞金等の災害共済給付を行います。
新型コロナウイルス感染症への対応として、消毒薬やマスク、手袋等の購入や網戸の設置等を行いました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
検査受診人数（尿検査）	人	569	500	500
成果状況				
検査受診率	%	100	100	100
要再検査等必要園児数	人	5	6	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	3,398	210	0	0	163	3,025	
02年度 実績	14,167	4,579	2,499	0	156	6,933	
03年度 当初	6,362	0	0	0	151	6,211	(2,500)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
各こども園における内科健診・歯科健診は計画的に実施できており、検査受診率は100%と、順調です。
<原因>
計画的な健診の実施により、病気等の早期発見に努めるとともに、災害（負傷・傷害）時の医療費補助を実施しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	87.9	94	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	94.6	95.5	97

事務事業名 訪問型病児保育利用助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2008

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

保育に欠ける保護者

事務事業の内容、やり方、手順

病気により保育園等に登園することが困難な時期に、訪問型病児保育サービスを利用する保護者に対し、費用の一部を助成します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

病気により保育園等に登園することが困難な時期に、訪問型病児保育サービスを利用する保護者に対し、費用の一部を助成することで、保護者の子育てと就労等の両立を支援します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
助成対象者数	人	0	0	20
成果状況				
助成額	千円	0	0	1,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							
03年度 当初	500	0	0	0	0	500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和元年度から開始した事業です。対象者へ周知を行ないましたが利用はありませんでした。
 < 原因 > 訪問型病児保育に対する認知度がまだ低いことや、地域性が原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	87.9	94	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	94.6	95.5	97

事務事業名 子育て支援センター運営事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	02	基本事業名	子育て不安の軽減
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1392

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

在宅の乳幼児
乳幼児を在宅で保育している保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

子育て中の親子や妊婦が気軽に集い、子育てについて相談しています。また、保護者同士の交流もでき、安心して子育てができています。

事務事業の内容、やり方、手順

地域において子育て中の親子が気軽に集い、交流、リフレッシュできる集いの広場（親子交流の場）を設置し、子育て支援機能の充実を図ります。育児や発育発達等の相談を受け、子育ての不安感を緩和し、子供の健やかな育ちを促進します。

- ・親子・妊婦の交流の場の提供と促進
- ・子育て等に関する相談・援助の実施
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

開設日：月～金（9:00～17:00）土（9:00～12:00）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
集いの広場開設日数	日	253	203	290
講習会開設日数	日	12	15	15
成果状況				
子育て支援センター利用者数	人	7,111	2,066	8,000
子育て相談延べ件数	件	94	80	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	13,043	6,522	6,521	0	0	0	
02年度 実績	2,095	791	0	0	92	1,212	
03年度 当初	2,104	700	700	0	0	704	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 子育て支援センターの利用者数は新型コロナウイルス感染症感染拡大により、前年に比べ約70%減少しましたが、相談件数は80件となっており昨年度から大きくは減少しておらず、子育てに不安を持つ保護者等の子育て支援に一定の成果を上げていると考えます。

原因 コロナウイルス感染拡大予防及び国の緊急事態宣言発令に伴い、なるとう、おおひら、しらはたの各支援センターを閉所していた期間があり、その後も人数に制限を設けて運営に当たったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合	%	99.3	99.1	99.2
育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	%	87	88.8	91
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	%	89.4%	91.4	90.5
各種子育て相談延べ件数	件	4,280	4,413	3,200

事務事業名 子育て世代包括支援センター運営事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	02	基本事業名	子育て不安の軽減
計画年度	平成 29 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1918

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の妊産婦及び母子（未就学児）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援を行うことで、育児不安が軽減され、安心して出産・育児をすることができます。

事務事業の内容、やり方、手順

開催回数：随時
開催場所：成東保健福祉センター
周知方法：山武市保健事業案内、市ホームページ、ポスター掲載。チラシの配布。
事業内容：母子保健型。専任保健師を1名、兼任の保健師1名を配置。専門的な見地から母子保健に関する相談支援を実施。妊娠届出者の全数面接を行い、妊婦支援台帳、支援プランを作成し、個々に配付。必要に応じて、情報提供、母子保健サービスにつなぐ。出生後も全数に支援プランを作成し、必要に応じ見直しを行う。
心身の不調や育児不安があるなど手厚い支援を要する方は、要保護児童対策協議会のネットワークで対応。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
妊娠届出者数	人	235	224	230
親子の個別相談者数（交付時を除く電話と面談数）	人	1,675	1,862	1,800
成果状況				
妊婦面接割合	%	98.3	97.8	98
子育て世代包括支援センターを知っている人の割合	%	80	84.1	85

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	3,921	1,286	1,286	0	0	1,349	
02年度 実績	687	196	238	0	0	253	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和2年度の妊娠届出者数は224人に対して委任状届出者の5人以外は、子育て世代包括支援センター（はびねす）で全数面接ができました。親子の個別相談延べ数は、家庭訪問80人、面接相談947人、電話相談835人の計1862人と増加しました。はびねすを知っている人の割合は、乳幼児健診の保護者で84.1%で前年度と比較すると4.1ポイント増加しています。
<原因>母子保健事業を通じてはびねすの周知に努めたことで、子育てに困ったときの相談窓口として利用する方が増えたと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合	%	99.3	99.1	99.2
育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	%	87	88.8	91
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	%	89.4%	91.4	90.5
各種子育て相談延べ件数	件	4,280	4,413	3,200

事務事業名 産後ケア事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	02	基本事業名	子育て不安の軽減	
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1967

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市に住民登録があり、産後に心身の不調、育児不安等がある産婦（産後4か月未満）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

退院直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等をきめ細やかに行うことにより、産後も安心して子育てできるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

実施回数：随時
 実施場所：利用者の住宅、医療機関、助産所等
 事業内容：事業者と委託契約 利用申し込み受付 事前調査 利用の決定 事業者へ依頼 産後ケア事業の実施 事業者からの報告書及び請求書受理 事後調査 事業者へ委託料の支払い
 宿泊型（医療機関、助産所等に利用者が宿泊）
 デイサービス型（日中医療機関、助産所等に利用者が来所）
 アウトリーチ型（助産師等が利用者の自宅に赴く）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
産後ケア事業利用者実人数	人	22	25	25
成果状況				
産後ケア事業利用率	%	30.6	47.2	42

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,103	515	0	0	0	588	
02年度 実績	3,896	1,443	198	0	0	2,255	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>事業対象者となる支援が必要な産婦53人のうち、25人が利用しました。産後ケア事業利用率は47.2%で前年度と比較すると、16.6ポイント増加しています。
 <原因>産後ケア事業が必要と判断された妊産婦に対して、子育て世代包括支援センターの保健師等が個々に適したプランを作成し、サービスを案内したことで利用者数の増加につながったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合	%	99.3	99.1	99.2
育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	%	87	88.8	91
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	%	89.4%	91.4	90.5
各種子育て相談延べ件数	件	4,280	4,413	3,200

事務事業名 母子家庭自立支援給付金事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助	
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度			事務事業整理番号 338

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

母子家庭の母
父子家庭の父

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

母子家庭の母及び父子家庭の父が、安心して子育てできる環境が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

母子家庭の母及び父子家庭の父の就労をより効果的に促進するため、自主的に職業能力の開発を行う母子家庭の母及び父子家庭の父に対し給付金を支給します。
【自立支援教育訓練給付金事業】資格取得の教育訓練講座を受講した母子家庭の母及び父子家庭の父に受講料の一部を支給します。
・対象講座：雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座就業に結びつく可能性が高い講座として国が定めるものです。
【高等職業訓練促進給付金事業】看護師や介護福祉士等の経済的自立に効果的な資格取得のため、1年以上修学する場合に支給します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
相談員による相談回数（随時）	回	2	8	5
成果状況				
教育訓練講座・高等技能訓練を受講した母子家庭の母と父子家庭の父の人数	人	4	2	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	3,171	977	0	0	0	2,194	
02年度 実績	3,311	1,066	0	0	0	2,245	
03年度 当初	1,400	1,050	0	0	0	350	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
受講者数は、高等職業訓練講座2人（継続1件・新規1件）のみで、前年度より減少しています。
<原因>
児童扶養手当の現況届認定通知に制度案内を同封して周知を図ることで、8件の相談がありました。1件は受講につながりましたが、7件については申請・受講には至りませんでした。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	74,865	56,745	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	7.5	8.7	4.3

事務事業名 子ども医療費助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助
計画年度	平成 15 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 428

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校3年生までの子ども
中学校3年生までの子どもの保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

子どもの保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、子育てしやすい環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

子どもの医療に要する費用を負担する保護者に対し、当該費用の全部又は一部を助成します。
対象は中学3年生までの子どもの通院又は入院に係る保険適用の医療費及び保険調剤とし、令和元年8月診療分からは個人負担は無料となります。
子どもの出生または転入（中学校3年生まで）により、山武市民となった子どもの保護者から、子ども医療費助成申請書に加入保険証（写し）を添付した申請を受け、受給券を発行します。（毎年、資格要件の有無を確認し、8月1日に切り替えとなります。）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
子ども医療費助成対象者数	人	4,918	4,692	4,533
成果状況				
医療費助成額	千円	116,185	99,164	117,887

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	120,701	0	39,746	0	876	80,079	
02年度 実績	102,506	0	27,286	0	464	74,756	
03年度 当初	122,287	0	33,230	0	996	88,061	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
医療費助成額が、令和元年度より17,021千円減少しましたが、順調です。
< 原因 >
令和元年8月診療分から個人負担額を無償化したことで医療費助成額が増加するものと見込んでいましたが、少子化による助成対象者の減少と、新型コロナウイルス感染症予防による医療機関の受診控えが影響し、助成額が減少したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	74,865	56,745	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	7.5	8.7	4.3

事務事業名 高校生等医療費助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1816

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

高校生等
高校生等の保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

高校生等の保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、就学・子育てしやすい環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

18歳（高校3年生）に達する日以後の最初の3月31日までの就学している者の保険診療分の医療費を償還払いで助成します。
（手順）
保護者は、助成制度を利用するための登録申請をします。保険受診をしたときは、医療機関で通常の支払いをし、領収書を受領します。
医療費助成申請書に領収書等の必要書類を添付し、市に申請します。
市で申請書類を審査し、助成金を登録口座へ振り込みます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
資格登録人数	人	892	898	894
医療費助成件数	件	5,223	4,299	4,553
成果状況				
資格登録率	%	71	73	75
助成実人数	人	607	544	589

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	9,506	0	0	0	0	9,506	
02年度 実績	7,839	0	0	0	0	7,839	
03年度 当初	8,193	0	0	0	0	8,193	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
助成実人数が前年度より63人減少しましたが、資格登録率が前年度より2ポイント増加となり、順調です。
<原因>
少子化により対象者数の減少から資格登録者数は減少していますが、資格登録率は増加しています。令和元年8月診療分から個人負担額を無償化したことが影響し増加したと考えられます。
助成実人数の減少は、新型コロナウイルス感染症予防による医療機関の受診控えが影響していると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	74,865	56,745	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	7.5	8.7	4.3

事務事業名 ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助
計画年度	令和 02 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2107

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

ひとり親世帯の父又は母又は養育者
その児童

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

ひとり親家庭等の経済的な負担を軽減します。

事務事業の内容、やり方、手順

18歳（障害のある場合は20歳）までの児童を監護しているひとり親世帯の父又は母又は養育者が、令和2年6月分の児童扶養手当受給者、公的年金受給により令和2年6月分児童扶養手当の受給をしていない方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変している方のいずれかに該当する場合に、基本給付として第1子10万円、第2子以降6万円を給付金として支給します。
また、の該当事者が新型コロナウイルス感染症の影響を受け家計が急変している場合、申請により追加給付として1世帯5万円を支給します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
基本給付金支給世帯数			758	
追加給付金支給世帯数			232	
成果状況				
給付金執行率			90.04	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	62,823	62,823	0	0	0	0	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
ひとり親世帯への給付金として、基本給付分758世帯、追加給付分232世帯に給付金を支給しました。予算額に対し90.04%の執行率となっています。
< 原因 >
児童扶養手当受給者等のひとり親世帯に対し、個別に制度の周知及び申請の勧奨を行い、迅速に給付金を支給したことで経済的な負担を軽減できたと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	74,865	56,745	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	7.5	8.7	4.3

事務事業名 家庭児童相談事業

教育部 子ども教育課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	04	基本事業名	こどもの人権の尊重
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 342

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子育て中の保護者
地域住民（DV、児童虐待等の問題を相談をしたい方）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

子育ての不安を軽減することにより、適切な子育てができます。

事務事業の内容、やり方、手順

家庭児童相談係では、非常勤職員の婦人相談員兼母子自立支援員（1名）、家庭相談員（4名）による下記の内容などの電話相談や家庭訪問、連絡調整等をおこないました。

- ・配偶者・恋人等からの暴力事例解決のため、被害者の相談を受け、生活の再建に向け支援しました。
- ・生活困窮者家庭等の妊婦への助産支援
- ・児童虐待の防止や、早期発見のため地域関係機関と連携し、子育てを支援しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
設置相談員数	人	4	5	5
山武市要保護児童対策支援会議開催回数	回	80	69	60
成果状況				
相談・訪問件数	人	2,278	1,866	2,125
相談や訪問により市として虐待の早期発見や未然防止として対応しているケース件数	人	71	83	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	8,758	2,886	160	0	0	5,712	
02年度 実績	3,652	823	718	0	0	2,111	
03年度 当初	5,947	2,484	1,505	0	0	1,958	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 令和2年度から、「しつけ」の際の体罰が「児童虐待」にあたり法定化され、少しずつ周知されたことにより、通告や相談が増加したものの、措置を要する重篤な件数がなかった。
原因 コロナ禍の中で児童相談所主管の関係機関の集まる会議が減少したものの、早期に対応し、他機関との情報交換を行ったことも要因であった。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
児童虐待通告件数	件	71	83	-
児童に関する措置件数	件	2	0	-

事務事業名 学童保育運営事業

教育部 子ども教育課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	05	基本事業名	学童保育の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 344

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学1年生から小学6年生の児童です。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童の居場所が確保され、保護者が安心して就労できます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の小学校に就学している児童で、その保護者が労働等により昼間家庭にいない者に、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。
 利用希望者の申請に基づき、審査し利用の可否を決定します。利用決定者については、市内12箇所の学童クラブで放課後及び長期休業等に家庭の代わりに保育します。
 利用料は1か月7,000円（8月のみ10,000円）（時間外および土曜学童利用選択時は1か月1,000円増額）。非課税世帯及び第2子以降については、利用料を減免し保護者の負担を軽減します。
 令和2年度は夏季休業期間が短縮されたため、8月の利用料が8,500円に変更されました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
学童クラブ利用決定児童数	人	441	397	438
利用申込書受付数	件	441	397	438
成果状況				
待機児童数	人	0		0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	86,223	20,680	20,680	0	25,603	19,260	
02年度 実績	32,646	1,957	1,652	0	20,879	8,158	
03年度 当初	34,319	9,760	9,760	0	5,039	9,760	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 利用者数が平成31年度と比較して44名減少しました。
 < 原因 > 新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言が発令され、4月、5月に小学校が臨時休業となったことに伴い、保護者に学童クラブの利用自粛を求めたことや、生活様式が変化し、在宅勤務等勤務形態が変化したことの影響が考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学童クラブの定員充足率	%	80.9	70.3	83.8

事務事業名 移住定住促進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	06	基本事業名	次世代育成に係る家族形成の支援
計画年度	平成 29 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1947

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市外・県外在住者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市外・県外在住者が移住することにより、人口が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

市外・県外在住者に対し本市の居住地としての魅力をPRすることで、移住者の増加を目指します。

【令和2年度実績】

- ・山武市PR動画「がない街、山武市」を制作し、市公式YouTubeに掲載
- ・山武市PR動画「さんむで"暮らし"を楽しむ」を市公式YouTubeに掲載
- ・千葉県公式観光物産サイト「まるごとe!ちば」にPR動画を掲載
- ・移住定住促進チラシ作成

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
PR等実施回数	回	4	4	2
成果状況				
相談件数	件	38	4	20

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	491	246	0	0	0	245	
02年度 実績	1,832	916	0	0	0	916	
03年度 当初	998	0	0	0	0	998	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> PR等実施件数は4件で、昨年度と同数です。移住相談件数は4件で、昨年度と比較して34件減少しました。

<原因> 新型コロナウイルスの影響により、例年実施されている移住イベントが減少したことや開催方法がオンラインに変更されたことで、移住イベントへ参加できなかったことが、事業成果が低下した原因です。イベント開催が難しい中、市外の人に山武市を知ってもらうため、移住定住促進を目的とした山武市PR動画を制作し、市公式YouTube、県観光物産サイトに掲載しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
出生者数(計画期間累計)	人	199	398	1,396
結婚する意欲のある独身者の割合	%	84.1	79.3	80

事務事業名 三世代同居等支援事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	06	基本事業名	次世代育成に係る家族形成の支援
計画年度	令和 02 年度 ~	年度	
		事務事業整理番号	2081

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

三世代同居又は近居をするために市内へ転入した者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

三世代同居又は近居をする方が増加し、子育てしやすい環境が整備されるとともに、若い世代の山武市への移住定住促進が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

三世代同居又は近居をするために市内へ転入した方に対し、住宅取得等にかかる費用を補助します。
 <補助内容>
 住宅の購入、新築、建替え、増築又はリフォーム工事のいずれかに要した費用の2分1の額（上限 75万円）を補助。

<連携協定>
 フラット35子育て支援型（住宅金融支援機構）
 年0.25%の借入金利引き下げ（当初5年間）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
三世代同居等支援補助金申請受付件数	件		0	10
成果状況				
三世代同居等支援補助金を活用した転入者数	人		0	30
三世代同居等支援補助金交付額	千円		0	7,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							
03年度 当初	7,500	0	0	0	0	7,500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 令和2年度の補助金問合せ件数は19件で、そのうち事前申請件数は3件、補助金交付件数は0件でした。
 <原因> 住宅取得等には長期間必要であるという性質上、制度開始年度の本年度は、住宅取得等の契約日が補助金要件に該当しない場合が多かったことが原因です。不動産業者等と連携し、市外住民に補助制度を周知していきます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
出生者数(計画期間累計)	人	199	398	1,396
結婚する意欲のある独身者の割合	%	84.1	79.3	80

事務事業名 社会福祉協議会補助事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	02	基本事業名	社会福祉機関・団体の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 298

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

社会福祉法人 山武市社会福祉協議会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動が活性化し、地域福祉が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市社会福祉協議会に運営費補助として補助金を交付します。

社協職員人件費
ボランティア活動促進事業
法人運営事業
心配ごと相談事業
社会福祉大会
福祉まつり
ふれあいいきいきサロン
配食サービス事業
住民参加型在宅福祉サービス事業
後見支援センター事業

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
社会福祉協議会で実施する事業の事業数	事業	34	31	35
成果状況				
各種事業の参加人数	人	27,406	14,347	33,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	94,434	0	0	0	4,869	89,565	
02年度 実績	83,482	0	0	0	3,697	79,785	
03年度 当初	95,220	0	0	0	6,020	89,200	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
事業の参加者数が前年度と比べ13,059人減少してしまいました。
<原因>
新型コロナウィルス感染症の影響により、一部事業を中止したことが要因です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
社会福祉協議会で実施した事業への参加者数	人	27,406	14,347	33,000
民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数	日	94	66	90

事務事業名 生活困窮者自立相談支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1823

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活困窮者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護に至る前の段階から早期に支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

生活困窮者からの相談を受け、生活困窮者の抱えている課題を評価・分析し、そのニーズを把握、ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう自立支援計画を策定、自立支援計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう関係機関との連絡調整を実施します。上記の業務を社会福祉協議会への委託により実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
相談件数	件	186	342	260
成果状況				
相談件数に対する生活困窮者自立支援法に基づく支援実施件数の割合	%	6.5	6.1	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	16,348	12,621	0	0	0	3,727	
02年度 実績	18,425	8,735	0	0	0	9,690	
03年度 当初	19,172	8,973	0	0	0	10,199	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 相談件数に対するプラン作成件数の割合は、6.1%で前年度に比べ0.4%低下しました。
 < 原因 > 新型コロナウイルス感染症の影響で相談件数が急増したことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
生活困窮者相談件数	件数	2,028	2,332	1,520

事務事業名 生活保護者扶助事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	04	基本事業名	生活保護制度の適正な実施
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 302

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活保護受給者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護法に基づいた最低限度の生活を送り、自立が可能となります。

事務事業の内容、やり方、手順

生活保護法に基づき、被保護者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立を助長する。
 <保護の種類>
 生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助、生業扶助、葬祭扶助、出産扶助、就労自立給付金、保護施設事務費及び委託事務費

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
生活保護申請件数	件	68	83	80
生活保護開始件数	件	62	67	65
成果状況				
年度末日現在の生活保護受給世帯の実数	世帯	349	356	370
当該年度中の生活保護廃止世帯のうち、廃止原因が自立によるものの世帯数		11	12	9

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	670,685	492,792	14,215	0	8,196	155,482	
02年度 実績	703,665	513,715	15,203	0	13,787	160,960	
03年度 当初	746,060	558,845	0	0	932	186,283	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 令和2年度の生活保護受給世帯数は356世帯で、前年度と比較して7世帯増加していますが、概ね順調です。
 <原因>
 新型コロナウイルス感染症拡大による影響や高齢化の進展に伴い、稼働年齢層の者がいる世帯及び高齢者世帯の受給が増加したことによります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
自立による生活保護廃止件数	件	11	12	9

事務事業名 市営白幡住宅施設管理運営事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	05	基本事業名	公営住宅の維持管理
計画年度	昭和 44 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 660

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営白幡住宅（戸数87戸）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

よりよい居住環境を維持することで、安全な住居で生活することができます。

事務事業の内容、やり方、手順

1. 全体の管理、修繕
 - ・ 管理人等からの連絡
 - ・ 職員による巡回
2. 市営住宅管理人を置く
 - ・ 入居者から1名
 - ・ 入居者と市の連絡調整等
 - ・ 団地内のとりまとめ
3. 主な施設の通常管理、修繕
 - ・ 合併浄化槽保守点検及び汚泥引抜業務の委託

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
修繕要望件数	件	10	8	10
成果状況				
修繕率	%	100	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	6,183	0	0	0	6,183	0	
02年度 実績	7,542	0	0	0	7,542	0	
03年度 当初	11,870	0	0	0	11,870	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 住宅入居者から修繕の要望が8件あり、8件の修繕を年度内に完了しており順調です。
 < 原因 > 住宅入居者から修繕の要望を受け、立会いのもと現地調査を実施し、修繕内容を確認のうえ実施していることから、適切に対応したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
公営住宅入居率	%	90.2	96.73	98.5

事務事業名 外国人英会話授業支援事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 929

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童・生徒

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

ネイティブスピーカーであるALTと授業を行うことにより、英語の発音を含め、外国の文化や風習など異文化に直接触れることができ、異文化理解や国際感覚を持った子供たちが育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

ネイティブスピーカーであるALT（外国語指導助手）を小・中学校に配置し、中学校の英語授業や小学校の総合的な学習の時間で行われる英語活動で日本人教師とともに授業を行います。

各小・中学校とも最低限週1回配置します。
【手順】
・3月 ALT配置校の決定
・4月 ALTの授業開始
・5月 ALTの勤務状況調査開始（以後毎月）
・2月 ALTとの授業の成果等についてアンケート調査を実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
ALTを配置した学校数	校	17	17	16
成果状況 児童・生徒が『ALTの授業・英語活動を楽しみにしている』と回答した教職員の割合	%	87	84.1	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	29,103	0	0	0	0	29,103	
02年度 実績	29,370	0	0	0	0	29,370	
03年度 当初	29,645	0	0	0	0	29,645	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
市内すべての小中学校にALTが計画的に配置されています。学習意欲が向上している児童生徒の割合は84.1%です。
<原因>
市内小学校に6名のALTを配置し、電子黒板や視聴覚教材などICT機器等を利用した工夫された授業が行われていることやALTと教職員との授業前の打合せの時間を確保し、連携が取れた授業展開ができていることが学習意欲の向上につながっていると考えられます。新型コロナウイルス感染症により、給食や休み時間の交流の時間は減少しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	%	-	62.1	60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	-	66.4	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	35	32.8	50

事務事業名 英語教育推進事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1903

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

英検取得により英語力が向上し、グローバル人材が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

- 【小中学校】
- ・異文化理解特別授業
- 【中学校】
- ・英検集中講座
- ・市内中学生に英語検定受験者への補助（全額）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
英検を実施した学校数	校	5	5	5
成果状況				
中学校卒業時の英語検定 3 級以上取得割合	%	35	32.8	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	8,304	0	0	0	0	8,304	
02年度 実績	7,404	0	0	0	0	7,404	
03年度 当初	4,355	0	0	0	1,000	3,355	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 中学校 3 年生の 3 級以上の取得割合が令和元年度より 2.2% 下がりました。
 < 原因 >
 市内中学生に英語検定 3 回中の 1 回受験料の全額補助を行い、英語検定対策講座を年間 3 回開設することは定着してきました。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症により年間 2 回の実施となりました。そのため、取得割合の減少につながっていると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	%	-	62.1	60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	-	66.4	56
中学校卒業時に英語検定 3 級以上を取得している生徒の割合	%	35	32.8	50

事務事業名 学力向上支援事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	令和 02 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2071

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童一人一人のニーズに対応した学習環境が整っています。「やる気を育てる学習支援」により、主体的に学びあう児童が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

・学力向上推進指定校（小学校3校、中学校1校）の小学校2・3年生・中学校3年生を対象とし、算数・数学を対象とし授業内でティームテイミングによる学力向上に特化した少人数指導を実施しました。
 【小学校】週5日（2年生・3年生）
 1学期40日、2学期40日、3学期30日（1日2時間）
 【中学校】週5日（1年生）
 1学期40日、2学期40日、3学期30日（1日3時間）
 ・併せて教員のスキルアップを図るため、アドバイスや相談等の支援を実施しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
支援学校数	校		4	2
成果状況				
勉強が好きと回答した児童生徒の割合	%		77.5	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	2,026	0	0	0	0	2,026	
03年度 当初	909	0	0	0	0	909	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和2年度の「勉強が好きと回答した児童生徒の割合」は77.5%となりました。
 < 原因 > 事後アンケートにて、対象教科（算数・数学）が「好き・まあまあ好き」と回答した割合は小学校で91.1%となった一方、中学校では52.9%にとどまる結果となりました。小学校でのつまづきを克服できないまま中学校に進んだ結果と考えられ、小学校の早い段階での苦手克服が必要です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	%	-	62.1	60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	-	66.4	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	35	32.8	50

事務事業名 児童健康安全管理事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	02	基本事業名	「健やかな体」の育成		
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号	765

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市内小学校児童

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

すべての対象児童が各健康診断等を受診し、健康管理ができます。

事務事業の内容、やり方、手順

・各小学校において内科健診・歯科健診・耳鼻咽喉科健診を実施しました。
・児童が学校集団健康診断を受診し、市がその費用を負担しました。

健診項目 心電図検査 633名
尿検査 1,858名
モアレ検査 312名
低線量X線検査 43名

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
検査受診人数（尿検査）	人	1,967	1,867	1,820
健診実施数	種類	4	4	4
成果状況				
健診受診率	%	100	100	100
再検査および精密検査が必要な児童数	人	61	84	35

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	9,899	0	0	0	0	9,899	
02年度 実績	9,929	0	0	0	0	9,929	93
03年度 当初	10,428	0	0	0	0	10,428	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 児童が健康に学校生活を過ごすことができました。活動指標の実績は前年度とほぼ同様の数値となっており、順調です。
原因 すべての対象児童の健診を行うことで、適切な健康管理ができるためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
生活習慣の改善に努めた生徒の割合	%	28.7	4.6	30
朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	%	78.5	92.5	85

事務事業名 生徒健康安全管理事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	02	基本事業名	「健やかな体」の育成	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	823

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市内中学校生徒

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

すべての対象生徒が各健康診断等を受診し、健康管理ができます。

事務事業の内容、やり方、手順

・各中学校において内科健診・歯科健診・耳鼻咽喉科健診を実施しました。
 ・生徒が学校集団健康診断を受診し、市がその費用を負担しました。

健診項目 心電図検査 382名
 尿検査 1,076名
 モアレ検査 353名
 低線量X線検査 108名
 貧血検査 347名
 生活習慣病予防健診 347名
 （追加項目HbA1c、LDLコレステロール）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
検査受診人数（尿検査）	人	1,087	1,076	1,100
健診実施数	種類	5	5	5
成果状況				
健診受診率	%	98	98	100
再検査および精密検査が必要な生徒数	人	120	150	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	6,267	0	0	0	0	6,267	
02年度 実績	6,492	0	0	0	0	6,492	57
03年度 当初	7,079	0	0	0	0	7,079	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 生徒が健康に学校生活を過ごすことができました。活動指標の実績は昨年度と同様の数値になっており、順調です。

原因 すべての対象生徒の健診を行うことで、適切な健康管理ができるからです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
生活習慣の改善に努めた生徒の割合	%	28.7	4.6	30
朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	%	78.5	92.5	85

事務事業名 不登校対策推進事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	03	基本事業名	「豊かな心」を育む
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 930

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

長期欠席児童生徒やいじめ等の減少または解消を図ることにより、学校教育が充実します。

事務事業の内容、やり方、手順

児童生徒が悩み等を気楽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的存在として「心の教室相談員」を配置します。市内の中学校5校・小学校11校に各校1名の「心の教室相談員」を配置します。「心の教室相談員」が参加する研修会を年3回開催します。各相談員ごとに相談の内容や相談件数・相談人数等を集約します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
「心の教室相談員」配置学校数	校	16	16	16
成果状況				
「心の教室相談員」への相談回数	回	8,696	5,596	5,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	7,822	0	0	0	0	7,822	
02年度 実績	2	0	0	0	0	2	
03年度 当初	74	0	0	0	0	74	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和2年度の「心の教室相談員」への相談回数は5,596回で、前年度と比較して3,100回減少したものの、心の教室相談員は児童生徒との距離も近く、悩みを相談しやすい存在としての役割が定着しています。

< 原因 > 新型コロナウイルス感染症の影響による2ヶ月間の臨時休校が、相談件数の減少へ影響していると考えます。様々な制約がある中、学校生活が行われ、ストレスを抱える児童生徒も多かったと考え、心の教室相談員の存在は大きく、今後も児童生徒を支える存在として心の教室相談員が果たす役割は大きいと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
不登校児童の割合	%	0.51	0.91	0.45
不登校生徒の割合	%	4.2	3.56	3.73
道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	%	93.7	-	97

事務事業名 学びを広げる学校図書館づくり事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	03	基本事業名	「豊かな心」を育む
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1827

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校の児童・生徒

事務事業の内容、やり方、手順

学校図書室の環境などをより一層向上させるため、図書支援員（司書）2名を雇用し、各学校を巡回し各種支援（書架整理、図書の紹介）を行いました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

図書に親しむ環境や機会を充実させ、学びの幅を広げるとともに、豊かな心が育まれます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
図書支援員数	人	2	2	2
年間支援日数	日	284	286	300
成果状況				
図書室に行くようになった児童生徒の割合	%	29	15	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,975	0	0	0	0	1,975	
02年度 実績	45	0	0	0	0	45	
03年度 当初	85	0	0	0	0	85	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 昨年度に比べ、図書館に行くようになった児童生徒の割合が14ポイント減少しました。
 原因 授業では図書館を利用したが、コロナ感染予防のため一部の学校において個人に対する貸出しを行わなかった為です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
不登校児童の割合	%	0.51	0.91	0.45
不登校生徒の割合	%	4.2	3.56	3.73
道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	%	93.7	-	97

事務事業名 中学校情報化教育環境整備事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1407

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校生徒

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

パソコン及び周辺機器が整備され、授業での有効活用が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

中学校の情報教育を円滑に行えるよう、中学校へパソコンや情報機器を整備し、維持管理をしました。
無線LANの老朽化に伴い更改を行いました。
〔計画（案）〕
平成30年度：成東中、山武中
令和元年度：蓮沼中、松尾中
令和2年度：成東東中

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
パソコン等情報機器の保守点検の実施回数	回	12	12	10
成果状況				
故障件数	件	20	20	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	20,774	0	0	12,700	4,313	3,761	
02年度 実績	13,423	0	0	7,300	2,490	3,633	
03年度 当初	9,120	0	0	0	0	9,120	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
成果指標の業績が前年度と比べて横ばいです。
< 原因 >
適切に運用を行っていますが、機器のため一定数の不具合は発生しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	%	50.5	53.5	60
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	%	38.1	39.4	45
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	46.9	51	50

事務事業名 小学校情報化教育環境整備事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践	
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1452

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校児童

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校環境にあったパソコン及び情報機器が整備され、授業での有効活用が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

小学校の情報教育を円滑に行えるよう、小学校へパソコンや情報機器を整備し、維持管理をしました。
無線LANの老朽化に伴い更改を行いました。

〔計画（案）〕

平成30年度 成東小、南郷小、睦岡小
令和元年度 緑海小、蓮沼小、大平小
令和2年度 大富小、鳴浜小、山武北小、(新)日向小

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
パソコン等情報機器の保守点検の実施回数	回	24	24	24
成果状況				
故障等件数	件	47	40	40

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	30,212	0	0	16,900	5,686	7,626	
02年度 実績	45,202	0	0	22,900	7,700	14,602	
03年度 当初	6,586	0	0	0	0	6,586	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
成果指標の実績が前年度と比べ7件減少しています。
< 原因 >
適切に運用は行っていますが、機器のため一定数の不具合は発生しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	%	50.5	53.5	60
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	%	38.1	39.4	45
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	46.9	51	50

事務事業名 教育情報機器管理事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践		
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1719

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小中学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

小中学校の情報機器と情報資産が支障なく利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

小中学校の情報資産の管理を効率化し、セキュリティの高い環境を構築した、クラウド環境での運用を行いました。また、各 I C T 機器の維持管理を行いました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
センターサーバ・各システム等の保守点検の実施回数	回	10	10	10
成果状況				
障害発生件数	回	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	78,995	0	0	0	0	78,995	
02年度 実績	279,174	0	1,870	0	249,810	27,494	
03年度 当初	25,090	0	0	0	0	25,090	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 本年度も障害は発生していません。
 < 原因 > 適切に保守管理が実施されています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	%	50.5	53.5	60
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	%	38.1	39.4	45
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	46.9	51	50

事務事業名 ICTサポート事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1787

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市内小中学校児童・生徒・教職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

授業などにおけるICT活用を円滑に進める環境が整っていません。

事務事業の内容、やり方、手順

学校でのICTを活用した授業を支援するため、外部人材を派遣しました。
 平成26年度1月から開始し、外部人材を派遣しました。
 派遣回数
 平成26年度：7回×19校 令和元年度：16回×17校
 平成27年度：40回×19校 令和2年度：16回×17校
 平成28年度：29回×19校
 平成29年度：28回×19校
 平成30年度：18回×19校
 以降の派遣回数は、成果向上の状況により検討する予定です。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
教員のICT活用を支援する外部人材の派遣回数	回	16	16	33
成果状況				
ICTを活用した授業を実施した教員の割合	%	81	87	85

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	6,967	0	0	0	0	6,967	
02年度 実績	7,031	0	0	0	0	7,031	
03年度 当初	14,520	0	0	0	0	14,520	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 昨年度の指標が前年と比べ6%向上しています。
 < 原因 > ICT支援員の支援により授業でのICT機器活用が定着しているためと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	%	50.5	53.5	60
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	%	38.1	39.4	45
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	46.9	51	50

事務事業名 学校のあり方検討事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1670

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

検討委員会、小中学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

少子化に伴い本市における児童生徒数等の推移を踏まえ、小中学校の将来を展望した学校のあり方等を検討し、よりよい教育環境を創出します。

事務事業の内容、やり方、手順

市立小中学校の規模適正化・適正配置の基本計画に基づき、学校統合を行っています。
 統合準備委員会を設置し、統合に向けた協議・調整を進めています。
 平成31年4月開校：2校「松尾小」・「山武中」
 令和3年4月開校：1校「日向小・山武西小」の統合小学校
 平成31年5月～統合準備委員会、専門部会で協議・調整
 令和3年2月：統合準備委員会における協議終了
 令和3年3月開校
 令和4年4月開校予定：「蓮沼中・松尾中」
 令和2年8月：学校統合準備委員会設置 専門部会での協議開始

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委員会の開催回数	回数	3	4	2
対象学校数	校	4	4	2
成果状況				
計画等策定数	件	2	2	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	845	0	0	0	0	845	
02年度 実績	873	0	0	0	0	873	
03年度 当初	1,467	0	0	0	0	1,467	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和3年4月に開校する「日向小学校・山武西小学校」の統合小学校（日向小学校）の統合準備委員会による協議は予定どおり修了しました。全学年単学級の蓮沼中学校は、松尾中学校との組み合わせによる学校統合は令和2年8月に統合準備委員会を設置し、令和4年4月の開校に向けた準備を開始しました。
 < 原因 > 今後も児童生徒数の減少が続くことや、施設の老朽化もあり、教育環境を整える取り組みを続けていく必要があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 小中学校閉校・開校事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1973

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校統合に伴い閉校・開校となる学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校統合に伴い閉校・開校する学校の準備を円滑に行います。

事務事業の内容、やり方、手順

平成31年4月：松尾小学校開校「松尾小・豊岡小」
山武中学校開校「山武中・山武南中」
令和3年4月開校：日向小学校開校「日向小・山武西小」
統合準備委員会（令和元年5月設置）による協議
（校名・校歌・校章・通学バス運行・体操服）
令和3年2月：統合準備委員会における協議終了
令和3年3月閉校

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
統合に伴い閉校となる学校数		4	4	2
成果状況				
過小規模校数		0	0	0
閉校記念実行委員会設立数		0	2	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	2,438	0	0	0	69	2,369	
02年度 実績	13,216	0	0	0	12	13,204	
03年度 当初	11,634	0	0	0	1	11,633	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和3年4月に開校する「日向小学校・山武西小学校」の統合小学校（日向小学校）の開校準備は予定どおり行われました。（校歌・校章・通学バス・体操服・引越作業）
<原因>
統合小学校の開校に向けた統合準備委員会による協議は予定どおり行われました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 小学校トイレ環境整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	平成 28 年度 ~ 令和 03 年度		事務事業整理番号	1216	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校12校のうち校舎の改修予定校：7校（成東小・大富小・南郷小・緑海小・鳴浜小・睦岡小・山武北小）
 体育館の改修予定校：2校（大富小・大平小）
 洋式便器への交換予定校：1校（鳴浜小）
 上記学校に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化に伴い、学校施設環境改善交付金を活用しながら、トイレの改修を行います。ただし、学校統廃合に係る閉校予定の学校及び学校施設環境改善交付金や起債等を活用しての改修実施校で10年以上経過していない学校は除きます。主な改修内容は、床面の乾式化、便器の洋式化、洗面所の自動水栓化です。
 R2は、山武北小の西側校舎トイレ、大富小と大平小体育館トイレの全面改修と大平小校舎内へ多目的トイレの設置を行いました。また、前述に係る設計積算業務（山武北小は前年度実施）や工事監理業務を委託しました。
 R3に工事予定の鳴浜小トイレ洋式化改修に伴う設計積算業務を委託しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託件数（工事設計）	件	1	2	0
工事件数（工事監理含）	件	2	3	1
成果状況				
改修実施率（校舎）	%	85.71	90	100
改修実施率（体育館）	%	0	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,353	0	0	800	553	0	121,812
02年度 実績	499	53	0	0	0	446	101,269
03年度 当初							(11,693)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 計画どおりに改修工事が完了したため順調としました。また、新型コロナウイルス感染症のまん延が減らない中、洗面所の自動水栓化等、菌の繁殖等抑えることができるトイレ改修が計画どおりに行えたことで事業成果状況は向上としました。
 < 原因 > 学校施設環境改善交付金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時特例交付金が活用でき、有利な財源確保のもとで工事を実施することができました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 中学校トイレ環境整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 28 年度 ~ 令和 03 年度		事務事業整理番号	1219

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校5校のうち校舎の改修予定校：3校（成東中・山武中・松尾中）
 体育館の改修予定校：2校（成東中・成東東中）
 洋式便器への交換予定校：1校（成東東中）
 上記学校に通う生徒や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生徒や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化に伴い、学校施設環境改善交付金を活用しながら、トイレの改修を行います。ただし、学校統廃合に係る閉校予定の学校及び学校施設環境改善交付金や起債等を活用しての改修実施校で10年以上経過していない学校は除きます。主な改修内容は、床面の乾式化、便器の洋式化、洗面所の自動水栓化です。
 R2は、成東東中体育館トイレの全面改修を行いました。また、前述に係る設計積算業務や工事監理業務を委託しました。
 R3に工事予定の成東中屋内運動場トイレ全面改修及び成東東中トイレ洋式化改修に伴う設計積算業務を委託しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託件数（工事設計）	件	0	2	0
工事件数（工事監理含）	件	1	1	2
成果状況				
改修実施率（校舎）	%	100	75	100
改修実施率（体育館）	%	0	50	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							139,836
02年度 実績	999	162	0	0	0	837	26,461
03年度 当初							(65,087)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 計画どおりに改修工事が完了したため順調としました。また、新型コロナウイルス感染症のまん延が減らない中、洗面所の自動水栓化等、菌の繁殖等抑えることができるトイレ改修が計画どおりに行えたことで事業成果状況は向上としました。
 < 原因 > 学校施設環境改善交付金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時特例交付金が活用でき、有利な財源確保のもとで工事を実施することができました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 小学校施設整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1379	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

小学校が、児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

小学校施設等に起きた不具合、故障、損傷、経年による不良箇所の修繕や改修工事等を、一般財源のみでしか対応できない案件について実施します。
R2は、各種点検等の業務委託で指摘の受けた修繕や改修工事等を実施しました。
また、成東小学校の来賓玄関のグローザーが経年劣化による修繕や南郷小学校の校舎を繋ぐ渡り廊下を経年劣化による修繕等を行いました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
修繕及び工事件数	件	63	63	100
修繕及び工事費	千円	33,133	26,635	19,628
成果状況				
児童一人当たりの経費	円	16,836	14,213	10,474

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	35,231	0	0	0	9,990	25,241	75,359
02年度 実績	26,635	0	0	0	2,268	24,367	
03年度 当初	19,628	0	0	0	0	19,628	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 老朽化等に伴う事故は発生しなかったことから、順調としました。
< 原因 > 業務委託した各種点検等により、不具合等の指摘があった場合には、速やかに修繕等を実施するなどの対応をしてきました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 中学校施設整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1380

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校に通う生徒や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

中学校が、生徒や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

中学校施設等に起きた不具合、故障、損傷、経年による不良箇所の修繕や改修工事等を、一般財源のみでしか対応できない案件について実施します。
R2は、各種点検等の業務委託で指摘の受けた修繕や改修工事等を実施しました。
また、山武中学校の来賓玄関のグローザーが経年劣化による修繕や蓮沼中学校体育館の床の修繕等を行いました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
工事件数	件	40	37	50
修繕及び工事費	千円	25,107	16,400	10,385
成果状況				
生徒一人当たりの経費	円	22,639	14,923	9,450

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	27,656	0	0	0	14,978	12,678	
02年度 実績	18,798	0	0	0	2,611	16,187	
03年度 当初	10,880	0	0	0	0	10,880	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 老朽化等に伴う事故は発生しなかったことから、順調としました。
< 原因 > 業務委託した各種点検等により、不具合等の指摘があった場合には、速やかに修繕等を実施するなどの対応をしてきました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 松尾小学校新校舎整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 29 年度 ~ 令和 04 年度		事務事業整理番号	1921

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾小学校に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

統合により整備された小学校が、児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

松尾小学校の校舎が経年により老朽のため、令和2年度から令和4年度までの継続費を設定し改築工事を実施中です。令和2年度の主な内容は、令和2年9月から令和4年8月までの24ヶ月間において、債務負担行為を設定し、旧まつおこども園の園庭に建てられた仮設校舎の賃貸借を行っており、児童は新校舎が完成するまでは仮設校舎での学校生活となります。また、現校舎の解体工事を実施するにあたり、振動等が発生することから、周辺家屋の事前調査業務を委託し、調査を実施したうえで、現校舎の解体工事を実施しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託件数	件	1	4	3
工事件数	件	0	1	1
成果状況				
供用開始までの事業進捗率	%	55.33	73.83	92.27

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	81,155	0	0	77,000	4,100	55	
02年度 実績	215,669	0	0	144,300	71,369	0	
03年度 当初	1,164,232	0	0	1,011,400	152,325	507	(35,289)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
今年度実施する事業について、計画どおりに完了したことから順調としました。
<原因>
施工業者は、県内で十分な実績があり、工事監理業者も市内を始め、県内でも学校建設においては、十分な実績があるため、様々な提案やアドバイス等をいただける環境にあったためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 日向・山武西統合小学校施設改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	令和 01 年度 ~ 令和 02 年度		事務事業整理番号	2010

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校統合した日向小に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

統合により改修された新しい小学校が、児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

日向小学校と山武西小学校が統合し、令和3年4月1日から新しい日向小学校となり、その学校位置となる旧山武南中学校において、校舎や屋内運動場、グラウンド等に小学校基準による工事や経年による老朽のための改修工事を行いました。校舎や屋内運動場等における主な工事内容は、階段室やトイレ等の改修、特別教室を普通教室への改変、外壁のクラック修繕及び塗装、電子黒板の設置、屋内運動場等の床の張替や研磨等を実施しました。また、グラウンド等における主な工事内容は、門扉及び門扉周辺の改修、自転車置場やテニスコートを駐車場への改変、グラウンド内コースロープの設置、危険と予想される箇所へのフェンスの設置や安全対策工事、遊具の設置等を実施しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託件数	件	2	2	
工事件数	件	0	5	
成果状況				
供用開始までの事業進捗率	%	50	100	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	6,963	0	0	5,700	363	900	
02年度 実績							385,045
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 計画どおりに完了し、無事に新日向小学校として開校できたため、順調としました。
 <原因>
 施工業者は、十分な実績があり、工事監理業者も十分な実績があるため、様々な提案やアドバイス等をいただける環境にあったためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 小学校施設改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	2011

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

小学校が、児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

小学校施設等に起きた不具合、故障、損傷、経年による不良箇所の修繕や改修工事等を、学校施設環境改善交付金やその他補助金、起債等、有利な財源を活用し実施します。一般財源のみで対応する場合は、「小学校施設整備事業」に計上します。R2は、成東小学校のキュービクルが経年劣化により更新工事を実施しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
修繕及び工事件数	件	0	1	0
修繕及び工事費	千円	0	25,913	0
成果状況				
児童一人当たりの経費	円	252	14,634	264

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	495	0	0	300	0	195	
02年度 実績	27,424	0	0	20,500	6,924	0	
03年度 当初	495	0	0	300	195	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 計画どおりに改修工事が完了したため順調としました。
 < 原因 > 学校教育施設等整備事業債を活用でき、有利な財源確保のもとで工事を実施することができました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 中学校空調設備改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	令和 02 年度 ~ 令和 03 年度			事務事業整理番号	2075

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾中に通う生徒や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

松尾中の生徒や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

松尾中学校の空調設備が、経年劣化や、不具合等により故障が頻発しているため、空調設備の入れ替え工事を行います。財源は、NAAからの補助金と、体育館部分のみ学校施設環境改善交付金、残りを合併特例債で実施します。令和3年度繰越事業 R2は、設計積算業務を委託しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託件数（工事設計）		0	1	0
工事件数（工事監理委託を含む。）		0	0	1
成果状況				
大規模改修実施率		0	0	100
小規模改修率		0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	4,180	0	0	0	0	4,180	
03年度 当初	352,220	0	0	150,300	201,920	0	(112,025)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 計画どおりに設計積算業務が完了したため、順調としました。
 < 原因 > NAA補助金が体育館には活用できないと知り、すぐに学校施設環境改善交付金の申請を行ったため交付決定を受けることができ、有利な財源確保のもとで入札手続き等も遅滞なくできました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 成東学校給食センター施設管理運営事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1026

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

給食受給者
受給者の保護者等
成東学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な管理運営を行うことにより、公平な受益者負担の下に安全で衛生的な学校給食を提供します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・学校給食法の規定に基づき賄材料費以外を市が負担して給食センターを運営します。
- <調理・衛生関係>
 - ・栄養士の指導による調理・衛生計画
 - ・市と委託事業者との打ち合わせ（衛生管理含む）
 - ・給食の調理、配送、回収、洗浄、保管
- <給食費関係>
 - ・給食申込書等によるデータ作成及び修正
 - ・納付書発行・口座振替の依頼
 - ・督促状等の発行
 - ・臨戸徴収の実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
給食数（成東センター調理分）	食	369,919	375,347	396,876
臨戸徴収件数	件	2,962	2,775	2,900
成果状況				
給食を支給できなかった日数	回	0	0	0
市全体の給食費収納率	%	99.54	99.67	99.54

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	241,391	0	0	0	106,323	135,068	
02年度 実績	237,506	0	0	0	102,310	135,196	
03年度 当初	253,004	0	0	0	113,693	139,311	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
全ての小中学校（11校）に4月・5月の新型コロナウイルス感染症による小中学校の休業以外は、給食を提供できました。収納率は、99.67%となり、維持、横ばいでした。

<原因>
給食安定供給のため、厨房設備の計画的な修繕、定期点検による故障箇所の早期発見に努めています。給食費は、口座振替推奨及び督促催促通知並びに臨戸徴収実施により、未納防止解消に取り組んでいます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 学校給食センター施設整備事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 30 年度 ~ 令和 08 年度			事務事業整理番号 1981

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東学校給食センター、山武学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

衛生的かつ安全な学校給食が安定的に供給されます。

事務事業の内容、やり方、手順

成東学校給食センター及び山武学校給食センターを統合し、現在の学校給食衛生基準にあった給食センターを整備します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
受託事業者との打合せ回数			2	
成果状況				
進捗率			0	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	857	0	0	0	0	857	
03年度 当初							(20,317)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 新センター建設予定地の決定に向け、費用面を含め再整備計画に最適と判断する用地の調査を委託しました。事業の進捗状況は、当初の予定より遅延が生じているものの、成果状況としては維持・横ばいとしました。

< 原因 > その理由としては、用地の選定に苦慮していましたが、学校給食センター再整備事業計画の調査結果で用地が確定することにより事業は進んでいくと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 小学校・学校評議員制度事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進
計画年度	平成 21 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1109

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校評議員が学校経営についての意見や助言を述べることにより、学校がより広い視野に立ち、開かれた学校づくりを図れます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の各小学校に5名以内の学校評議員を置き、学校経営について、助言・支援をすることで、開かれた学校づくりを推進していきます。

【手順】

- ・4月～ 各学校から候補者の推薦
市教育委員会による委嘱
- ・年3～5回 各学校ごとに会議等の開催
- ・翌年の3月 学校評議員制度事業，年度報告書提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
学校評議員の設置校数	校	11	11	9
成果状況				
学校評議員会議の開催回数	回	28	18	29

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	619	0	0	0	0	619	
02年度 実績	600	0	0	0	0	600	
03年度 当初	450	0	0	0	0	450	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > コミュニティスクールを開設している学校を除き、全ての小学校で学校評議員会を開催しています。各学校、年間2～3回開催しました。
 < 原因 > 開かれた教育課程を実践していくためには地域との連携は不可欠であり、教育活動の成果について適切に評価し、改善を図っていく上で学校評議員の役割は大きいと考えています。各学校、年間4～5回程度の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により学期1回程度の開催に変更したり、感染状況により評議員を招集せず書面開催とし、書類を送付し意見を集約した学校もありました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	503	395	600
コミュニティ・スクール導入校数	校	2	2	3

事務事業名 中学校・学校評議員制度事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進
計画年度	平成 21 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1119

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校評議員が学校経営についての意見や助言を述べることにより、学校がより広い視野に立ち、開かれた学校づくりを図れます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の各中学校に5名以内の学校評議員を置き、学校経営について、助言・支援をすることで、開かれた学校づくりを推進していきます。

【手順】

- ・4月～ 各学校から候補者の推薦
市教育委員会による委嘱
- ・年3～5回 各学校ごとに会議等の開催
- ・翌年の3月 学校評議員制度事業，年度報告書提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
学校評議員の設置校数	校	4	4	4
成果状況				
学校評議員会議の開催回数	回	13	11	19

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	270	0	0	0	0	270	
02年度 実績	255	0	0	0	0	255	
03年度 当初	255	0	0	0	0	255	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> コミュニティスクールを開設している学校を除き、全ての中学校で学校評議員会を開催しています。各学校、学期に1回ずつ、年間3回程度開催しました。

<原因> 開かれた教育課程を実践していくためには地域との連携は不可欠であり、教育活動の成果について適正に評価し、改善を図る機会として学校評議員の存在は大きいと考えています。当初、年間4～5回程度の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により学期に1回の開催へ変更した学校も多く、状況により評議員を招集せずに書面開催とし、書類を送付し意見を集約した学校もありました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	503	395	600
コミュニティ・スクール導入校数	校	2	2	3

事務事業名 地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人がふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1913

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

幼・小・中学生

事務事業の内容、やり方、手順

○令和2年度
市民協働・地域人材活用の観点から、NPO法人教育サポートGAAに委託し、以下の事業を行いました。
・学校支援センター試行、運用方法の調査研究
・コミュニティ・スクールの導入推進
・（仮称）子どもトータルサポートシステム施行準備
・学校支援（継続）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・学習の選択肢が広がります。
・子どもたちとシニア世代の相互連携による教えあい、学びあいの場が構築され、グローバル人材が育成されます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
調査研究のための会議実施数	回	57	45	50
成果状況				
学校支援実施回数	件	851	1,031	634

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	8,085	4,042	0	0	0	4,043	
02年度 実績	8,043	4,022	0	0	0	4,021	
03年度 当初	8,050	0	0	0	4,025	4,025	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和2年度の学校支援実施回数は1,031回となり、令和元年度の851回から大幅に増加しました。
<原因>
「学校の困ったにマッタする」を基本理念に、学校が要望する支援を実施しているため、支援依頼回数は年々増加しています。令和2年度は、1,031回のうち外国人児童生徒への支援が478回を占める結果となり、日本語支援へのニーズが高まっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	503	395	600
コミュニティ・スクール導入学校数	校	2	2	3

事務事業名 放課後子ども教室開催事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 967

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小学校、児童

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

放課後子ども教室を実施する団体（講師）への報償の支払い、消耗品の購入、保険加入等の事務を行い、新規開催に向けた相談等を実施します。

《緑海小学校》開催日：毎月第2土曜日の午前中
 《日向小学校》開催日：毎月1回指定した木曜日
 《山武西小学校》開催日：毎月1回指定した木曜日

・打合せを実施した小学校 3校
 ・教室開催校（参加人数） 0校（0人）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
打合せを実施した小学校数	校	3	3	11
成果状況				
放課後子ども教室を開催している小学校数	校	3	0	2
放課後子ども教室に参加したのべ児童数	人	1,470	0	1,300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	546	0	234	0	0	312	
02年度 実績	21	0	0	0	0	21	
03年度 当初	749	0	432	0	0	317	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 教室を実施している3校につきましては令和元年度と変更ありませんが、各小学校と開催に向け打ち合せをした結果、3校全て中止になりました。
 < 原因 > 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じていく上での人員配置が困難であり、事業形態から感染予防の対応が行き届かないと判断したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	503	395	600
コミュニティ・スクール導入学校数	校	2	2	3

事務事業名 コミュニティ・スクール推進事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進
計画年度	令和 01 年度 ~	年度	事務事業整理番号 2012

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校の教職員・生徒
地域住民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めます。

事務事業の内容、やり方、手順

各小中学校に学校運営協議会を設置し、学校運営や学校・地域の共通課題解決に向けて協議し、地域とともに特色ある学校づくりを進めます。
・コミュニティ・スクール導入校（山武中学校・松尾小学校）による学校運営協議会を開催します。
7月 学校運営方針の承認
9月～10月 学校支援等についての検討
12月 学校評価及び学校運営等についての検討
3月 学校評価結果及び今年度の活動等についての意見集約
・2校（日向小学校・睦岡小学校）の学校運営協議会導入に向けた打合せを実施しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
協議会の開催回数		7	8	16
成果状況				
活動部会数		2	2	4

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	416	0	0	0	0	416	
02年度 実績	366	0	0	0	0	366	
03年度 当初	1,377	0	0	0	0	1,377	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 山武中学校と松尾小学校の学校運営協議会の開催は当初回数より1回ずつ増加しており、両校共に活動部会も順調です。
< 原因 > 各協議会が計画性をもって活動したことが考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	503	395	600
コミュニティ・スクール導入学校数	校	2	2	3

事務事業名 各種講座事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	01	基本事業名	主体的な学習の推進
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	1051

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（市内在住・在勤）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民の社会性を養う為に、講座受講者が様々な知識・技術を習得し、地域で指導できるような人材育成を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

市民自らが参加する芸術文化活動への支援、学習成果の発表の機会、出会いふれあいの場を目的に、成東中央公民館・蓮沼公民館で次の事業を実施しました。
成人学校（3学級）7月～翌年3月迄開催
英語（初級・中級）、大人の折り紙、能の謡
チャイルドカレッジ（親子・未就学児向け）
親子3B体操・そろばん
小学生学習支援
冬休み書初め教室
主催講座7月～翌年3月
世界遺産、フラワーアレンジメント、実用書道教室等

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
企画講座数	講座	33	19	15
講座実施回数（延べ）	回数	160	100	60
成果状況				
企画講座の成立割合	%	100	63	90
講座参加者数（総数）	人	1,002	218	150

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,177	0	0	0	0	1,177	
02年度 実績	826	0	0	0	0	826	
03年度 当初	424	0	0	0	0	424	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>講座参加者は、令和元年度に比べ784名減少しました。
<原因>新型コロナウイルス感染対策として、施設利用を制限したことや緊急事態宣言等による外出の自粛が要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市主催の生涯学習講座の年間参加者数	人	3,056	1,513	4,288
自主クラブ登録数	グル	120	114	127

事務事業名 松尾公民館ダンス振興事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	01	基本事業名	主体的な学習の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1907

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公民館来館者（市内在住・在勤、市外住民）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

ダンスを目的とした来館者を将来的には自主的にイベントを開催するなどまちづくりの担い手とします。

事務事業の内容、やり方、手順

・各種ダンス講座を開催します。
 ・ダンス講座受講者が中心となったサークル活動への働きかけを行います。
 ・松尾高校ダンス部、成東高校ダンス同好会、市内小中高生を構成員としたダンスサークル活動支援（使用料の減免措置）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
講座実施回数	回	4	1	4
成果状況				
講座参加者数（総数）	人	560	14	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,182	0	0	0	586	596	
02年度 実績	23	0	0	0	0	23	
03年度 当初	49	0	0	0	0	49	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<成果> 講座参加者数は、令和元年度と比べ546人減少しました。
 <原因> 新型コロナウイルス感染症対策を講じた講座実施を検討しましたが、臨時休館等により1回しか実施できませんでした。イベントについては多数の集客が見込まれることから、中止としたため大幅な減少となりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市主催の生涯学習講座の年間参加者数	人	3,056	1,513	4,288
自主クラブ登録数	グル	120	114	127

事務事業名 松尾公民館公営塾運営事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	01	基本事業名	主体的な学習の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1910

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住・在学の中学生・高校生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公営塾を拠点とし高校生が主体的、自発的に学力を育成することにより、グローバルな社会情勢に対応できる力を持った人材が育ちます。

事務事業の内容、やり方、手順

<実施手段>
 対象：松尾高校生・成東高校生・市内在住の中・高校生
 開講日：火曜日から金曜日までの午後4時から午後7時まで
 土日祝日は午前9時から午後5時まで
 （月曜日は休館日）
 場所：松尾公民館内にぎわい処スペース
 内容：自学自習等、講師指導学習

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
講師依頼日数	日	92	49	5
公営塾実施日数	日	182	85	303
成果状況				
講師依頼日の利用者数	人	510	436	130
公営塾利用者数	人	304	79	150

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	901	448	0	0	13	440	
02年度 実績	845	423	0	0	4	418	
03年度 当初	285	0	0	0	10	275	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 利用者数は、令和元年度と比べ講師依頼日の利用者数で74人、公営塾利用者数で225人減少しています。
 <原因>
 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館のため、実施日数が講師依頼日数で43日、公営塾実施日数で97日減少したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市主催の生涯学習講座の年間参加者数	人	3,056	1,513	4,288
自主クラブ登録数	グル	120	114	127

事務事業名 成東文化会館施設管理事業

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	959

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
成東文化会館利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域文化活動の拠点として、成東文化会館のぞくプラザが常時正常に稼動し、安心して利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

・施設概要 ホール（368席）、楽屋1、楽屋2、会議室1（37人）、会議室2（27人）、視聴覚室（椅子のみ126人）及び付属設備を有償で貸し出しています（ただし山武市内の公共機関については使用料を免除している）。また、建物内に成東図書館を有しています。
ホールは1年先、会議室等は6ヶ月先まで電話にて予約受付。ホールは使用日の7日前、会議室等は3日前までに申請書を会館窓口に提出し使用料を納付する。
・月曜日（祝日の場合は翌々日）、祝祭日の翌日及び年末年始を除き、9：00～21：30まで利用することができます。
・夜間警備や空調設備、浄化槽設備、舞台機構等の保守点検、清掃業務等を業者に委託し施設の維持管理を行います。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
開館日数	日	268	60	292
業務委託及び借上件数	件	24	29	26
成果状況				
施設貸出数	件	934	103	1,200
施設苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	37,990	0	0	0	1,940	36,050	
02年度 実績	53,308	0	0	0	29,174	24,134	
03年度 当初	38,897	0	0	0	1,493	37,404	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 施設貸出数は、令和元年度から831件（89.0%）減少しており、事業成果は低下しています。また、施設苦情件数は、令和元年度に引き続き0件であり、順調です。
< 原因 > 施設貸出件数の減少は、大規模改修工事とコロナ対応により、施設を利用できない期間が約10ヶ月あったことが要因と考えます。施設苦情件数が0件であったことは、日常管理に努めた結果と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	294,243	74,568	326,900

事務事業名 成東文化会館改修事業

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進		
計画年度	平成 30 年度 ~ 令和 03 年度			事務事業整理番号	1549

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東文化会館のぎくプラザ利用者（成東図書館利用者を含みます）
山武市殿台290-1 成東文化会館のぎくプラザ

事務事業の内容、やり方、手順

成東文化会館のぎくプラザを適切に維持するため、非構造部材耐震等改修工事や空調設備改修工事、また耐用年数の切れた設備や経年劣化により機能が低下している設備の改修工事について、優先順位を決めて計画的に実施します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成東文化会館のぎくプラザが常時正常に稼動することにより安心・安全に施設を使用できます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託件数	件	2	3	3
工事件数	件	2	2	2
成果状況				
改修進捗率（複数年度）	%	50	100	100
改修進捗率（単年度）	%	0	30	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	15,140	0	0	14,800	340	0	
02年度 実績	208,224	0	0	196,700	11,524	0	21,076
03年度 当初	87,674	0	0	78,900	8,774	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
ホール天井等の耐震改修工事とホールや図書館等の空調設備改修工事が、概ね計画どおり完了しました。
<原因>
工事監理業者や施工業者と連絡を密にし、工事の進捗管理に配慮したことが要因と思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	294,243	74,568	326,900

事務事業名 松尾図書館運営事業

教育部 図書館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1044

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

図書館利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多くの市民が図書館を利用するようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

図書館を運営し、サービスを行うにあたり、会計年度任用職員の配置や、図書館資料の整備、各種事業を実施しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
開館日数	日	257	182	282
松尾図書館蔵書冊数	冊	88,136	91,750	80,000
成果状況				
松尾図書館の利用登録者数	人	8,011	8,107	7,500
松尾図書館貸出冊数	冊	85,085	64,155	65,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	30,278	0	0	0	6	30,272	
02年度 実績	22,450	0	0	0	17	22,433	
03年度 当初	16,800	0	0	0	3	16,797	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 昨年度と比較して、蔵書冊数は3,614冊、利用登録者数は96人増加しましたが、開館日数は75日、貸出冊数は20,930冊減少しました。
 < 原因 > 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館により、開館日数が減少し、それに伴い貸出冊数が減少したと考えられます。また、新小学1年生への利用カードの配付により利用登録者数が増加し、臨時休館中に郷土資料や寄贈本を整理し、登録等を行ったため蔵書冊数が増加したと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	294,243	74,568	326,900

事務事業名 さんぶの森公園管理事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1032

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森公園（ふれあいセンター及びグリーンタワー含）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公園内施設の整備及び適正な管理を行うことにより、公園の各施設を安全で快適に利用できる環境を整えます。

事務事業の内容、やり方、手順

保守点検や施設及び備品等の修繕を実施し、施設の適正管理を図りました。
また、日常管理は会計年度任用職員及び業務委託により適正管理しました。

主な点検

・電気・消防設備・空調設備・公園遊具・ホール機器

修繕

・点検結果及び老朽化による不良箇所の修繕

主な業務委託

・清掃・警備・浄化槽管理・夜間管理・樹木管理・山林管理

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
公園（施設を含む）の修繕件数	件	18	13	10
成果状況				
公園の事故発生件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	49,402	0	0	0	6,662	42,740	
02年度 実績	35,467	0	0	0	5,220	30,247	
03年度 当初	30,731	0	0	0	5,444	25,287	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 事故発生件数は0件です。
< 原因 > 適切な維持管理をしたことが要因と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	294,243	74,568	326,900

事務事業名 さんぶの森中央会館等施設改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進		
計画年度	平成 30 年度 ~ 令和 02 年度			事務事業整理番号	1976

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森中央会館、体育館、武道館及び弓道場

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

利用者の利便性向上、また安心安全な利用環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

施設の老朽化（築30年）に対処するため、空調設備をはじめ全体の改修工事を実施しました。
 H30 空調設備改修工事監理及び工事
 大規模改修工事実施設計（弓道場改築工事実施設計追加）
 H31～R2 大規模改修工事監理及び工事（継続事業）
 H31 弓道場改築工事監理及び工事

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託件数	件	2	1	
工事件数	件	2	1	
成果状況				
改修進捗率	%	75	100	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	50,723	0	0	47,500	3,223	0	
02年度 実績	109,775	0	0	104,600	5,175	0	151,469
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 大規模改修工事は終了しました。
 <原因>
 計画的な発注及び契約をし、定期的な打合せをしたことが要因と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	294,243	74,568	326,900

事務事業名 さんぶの森公園改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	令和 02 年度 ~ 令和 05 年度			事務事業整理番号 2074

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森公園

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公園利用者が、安心安全に利用できる環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化（開園H10年4月）に対応するため、公園内施設を改修します。
 ・トイレ（24.72㎡）2箇所、（14.56㎡）1箇所 洋式化【補助が付けば4年度実施予定】
 ・バーベキューピット8ピット鉄部塗装【ピット解体の予定】
 ・遊歩道（大池）腐朽木部取替【R3年度工事・社会資本整備総合交付金】
 ・外灯 50基 支柱塗装・LED化【5基のみR3年度工事・社会資本整備総合交付金】
 ・その他 老朽箇所
 R2 実施設計
 R3 工事監理及び工事

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託件数			1	1
工事件数			0	1
成果状況				
改修進捗率			30	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	1,980	0	0	0	0	1,980	
03年度 当初	47,663	9,095	0	0	38,568	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 予定の設計は完了しました。
 < 原因 > 計画的に発注及び契約をし、定期的な打合せをしたことが原因と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	294,243	74,568	326,900

事務事業名 食虫植物群落保護管理事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 953

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

天然記念物「成東・東金食虫植物群落」
見学者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

当群落が、国指定天然記念物として、指定解除や植物が滅失しないよう良好な状態で後世に引き継がれます。また、当群落の案内などの活用を通して文化財普及が推進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

国指定の天然記念物である当群落を保護し、後世に残すため、地域の方々やボランティア団体の協力を得て、下記の活動を行いました。

- ・食虫植物群落の見回り
- ・外来植物の除草・除去・除根、野焼き
- ・外来生物の除去
- ・水位、水質、気象の観察
- ・希少植物の保護、増殖

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
予算等で計画した保護事業（作業等）の件数	回	9	9	9
見学者への対応（見学者の目標値4,000人）	人	3,234	1,610	3,000
成果状況				
予算等で計画した保護事業（作業等）の実施件数	回	9	9	9
見学者数	人	3,234	1,610	3,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	3,508	530	66	0	1,437	1,475	
02年度 実績	2,284	530	66	0	927	761	
03年度 当初	1,964	530	66	0	684	684	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 見学者数が前年度比 1,624人と約半減しました。

< 原因 > その理由として、緊急事態宣言発令による休園期間の設定、休園期間以外での人流減少、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため春・夏・秋・親子教室等年4回の観察会や案内活動の中止、ソーシャルディスタンス確保のための入場制限などにより見学者数が大幅減少しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数(全13項目)	項目	9.42	-	7.8
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人	8,897	4,219	10,000

事務事業名 伊藤左千夫顕彰事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1985

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・来館者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民に伊藤左千夫の偉業・功績を伝えます。

事務事業の内容、やり方、手順

郷土の偉人・伊藤左千夫の偉業・功績を後世に伝えるため下記の事業を行いました。
第69回左千夫短歌大会 年1回
伊藤左千夫家墓地清掃 年4回

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため左千夫短歌大会の表彰式・講評は会場で実施せず、賞状・副賞・講評希望者へは郵送で伝達しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため左千夫茶会を中止しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
顕彰事業回数	回	8	5	5
成果状況				
顕彰参加数（人数・詠草数）	人	3,317	3,455	3,400

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	8,342	0	3,500	0	3,531	1,311	
02年度 実績	687	0	0	0	73	614	
03年度 当初	645	0	0	0	645	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 左千夫茶会、左千夫短歌大会の表彰式・講評を中止したため、一部遅延ありとしましたが、短歌大会参加者数（詠草数）は、一昨年度実績・令和2年度当初想定を上回りました。

< 原因 > 緊急事態宣言発令・新型コロナ禍にあって、参集型のイベント（左千夫茶会・左千夫短歌大会表彰式・講評）は中止となりましたが、外出を手控え詠草を創作する時間に振り向ける方が増えたことにより投稿が増えたと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数(全13項目)	項目	9.42	-	7.8
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人	8,897	4,219	10,000

事務事業名 成東・東金食虫植物群落国天然記念物指定百周年事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用
計画年度	令和 02 年度 ~ 令和 02 年度		事務事業整理番号 2068

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東・東金食虫植物群落、群落見学者・資料館来館者・記念講演会参加者・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

当群落が地域の財産として良好な状態で保全され後世へ継承されるような計画・体制づくりが推進されています。市民の方々が、当群落の存在や価値により国の天然記念物に指定されたことを理解しています。

事務事業の内容、やり方、手順

本州で8種類の食虫植物が生育する唯一の湿原である当群落の希少性・大切さや未永く保全すべきものとの認識をもっていたため以下の事業を展開しました。
 ・資料館企画展「食虫植物群落国指定百年」
 ・記念誌『食虫植物群落指定百年の歩み』刊行
 新型コロナウイルス禍による緊急事態宣言等により記念講演会「指定百年。今後百年の保存に向けて」と現地見学会は来年度に順延としました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
実施した事業件数			2	1
成果状況				
イベント（企画展・記念講演会・現地見学会）の参加者数			2,231	700

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	713	0	0	0	0	713	
03年度 当初	30	0	0	0	15	15	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 記念講演会・現地見学会が開催できず、進捗状況に一部遅延ありとしました。
 <原因>
 緊急事態宣言発令、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントが実施できなかったことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数(全13項目)	項目	9.42	-	7.8
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人	8,897	4,219	10,000

事務事業名 成東文化会館自主事業

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	04	基本事業名	芸術文化活動の充実	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	956

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

【内容】
 ・鑑賞型事業：多ジャンルの事業を開催しました。
 ・参加型事業：芸術活動発表の場を参加者自ら企画し参加型事業を開催しました。
 ・ワークショップ型事業：舞台芸術を支える知識に関するワークショップを開催しました。
 【やり方・手順】
 ・子どもと育つ、アーティストと育つ、人材が育つ、参加者と育つという目標を達成するための、具体的事業を計画し実施しました。
 ・市民と協働イベントの企画、周知を行いました。
 ・アンケート、協力者の声等からフィードバックを得ました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多くの市民が、幅広い芸術文化活動に触れる機会が増加します。
 市民ニーズに合致した自主事業を行うことにより、満足度が向上し、来場者も増加します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
PR件数	件	216	80	144
自主事業開催本数	本	27	10	18
成果状況				
入場者数	人	5,069	709	1,500
自主事業に対する満足度	%	88.9	90.71	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	16,783	0	0	0	2,179	14,604	
02年度 実績	5,269	0	0	0	278	4,991	
03年度 当初	12,121	0	0	0	1,250	10,871	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>自主事業入場者数が、令和元年度より86%減少（4,360人減）し、事業成果は低下です。
 <原因>新型コロナウイルス感染症対策のため、当初予定本数29本から10本へ減少したこと、座席数を制限しての開催が原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合	%	69.2	63.6	66
市主催の芸術文化事業への参加者数	人	5,594	928	10,000
芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合	%	34.3	27.8	47.5

事務事業名 さんぶの森文化ホール自主事業

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	04	基本事業名	芸術文化活動の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 957

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

【内容】
 ・鑑賞型事業を開催します。
 ・育成型事業（親子参加でのウクレレ教室）を開催しました。
 ・参加型事業（アマチュアバンドコンサート、音響ワークショップ）を開催しました。
 【やり方・手順】
 ・人材を育てると共に会館も育つべく事業を計画しました。
 ・広報活動（ポスター・チラシの作成、ホームページ・広報への掲載、ダイレクトメールその他）を行い、アンケート等の声からフィードバックを得ました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多くの市民が、幅広い芸術文化活動に触れる機会が増加します。
 市民ニーズに合致した自主事業を行うことにより、満足度が向上し、来場者も増加します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
PR件数	件	48	32	56
自主事業開催本数	本	5	4	7
成果状況				
入場者数	人	525	219	300
自主事業に対する満足度	%	91	92.23	85

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,815	0	0	0	0	1,815	
02年度 実績	1,112	0	0	0	0	1,112	
03年度 当初	2,281	0	0	0	0	2,281	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>自主事業入場者数が、令和元年度より58%減少（306人減）し、事業成果は低下です。
 <原因>新型コロナウイルス感染症対策のため、当初予定本数10本から4本へ減少したこと、座席数を制限しての開催が原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合	%	69.2	63.6	66
市主催の芸術文化事業への参加者数	人	5,594	928	10,000
芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合	%	34.3	27.8	47.5

事務事業名 少年海外派遣支援事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 976

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の中学生・高校生
少年海外派遣団

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海外で、その自然・文化及び社会情勢・福祉活動等を体験することにより、広い視野と国際感覚が身につきます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市少年海外派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定します。

<内容>
研修生は募集時に提出した作文及び面接により選考
募集定員は18名（他、団長・随員各1名）
事前研修4回、事後研修1回実施
8月中旬ごろ出発、6泊8日

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業の中止を決定しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
打合せ日数（面接・結団式・研修会）	日	6	0	0
成果状況				
海外派遣により、国際感覚が身についたと思う参加者の割合	%	100	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	3,456	0	0	0	0	3,456	
02年度 実績							
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 海外の渡航状況等の情報を取り入れながら事業実施に向け検討しましたが中止になりました。
<原因> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、渡航できる状況ではなかったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	3,168	65	3,482
海外派遣事業応募者数	人	15	0	35

事務事業名 山武市青少年派遣事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成		
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1858	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に在住または在学するを中学生・高校生
山武市青少年スリランカ派遣団

事務事業の内容、やり方、手順

山武市青少年スリランカ派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金を交付します。

オリ・パラ延期に伴い令和2年度も派遣等は実施せず、令和3年度以降の事業調整を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業の中止を決定しました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

スリランカ国の人や自然、社会、文化等に触れることにより、異文化理解能力及びコミュニケーション能力が向上します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
打合せ回数（面接・結団式・研修会）	回	2	0	0
成果状況				
スリランカ国への派遣により、異文化理解能力及びコミュニケーション能力が向上したと思う参加者の割合	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	137	0	0	0	0	137	
02年度 実績							
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > オリ・パラ延期に伴い令和2年度も派遣等は実施せず、令和3年度以降の事業調整を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止を決定しました。

< 原因 > 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、渡航できる状況ではなかったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	3,168	65	3,482
海外派遣事業応募者数	人	15	0	35

事務事業名 トップアスリートスポーツ教室事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	03	施策名	スポーツの振興		
基本事業番号	01	基本事業名	スポーツ活動の充実		
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1864	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住・在学の小中学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

一流の選手から直接指導を受けることにより、スポーツに対する関心を高めるとともに、体力・技術の向上が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

以下の手順で教室を計画しました。

1. 内容の検討・決定
2. 講師の決定・依頼
3. 広報、チラシなどによる周知
4. 参加者募集
5. 教室の実施
6. アンケート結果などを踏まえての反省会の実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
教室の開催回数		1	0	3
成果状況				
参加者数		25	0	150

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	226	0	0	0	0	226	
02年度 実績	0	0	0	0	0	0	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 予定していた「ボールゲームフェスタ」事業が中止になったことにより成果状況は低下です。
 < 原因 > 新型コロナウイルスの影響により健康・安全面に配慮したことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	%	10.1	5.7	14.6
スポーツ大会・教室の機会の充足度	%	69	65.9	66.2

事務事業名 ボッチャ大会開催事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	03	施策名	スポーツの振興		
基本事業番号	01	基本事業名	スポーツ活動の充実		
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1865	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

パラリンピック競技の普及を図ることにより、障がいのある方とない方がともにスポーツに親しめる機会が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

以下の手順で大会を計画しました。

1. 大会内容、開催時期等の検討・決定
2. 講師等の決定・依頼（必要があれば）
3. 広報、チラシなどによる周知
4. 参加者募集
5. 大会の開催
6. アンケート結果などを踏まえての反省会の実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
大会の開催回数		1	0	1
成果状況				
参加者数		57	0	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	198	86	0	0	0	112	
02年度 実績	128	60	0	0	0	68	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和2年度は事業の開催を行わないため、成果状況は低下です。
 < 原因 > 新型コロナウイルスの影響により、健康・安全面に配慮し事業を中止したことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	%	10.1	5.7	14.6
スポーツ大会・教室の機会の充足度	%	69	65.9	66.2

事務事業名 成東総合運動公園維持管理事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	03	施策名	スポーツの振興		
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進		
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1013	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・成東総合運動公園施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・運動公園施設を快適に利用できるようにします。

事務事業の内容、やり方、手順

〔施設概要〕
 ・陸上競技場兼サッカー場、野球場1面、テニスコート6面、ゆめ広場、会議室他
 ・利用時間：9：00～21：00
 ・利用受付・利用料金徴収
 〔手段〕
 ・施設、備品等の修理、グラウンドの整備等を実施し、施設の適切な運営を図りました。また、維持管理業務を遂行するために、優先度の高い整備改修から順次整備を実施しました。優先度は、各整備工事を維持管理、老朽化、緊急性の面からとらえました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
利用申請者件数	件	1,708	916	1,500
小規模修繕の件数		6	4	0
成果状況				
利用者数	人	38,811	12,165	34,100
小規模修繕の件数	件	6	4	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	27,579	0	0	0	10,449	17,130	
02年度 実績	21,342	0	0	0	2,538	18,804	
03年度 当初	18,754	0	0	0	3,848	14,906	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和2年度は、テニスコート照明設備漏電工事、フロア交換工事、小便器自動洗浄装置交換工事、キュービクル電流計工事等を順調に行うことが出来ましたが、申請受付件数が対前年792件の減、利用者数が対前年26,646人減少しており、事業成果は低下です。
 < 原因 > 新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言等の発令により施設の使用中止期間があったことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	138,482	48,785	148,122
体育施設の修繕件数	件	0	0	0

事務事業名 蓮沼スポーツプラザ施設改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	03	施策名	スポーツの振興		
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進		
計画年度	令和 01 年度 ~ 令和 05 年度			事務事業整理番号	1983

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

蓮沼スポーツプラザ

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

蓮沼スポーツプラザを安心・安全に利用できる環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

利用者にとって、より使いやすい施設となるよう改修工事を行いました。

令和 2 年度

- ・蓮沼スポーツプラザしおさい館空調設備改修工事
- ・蓮沼スポーツプラザ網戸設置工事
- ・蓮沼スポーツプラザしおさい館網戸設置工事
- ・蓮沼スポーツプラザ消防用設備改修工事

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
打合せ回数	回	5	5	
成果状況				
改修進捗率	%	100	100	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	33,839	0	0	32,100	1,739	0	
02年度 実績	10,478	0	0	8,300	528	1,650	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 蓮沼スポーツプラザしおさい館空調設備改修工事等計画した工事が予定通り終了しており、事業成果は向上です。
 < 原因 >
 市担当者・施工業者・施工監理業者との定例打合せで週間工程の進捗状況を監理し、事故もなく工事を進めることが出来たことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	138,482	48,785	148,122
体育施設の修繕件数	件	0	0	0

事務事業名 子ども人権(CAP)事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり	
基本事業番号	01	基本事業名	人権教育・人権啓発の推進	
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	974

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市立小学校、幼稚園、こども園の児童とその保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

保護者が子どもの人権について、また、子ども同士でもお互いの人権について正しく理解出来るようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

子どもたちがいじめ、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分を守るための人権講習を実施します。

・実施回数（参加人数）
 幼稚園・こども園 13回（143人）
 小学校 3回（100人）
 大人 7回（69人）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
開催回数	回	31	23	30
成果状況				
延べ参加者数	人	516	312	500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,033	0	0	0	0	1,033	
02年度 実績	655	0	0	0	0	655	
03年度 当初	1,174	0	0	0	0	1,174	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和元年度実績より開催回数が小学校1回、幼稚園・こども園4回、大人3回減少したため、参加人数も204人減少しました。
 < 原因 > 新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた時期に開催できなかったことが考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	%	23.3	26.7	24.3
この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	%	9.3	7.9	10.5

事務事業名 男女共同参画推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり		
基本事業番号	03	基本事業名	男女共同参画の推進		
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	123	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

男女平等意識が向上し、男女がともに暮らしやすいまちづくりが創造されます。

事務事業の内容、やり方、手順

・広報活動として、広報紙に関連イベント等の掲載を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止や自粛となったことから、掲載を見送りました。
 ・第3次山武市男女共同参画計画（計画期間平成31年度～令和5年度）の各目標指標値の進捗管理のため、山武市男女共同参画庁内推進本部会議（書面開催）及び山武市男女共同参画推進懇談会（書面開催）を開催しました（令和3年3月）。
 ・「山武市審議会等委員への女性登用推進指針」をもとに、審議会、委員会等への積極的な女性の登用を推進しています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
広報紙掲載回数	回	3	0	1
庁内会議回数	回	1	1	1
成果状況				
広報紙で呼びかけた男女共同参画の具体的なテーマ・事業数	回	3	0	1
審議会への女性登用人数	人	77	102	110

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	157	0	0	0	150	7	
02年度 実績	7	0	0	0	0	7	
03年度 当初	168	0	0	0	0	168	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 地方自治法第202条の3に基づく審議会等における女性委員の登用人数が昨年度より25名増加しました。
 <原因>
 広報紙への啓発記事の掲載は、新型コロナウイルス感染症の影響により、関連イベントや講演会等が中止、自粛となったことから掲載を見送りました。また、新設された審議会や委員会の改選等で女性委員が多く登用されたため、女性委員の登用人数が増加しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
審議会などに女性委員が登用されている割合	%	22.1	26	33.3
「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合	%	77.7	77.6	75
男性が家事・育児に積極的に参加している割合	%	39.2	36.8	45

事務事業名 市民提案型交流のまちづくり推進事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	02	基本事業名	市民活動の活性化
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1334

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民の手によるまちづくり活動の促進、市民や市民活動団体のつながりができ、暮らしやすい地域となります。

事務事業の内容、やり方、手順

市民活動団体が、自主的、主体的に企画し、他の団体との連携を持ちながら実施する事業で、人々の交流が生まれ地域の連帯が強化される事業を提案し、審査の結果採択された事業に補助金の交付を行います。

補助率：補助対象経費の10/10以内

（限度額：新規団体30万円、交流団体50万円）

審査委員：学識経験者、公募委員、市職員

審査会：前年11月...提案団体からの提案事業審査

3月...実施団体からの成果報告会により事業評価

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
審査件数	件	2	6	9
成果状況				
事業実施件数	件	2	2	9
事業実施に伴い連携した団体数	団体	8	3	12

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	396	0	0	0	175	221	
02年度 実績	426	0	0	0	252	174	
03年度 当初	856	0	0	0	341	515	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 事業実施件数は2件で、昨年度と同数となりました。また、連携した団体数は3団体で昨年度と比較して5団体の減となりました。

<原因> 平成23年度から実施している事業として毎年度継続をしていますが、事業規模により連携した団体数は減となりました。新たな提案団体が年々減少している状況から、補助金部門の見直しを行った結果、次年度事業の審査件数は増となりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市民活動に意欲的な市民割合	%	40.9	38.8	48
市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合	%	93.6	88.2	90

事務事業名 地域まちづくり事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	02	基本事業名	市民活動の活性化
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	1337

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民(小学校区)

事務事業の内容、やり方、手順

全市的に協議会についての広報を行い、賛同地域をモデル地区に設定して試行的に事業を展開し、方向性を定めるものです。その後、市内各地域の特性を考慮して、協議会及びその計画を認証するシステムを構築し、一定の権限を有する団体を市内全域に普及することを目指します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

各小学校区を基準として区域内で活動する自治会、区を基盤に、地域で活動する団体・組織が、緩やかに連携・協力することで地域の特性を生かし、コミュニティ活動がさらに活発化するとともに地域の課題を地域で解決していきます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
協議会への理解度	%	25	25	30.76
成果状況				
協議会数	区	3	3	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	11,237	0	0	0	2,275	8,962	
02年度 実績	3,113	0	0	0	2,445	668	
03年度 当初	5,927	0	0	0	2,913	3,014	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 協議会数は3団体で令和元年度と同数です。協議会への理解度は25%で令和元年度と同数です。
 < 原因 >
 協議会数は増加してはおりませんが、協議会への関心につながる活動が各地区で見られます。地区の伝統行事の実施や地域課題への取り組みなど様々な活動が展開されていることにより認知度の上昇及び関心に繋がり、他地区においても活動のきっかけになることが期待されます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市民活動に意欲的な市民割合	%	40.9	38.8	48
市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合	%	93.6	88.2	90

事務事業名 地域まちづくりグローバル賑わい空間事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	02	基本事業名	市民活動の活性化
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1846

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、松尾高校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域で活動する団体、組織、学校、市民等が連携協力することで、地域の特性を活かしたまちづくりがなされます。

事務事業の内容、やり方、手順

松尾地域の活性化のため、松尾高校の魅力化を図ります。
松尾高校と共催して、英語の通い合宿を行います。
・夏季合宿 1 回
・冬季合宿 1 回

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
英語合宿等開催回数	回	2	2	2
成果状況				
アンケートによる満足度	%	93	84	90
参加者人数（延べ）	人	67	77	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	3,210	0	0	0	1,605	1,605	
02年度 実績	339	0	0	0	170	169	
03年度 当初	603	0	0	0	301	302	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 英語合宿の開催による満足度は84%で昨年度と比較して9ポイント減少しました。また、参加人数は77人で昨年度と比較して10人増加しました。
< 原因 > これまで継続的に行われてきた事業であること、学校内で粘り強く参加を呼び掛けてきたことが参加人数の増加につながっていると考えられます。また、参加人数の増加に伴い、事業に対する生徒の感想についてもバラつきが出てきています。内容に対する提案など積極的な意見も出ており、事業実施の都度改良をしながら満足度の向上に努めてまいります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市民活動に意欲的な市民割合	%	40.9	38.8	48
市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合	%	93.6	88.2	90

事務事業名 コミュニティ施設整備支援事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	03	基本事業名	市民活動施設の利用促進
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	213

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

各地区

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域住民の共同体としての施設整備を支援し、地域住民相互の親睦に寄与するとともに地域住民の負担が軽減されます。

事務事業の内容、やり方、手順

地域社会におけるふれあいのある生活を育成するため、住民が設置するコミュニティ施設を整備する事業に要する経費に対して補助金を交付しました。
 ・施設（新築・増築・改築）：床面積1㎡×5万円を補助、限度額700万円、千葉県福祉のまちづくり条例第14条適合の場合は上限800万円
 （修理）：事業費の1/3補助、限度額100万円、県条例適合の場合150万円
 （解体）：事業費の1/4補助、限度額50万円
 ・構内舗装：事業費の1/3補助、限度額30万円

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
要望件数	件	5	4	4
成果状況				
補助金交付決定件数	件	5	4	4

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	2,500	0	0	0	0	2,500	
02年度 実績	12,550	0	5,700	0	0	6,850	
03年度 当初	1,740	0	0	0	0	1,740	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 補助金決定件数は4件で、昨年度と比較して1件減少しています。
 <原因>
 地区からの申請に基づくものなので、年度により申請件数に偏りがありますが、計画通りに事業を実施します。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市民活動支援施設の利用者数	人	54,093	24,285	45,000
活動場所に困っている市民活動団体の割合	%	17.8	25.5	23

事務事業名 東京オリンピック・パラリンピック戦略推進事業

総合政策部 東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	05	基本事業名	東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進
計画年度	平成 26 年度 ~ 令和 03 年度		事務事業整理番号 1815

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、組織委員会等関係機関

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

大会の成功に協力し、青少年スポーツ及び障がい者スポーツの振興を図り、大会の開催効果を市の発展に結び付けます。

事務事業の内容、やり方、手順

戦略推進本部に、分野毎に4つの専門部会を設置し、庁内で横断的に取組みを進めます。（基本計画及び実施計画の策定）
また、機運醸成を図るための事業を実施します。
<各専門部会>
1. 教育・・・地元選手の育成及び青少年スポーツ能力の向上を図る等
2. 招致・・・国内外の選手・チームの事前キャンプ地として、市内施設を活用するための誘致活動等
3. 障がい者スポーツ・・・障がい者スポーツの振興及び障がい者に優しいまちづくり
4. まちづくり・・・市内経済活性化

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
事業計画数	事業	21	17	7
成果状況				
事業実施数	事業	20	7	7

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,488	135	0	0	1,208	145	
02年度 実績	346	0	0	0	346	0	
03年度 当初	8,067	0	0	0	8,067	0	(642)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
事業実施数が当初計画の20事業に対し、7事業の実施に止まっており、成果状況は低下しました。
<原因>
東京2020大会開催までの期間において実施する事業について、毎年度アクションプランを策定し、計画的に事業を実施することとしていますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初計画していた10事業が中止となったことが原因です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
東京オリンピック・パラリンピック関連の事業実施数	事業	20	7	20(H32)

事務事業名 事前キャンプ実施事業

総合政策部 東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	05	基本事業名	東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進
計画年度	令和 02 年度 ~ 令和 03 年度		事務事業整理番号 2072

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

東京2020大会へ出場するスリランカ選手団（オリンピック、パラリンピアン、スタッフ）
市民

事務事業の内容、やり方、手順

東京2020大会開催直前期（2021年7月～8月）にスリランカ選手団の事前キャンプを受け入れるため、宿泊、食事、移動手段及び練習場所等を確保します。
また、東京2020大会前後の期間において、市民と選手団が交流できる機会を検討します。
キャンプ実施期間：20日間（オリ・パラ10日間ずつ）
キャンプ受入人数：50人（オリ・パラ合わせて）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

東京2020大会において、スリランカ選手団が持てる力の限りを発揮できるコンディションを整えます。
また、市民とスリランカ選手団の交流を通じ、青少年スポーツ・障がい者スポーツの振興及びグローバル化が図られます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
大会に出場する選手団等との交流活動開催回数			0	2
成果状況				
交流活動に参加した市民の満足度			0	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	94	0	0	0	94	0	
03年度 当初	15,509	0	1,987	0	2,477	11,045	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和2年度は、当初実施を予定していた交流活動を実施できなかったため、成果状況は低下（実績0）しました。

< 原因 > 令和2年3月末に東京2020大会を1年延期することが決定したことに伴い、令和2年度は事前キャンプ・交流活動実施に向けた準備のみを行うこととなったことが原因です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
東京オリンピック・パラリンピック関連の事業実施数	事業	20	7	20(H32)

事務事業名 ふるさと納税推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1099

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

ふるさと納税により本市へ寄附された方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

寄附者への返礼品送付を通じて本市の知名度向上、来訪への契機とします。
加えて、地場産品取り扱いによる地域活性化と自主財源の確保に貢献します。

事務事業の内容、やり方、手順

・令和2年9月29日付け総務省告示第280号により、ふるさと納税制度の指定団体となりました。
・ふるさと納税制度の仕組み、概要などをホームページに掲載し、広く寄附を募りました。
・寄附をいただいた方に対して、寄附金受領証のほか、礼状やふるさと納税に関する案内等を郵送しました。
・令和元年度の事業状況について、寄附受入件数、寄附金額及び運用状況を、広報紙及び市ホームページに掲載しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
ホームページ掲載回数	回	3	4	5
成果状況				
寄附受入件数	件	1,193	788	950
寄附金額	円	23,417,622	25,397,000	24,263,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	7,904	0	0	0	0	7,904	
02年度 実績	9,679	0	0	0	0	9,679	
03年度 当初	7,240	0	0	0	0	7,240	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
寄附金額が、令和元年度と比較して、増加しています。
<原因>
令和元年度の災害支援を除く受入件数は680件で、受入件数は年々増加傾向にあり、寄附金額も増加しています。また、令和元年度と比較して、寄附金額10万円以上の寄附者数が増加したことが要因の一つとして考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	85	86.9	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	86.5	86.5	90
市ホームページアクセス件数	アクセス	827,353	466,639	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	289	209	215

事務事業名 広報さんむ作成・発行事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 90

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全世帯
市民

事務事業の内容、やり方、手順

市内の世帯に配布する広報紙を作製し発行します。
市民と協働で広報紙を作製します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民目線の広報紙を作製し、市政や行事等に関する情報が広く周知されています。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
発行回数	回	12	12	12
成果状況				
印刷部数	部	280,200	240,000	288,000
広報紙を読んでいる市民の割合	%	85	86	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	12,372	0	0	0	982	11,390	
02年度 実績	12,401	22	0	0	1,008	11,371	
03年度 当初	19,774	22	0	0	817	18,935	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>広報紙を読んでいる市民の割合は、令和元年度と比べ1.9%上昇しました。
<原因>市民広報編集委員と協働し、市民生活に密着した情報の掲載や伝わりやすい文章作成などに努めたことや、新型コロナウイルス感染症情報に関心が高いことが要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	85	86.9	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	86.5	86.5	90
市ホームページアクセス件数	アクセス	827,353	466,639	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	289	209	215

事務事業名 ホームページ運営事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 91

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
山武市の情報を得ようとする人

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市政や行事等に関する情報が広く周知されています。
市の魅力が広く発信されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市民等に対し、電子媒体により条例や規則、市の施策、行事等に関することなどを掲載しています。担当課が告知内容を作成し、各課で掲載。市民自治支援課では内容を定期的に確認しています。また、PRしたいイベントなどを画像を使って目立つように周知したり、ホームページのカテゴリー構造などをチェックしています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
更新件数（更新申請件数）	件	0	0	0
承認件数	件	3,006	1,681	2,800
成果状況				
市ホームページへのアクセス件数	件	827,353	466,639	711,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	6,151	0	0	0	320	5,831	
02年度 実績	1,097	0	0	0	320	777	
03年度 当初	1,097	0	0	0	240	857	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
ホームページへのアクセス件数は、令和元年度と比べ360,714件減少しています。
<原因>
令和元年度末にホームページシステムの更新を行い、同一IPアドレスからの連続アクセスをカウントできない仕組みとなり、数字上は件数が減少しましたが、パソコンやスマートフォンの普及により、手軽に情報を取得する手段としてホームページを利用されていることが考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	85	86.9	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	86.5	86.5	90
市ホームページアクセス件数	アクセス	827,353	466,639	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	289	209	215

事務事業名 議会だより作成事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	03	基本事業名	議会情報の公開の推進
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	668

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

議会の審議状況や議員活動について市民に解りやすく伝えることにより、議会への関心がより高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

・議会の活動状況を広く市民に周知するため議会だよりを定例会ごとに発行し全世帯に配布するとともに、市ホームページにも掲載します。
仕様：A4版16ページ、4色カラー印刷
配布方法：新聞折込及び郵送
・編集委員会の目的
内容を精査し、市議会及び議員の活動状況を市民にわかりやすく伝えます。
他市の議会報を参考にして、よりよい議会だよりになるようにします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
議会だより配布部数(1回あたり)	部	21,000	18,800	23,500
議会だより編集委員会の開催回数(年間)	回	5	3	4
成果状況				
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	41.6	39.2	47
議会だよりを読んでいる職員の割合	%	67.4	71.4	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	2,197	0	0	0	0	2,197	
02年度 実績	2,323	0	0	0	0	2,323	
03年度 当初	4,206	0	0	0	0	4,206	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 議会だよりを読んでいる市民の割合は令和元年度より2.4ポイント減少しましたが、職員の割合は4ポイント増加しました。

<原因> 議会だよりは、新聞折込及び郵送で各世帯に配布していますが、新聞購読者が減少し配布数が減っています。また、新型コロナウイルスの影響により定例会一般質問を取りやめたことで、記事内容が変更となったため、一時的な紙面離れがあったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	41.6	39.2	47
傍聴人数	人	84	62	140
議会インターネット中継アクセス件数	件	1,394	1,409	2,800

事務事業名 議会改革推進事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	03	基本事業名	議会情報の公開の推進
計画年度	平成 28 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1964

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市議会議員 市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

先進地の議会改革の内容を調査・研究することにより、議会改革の取り組みが進みます。 議会の情報を公開することにより、透明性を確保し、議会に対する市民の理解と信頼が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

<ul style="list-style-type: none"> 議会改革先進事例の提供 議会改革の参考となる先進地の事例を、議会の依頼に応じて有益な情報を調査・提供します。 議会運営効率化・公開に関する支援 議会運営に係る事務の効率化、経費削減及び審議内容公開等に関して議会の依頼に応じ有益な情報を調査・提供します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
議会改革に係る調査・情報提供件数	件	2	1	1
成果状況				
議会改革として取組をすることになった件数	件	0	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 議会改革として取組をすることになった件数は、令和元年度より1件増加し、順調です。
< 原因 > 近隣市町や先進地の議会改革に係る調査を行ったことで、議会議員政治倫理規程を制定することができ、議会改革の取組が進みました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	41.6	39.2	47
傍聴人数	人	84	62	140
議会インターネット中継アクセス件数	件	1,394	1,409	2,800

事務事業名 行政評価制度推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	01	基本事業名	行政経営の推進
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	127

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・総合計画に定める体系（政策・施策・基本事業・事務事業）
- ・職員
- ・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・総合計画の進行管理が行えるようになります。
- ・行政評価制度を理解し、事務や事業の分析・改善を効果的に行う職員が増えます。
- ・事務事業評価、施策・基本事業評価の結果を活用して、適切な資源配分が行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

総合計画の施策・基本事業及び事務事業に目的達成度を表す成果指標と目標値を設定・評価し、その結果に基づくPDCAのマネジメントサイクルを回して、費用対効果の高い事業への資源配分、結果重視の行政運営を目指し事業を実施します。【令和2年度】事務事業と施策・基本事業とを連動させることでさらなる推進を図ります。

4月 まちづくりアンケートの実施
 4月～6月 施策基本事業評価・事務事業評価（SPRINGレビュー）
 7月～ 事務事業評価（SUMMERレビュー）
 9月～ 成果志向型予算編成の実施
 12月 まちづくり報告書 事務事業評価報告書策定
 2月 実施計画書の策定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
説明会・研修会の実施回数	回	3	2	2
評価・点検を実施した事務事業数	事業	174	195	300
成果状況				
行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合	%	54.3	57.2	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	5,440	0	0	0	0	5,440	
02年度 実績	5,521	0	0	0	0	5,521	
03年度 当初	11,295	0	0	0	0	11,295	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和2年度の行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合は57.2%で、昨年度と比較して2.9ポイント増加しました。
 < 原因 > コロナ禍のため職員説明会や行政評価に係る研修は実施できませんでしたが、グループウェアを利用して周知を図りました。また、新規採用職員向けに第2次山武市総合計画と山武市の行政評価の取組に係る資料を配布し、理解や意識の向上を図った成果と考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
基本事業の目標達成率	%	35.7	36.7	70
PDCAサイクルを意識している職員の割合	%	54.3	57.2	66.7

事務事業名 職員研修事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	17

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多様化、高度化する行政ニーズに対し的確に対応する職員を育成します。

事務事業の内容、やり方、手順

- (1) 研修機関で実施する研修
山武都市広域行政組合
千葉県自治研修センター
市町村アカデミーなど
- (2) 内部研修
年間2回の内部研修
年4回の自己啓発研修
新規採用職員等研修など
- (3) 自己研鑽研修
所属部署の業務を離れて、先進事例を研究するための先進自治体への視察研修（2人以上のグループによること）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
実施する研修の数	回	50	37	44
成果状況				
職員一人当たりの研修受講回数	回数	1.1	0.4	1.5
多様化、高度化する行政ニーズに対し的確に対応できる職員が育成されていると思う職員割合	%			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,239	0	0	0	8	1,231	
02年度 実績	885	0	0	0	6	879	
03年度 当初	3,283	0	0	0	150	3,133	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 職員一人当たりの研修受講回数は、令和元年度より0.7ポイント減少しています。

原因 新型コロナウイルス感染予防のため、研修の中止や受講者数の調整などにより研修期間における受講者数が減少したことに加え、内部研修では自己啓発研修を中止したため、開催数、参加職員数が減少しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	69.3	71.6	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	77.9	82.4	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	92.8	92.4	95

事務事業名 人事評価事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 18

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員（一般職）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

職員自身の発揮した能力や業績に応じて、職員が納得した公正公平な評価がなされます。

事務事業の内容、やり方、手順

職員が職務を通じて発揮した能力、あげた業績を的確に把握し、公正に評価することで、職員の人材育成、適材適所の任用、適切な給与処遇の実現を目指します。

主な取組み

- ・人事評価の精度を向上させるため、各種研修会を実施します。
- ・目標設定及び評価調整会議及び期首期末面談等を行い人事評価の精度向上を図り、評価結果を処遇に反映させていきます。
- ・評価者と被評価者の面談を通じて課内のコミュニケーションを促進し、変化、改革を求められる時代のニーズにチーム対応していきます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
研修会開催回数	回	0	2	4
成果状況				
人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合	%	87	89	81
人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合	%	53	52	66

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							
03年度 当初	220	0	0	0	0	220	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合は、令和元年度より2ポイント向上しましたが、人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合が1ポイント低下しました。

原因 人事評価制度の仕組みや制度の理解は、研修や目標設定度調整会議等の実施により、職員個々の理解が深まった結果向上したものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	69.3	71.6	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	77.9	82.4	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	92.8	92.4	95

事務事業名 組織体制見直し事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 23

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員・市民

事務事業の内容、やり方、手順

- ・現状の課題点の洗い出しを行います。
- ・組織改編に向けて各部署のヒアリング実施します。
- ・大幅な組織の見直しを行う際は、組織モデル案を作成し、庁議及び議会へ報告します。
- ・関係する例規を整備します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・市が直面する喫緊の課題に機動的に対応できます。
- ・市民に対して効率的な行政サービスが提供できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
組織体制見直しに係る打合せ回数	回	8	21	1
成果状況				
組織及び事務分掌の見直し回数	回	1	1	1
効果的効率的な組織編制（課や事務分掌）ができていると思う職員の割合	%	62.4	66.8	70

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 効果的効率的な組織編制ができていると思う職員の割合は、前年度比4.4%向上しました。
 < 原因 > 令和3年4月1日付で組織の大幅な見直しを実施したことから、指標が向上したものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	69.3	71.6	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	77.9	82.4	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	92.8	92.4	95

事務事業名 定員適正化推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1089

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

定員適正化計画に基づき定員管理の適正化が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

・総合計画を具体的に実行していくための効率的な組織運営を進めます。
 ・事務事業の委託化、指定管理者制度の導入等を推進し定員の適正化を図ります。
 ・定員適正化計画に基づき、「類似団体別職員数の状況」を活用し、計画的な職員採用や定員管理に努めます。

スケジュール
 4月 退職勧奨制度の周知
 5月 職員採用計画
 6月 地方公共団体定員管理調査
 9月 人事に関する各部・各課ヒアリング
 3月 職員配置の決定

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
各部・各課ヒアリング回数	日	8	6	6
成果状況				
定員適正化計画の定員数と職員数の差	人	6	4	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 令和2年度の定員適正化計画の目標定員452人に対し、実績は448人で、4人少ない状況となっています。
 （原因 主な理由として、年度内退職者が発生したことにより、退職者不補充となったことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	69.3	71.6	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	77.9	82.4	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	92.8	92.4	95

事務事業名 ワークライフバランス推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度		事務事業整理番号 1962

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

事務事業の内容、やり方、手順

- ・年次休暇、夏季休暇、男性の育児参加休暇等の取得推進。
- ・ノー残業デーの設定定着の推進。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

仕事と家庭生活の調和のとれた働きやすい職場環境の整備し全ての職員が持てる力を職務遂行に十分発揮し活躍できるようにします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
休暇・休業制度に関して行った通知等の回数	回	4	4	4
成果状況				
年次休暇の平均取得日数	日	9.7	11	10

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

（状況）年次休暇の平均取得日数は、令和元年度から1.3日増加しています。
 （原因）一斉定時退庁の周知や事務事業等の見直しにより、時間外勤務の削減及び休暇の計画的な取得が進んだことによるものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	69.3	71.6	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	77.9	82.4	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	92.8	92.4	95

事務事業名 指定管理者指定事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 130

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公の施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な審査が行われ、適正な指定管理者が選定されています。

事務事業の内容、やり方、手順

公の施設を管理する部署からの希望により、指定管理者選定委員会を開催し、選定基準により指定管理候補者の選定を行いました。

【令和2年度実績】

下記施設について、指定管理者の指定を行いました。

- ・成東学童クラブ
- ・松尾学童クラブ
- ・大平学童クラブ

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
選定委員会開催数	回	2	2	3
成果状況				
指定管理者制度導入施設数	施設	21	21	21

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	54	0	0	0	0	54	
02年度 実績	56	0	0	0	0	56	
03年度 当初	83	0	0	0	0	83	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 指定管理者制度を導入している施設数は、21施設を維持しています。
 < 原因 > 新たに指定管理者制度導入を希望する施設はありませんでしたが、令和2年度更新対象であった、成東学童クラブ、松尾学童クラブ、大平学童クラブの指定が更新されたためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
経常収支比率	%	92.6	92.6	90
実質公債費比率	%	8.7	7.9	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.58	78.02	77

事務事業名 予算管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	155

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計、特別会計及び企業会計

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市会計の予算が適正に編成されるとともに、適正に執行されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市の当初予算及び補正予算等を編成し予算書を作成するとともに、財務会計システムにより予算の執行管理を行いました。予算編成にあたっては、総合計画の重点分野及び公共施設等総合管理計画を基とした資源配分の選択と集中により、財政健全化と政策推進のバランスをとる総合計画成果志向型予算編成により適正な予算を編成しました。

8月 投資的事業の要求内容確認（サマーレビュー）
 9月 予算仮要求（経常的経費、投資的事業）
 10月 予算要求説明会、予算本要求
 11月 資源配分会議等による予算の調整
 12月 市長査定
 2月 予算案を議会に提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
評価・点検をした事務事業数	事業	174	195	300
成果状況				
当初予算額（特定財源を含む）	百万円	22,960	23,100	23,856

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 当初予算額（特定財源を含む）は、昨年度より140百万円増加しましたが、一般財源の不足を補う財政調整基金繰入額は5,000万円減少しており、順調です。
 < 原因 > 支出額の大きい事業が予定されていることから当初予算額は増額となりましたが、地方債等を活用し一般財源による支出が増加しないようにしたためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
経常収支比率	%	92.6	92.6	90
実質公債費比率	%	8.7	7.9	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.58	78.02	77

事務事業名 基金管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 159

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

財政調整基金
その他の基金

事務事業の内容、やり方、手順

各種基金の計画的な運用による利子の積み立て及び急な支出への対応。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安定した財政運営のため、予算不足を調整する目的とした基金や特定の目的のための基金が積み立てられます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
基金取崩し額（単年度）	百万円	1,296	818	1,672
基金積立額（単年度）	百万円	503	954	292
成果状況				
財政調整基金残高	百万円	5,274	5,840	4,771

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	153,093	0	0	0	147,878	5,215	
02年度 実績	384,971	0	0	0	97,311	287,660	
03年度 当初	92,939	0	0	0	82,039	10,900	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 財政調整基金残高は、昨年度より566百万円増加し、順調です。
< 原因 > 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の縮小・中止などにより、繰入額が減少したためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
経常収支比率	%	92.6	92.6	90
実質公債費比率	%	8.7	7.9	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.58	78.02	77

事務事業名 市税等徴収事務事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	250

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市税（市県民税（普通徴収）、固定資産税、軽自動車税）の納税義務者
 収納金融機関・ゆうちょ銀行及びコンビニエンスストア

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市税の収納を効率的かつ適正に処理をするとともに納付機会が拡大し、納税者の利便性が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

・納税義務者に納付機会の拡大を推進します。（口座振替やコンビニエンスでの納付）

・収納管理については、現年度分で納期限経過後、未納者に督促状を発生し納付を促進します。

当初納税通知書に口座振替利用申込書及びコンビニエンス納付のご案内を同封しお知らせします。
 広報さんむ及び市ホームページで周知します。
 納税義務者が口座振替及びコンビニ納付した場合の手数料は無料です。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
納期内納付啓発回数	回	9	12	12
口座振替、コンビニエンスストア納付手続きのお知らせ数	人	45,028	44,631	46,000
成果状況				
督促状発送件数	件	24,098	21,512	21,000
口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合	%	54.8	58	60

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	20,995	0	0	0	0	20,995	
02年度 実績	9,847	0	0	0	0	9,847	
03年度 当初	12,209	0	0	0	0	12,209	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 前年度と比較して、督促状発送件数は2,586件減少し、口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合は3.2%増加しました。
 <原因> 広報さんむ及び市ホームページにおいて、口座振替・コンビニエンスストア納付を啓発した結果、口座振替・コンビニエンスストア納付の件数が前年度と比較して2,309件増加し、市税収納率が向上したことから、その結果として督促状発送件数が減少したと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市税収納率	%	97.58	97.58	98.53

事務事業名 債権回収事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	平成 24 年度 ~ 令和 03 年度		事務事業整理番号	1613

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市税（法人市民税除く。）及び国保税滞納者（前年度移管案件のうち未解決のもの）
 ・市税以外の公債権（法人市民税含む。）及び私債権滞納者（徴収困難なもの及び滞納が高額となっているもの）
 ・市職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公債権及び私債権の納付が促進されています。

事務事業の内容、やり方、手順

滞納者への債権回収（移管等によるもの）に取り組みます。
 ・各債権の移管協議の実施（年2回）
 ・財産調査、執行停止、差押、公売等実施（随時）
 ・状況調査、呼出し、納付相談の実施（随時）
 ・支払督促等法的措置の実施（随時）
 ・債権所管課への実務指導（随時）
 職員のスキルアップと全庁的な債権回収に取り組みます。
 ・研修会の開催
 ・債権管理連絡調整会議の開催、事務担当者会議の開催
 ・職員対象の債権回収相談業務、指導調整業務実施（随時）
 ・例規の制定改正及びマニュアルの整備（随時）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
財産調査、状況調査の件数	件	1,065	974	800
研修会及び会議開催回数	回	5	5	4
成果状況				
差押、法的措置件数	件	57	42	30
事務移管対象債権数	件	16	19	15

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,622	0	0	0	0	1,622	
02年度 実績	93	0	0	0	0	93	
03年度 当初	202	0	0	0	2	200	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > R元年度と比べ、差押・法的措置件数は26.3%減少しましたが、事務移管対象件数は18.8%増加しており、以下の原因から順調であると考えます。
 < 原因 > 法的措置件数は横ばいですが、差押件数が減少（33 21件）しており、コロナ禍の影響から調査をしても差押可能な財産が見つからないものと考えられます。一方、債権管理の取組が進むにつれ移管される非強制徴収公債権又は私債権の種類が増えてきており、これらの徴収業務に弁護士が着手することで、回収に繋がる可能性がより高まるものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市税収納率	%	97.58	97.58	98.53

事務事業名 法的債権回収事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	平成 27 年度 ~ 令和 03 年度		事務事業整理番号	1821

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

非強制徴収公債権滞納者
私債権滞納者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

非強制徴収公債権及び私債権の納付が促進されています。

事務事業の内容、やり方、手順

自力執行権を有しない非強制徴収公債権及び私債権の回収業務を弁護士に委託します。

事業内容

- ・弁護士名で滞納者に対して催告書を発送（年2回）
- ・納付相談（弁護士との個別面談）を行い適切な助言や納付交渉を行うと共に納付相談を踏まえ、債務者の生活状況から、本人に見合った適切な回収の方向性を判断（年2回）
- ・債権管理の専門的な助言や指導
- ・弁護士法に基づく債務者の財産調査、所在調査
- ・特に困難な案件の訴訟代理人の委任

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
催告書発送件数	件	17	28	20
納付交渉件数	件	4	3	15
成果状況				
回収金額	千円	1,415	869	1,000
分納による回収見込額	千円	2,890	7,670	2,200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,193	0	0	0	0	1,193	
02年度 実績	1,432	0	0	0	0	1,432	
03年度 当初	1,415	0	0	0	1	1,414	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > R元年度と比べ、回収金額は38.6%減少しましたが、徴収業務移管による回収見込額が165.4%増加しており、以下の原因から順調であると考えます。
< 原因 > 移管債権の増加により、回収見込額が大幅に増加しました。移管債権の徴収業務に弁護士が着手することで、回収に繋がる可能性がより高まるものと考えられます。回収金額については、R元年度弁護士による訴訟代理事案で54万円の一括回収があった一方、R2年度では高額の回収事案がなかったため、回収件数は増加（54 60件）したものの回収金額が減少に転じたものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市税収納率	%	97.58	97.58	98.53

事務事業名 学校等跡地利活用検討事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	令和 02 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	2076

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

閉校となる小中学校等の跡地施設（校舎・運動場等）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

閉校となる小中学校等の跡地施設について、有効活用が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

・令和3年3月末で閉校の旧山武西小学校、旧日向小学校及び令和元年7月に廃園の旧蓮沼幼稚園の跡地利活用について、関係部署と検討を進めました。
 ・山武市学校等跡地の利活用方針（令和2年11月策定）において、跡地利用の基本的な考え方と検討手順等を定めました。
 ・文部科学省が所管する「みんなの廃校プロジェクト」や千葉県商工労働部企業立地課が所管する「空き公共施設等を活用した企業進出支援事業」を活用し、民間事業者等からの事業提案について意見交換を進めました。
 ・旧山武西小学校は、令和3年4月1日から令和4年12月末まで、千葉県立農業大学校への貸出が決定しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
学校等跡地利用の周知PR回数	回		2	4
学校等跡地利用希望者との相談回数	回		34	16
成果状況				
学校等跡地利用希望者からの照会件数	件		24	8
学校等跡地の利活用者の決定件数	件		1	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	7	0	0	0	0	7	
03年度 当初	12	0	0	0	0	12	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 旧山武西小学校は、令和3年4月1日から県立農業大学校への貸出しが決定しました。旧日向小学校と旧蓮沼幼稚園は、民間事業者等の活力の活用を検討するため、国県の支援事業を活用し、企業等との意見交換を進めましたが利活用には至りませんでした。
 <原因> 民間事業者等の活用では、公募型プロポーザル方式により優先交渉権者を選定する必要がありますが、令和2年度内に準備が整わず公募の実施が出来なかったことが挙げられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市保有の土地利用率	%	45.5	46.6	50
公共施設維持管理費	万円	143,715	215,556	192,000

事務事業名 本庁舎管理運営事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 177

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

本庁舎施設、施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

本庁舎施設が、施設利用者（市民、職員等）にとって安心して利用できる環境になっています。

事務事業の内容、やり方、手順

本庁舎施設の維持管理業務を行います。

保守点検業務
電気保安業務、消防設備保守点検業務、空調設備保守点検業務、自動扉保守点検業務、排煙設備保守点検業務、浄化槽管理業務、エレベータ保守点検業務、電話設備保守点検業務
維持管理業務
夜間警備業務、庁舎清掃及び環境衛生管理業務、植木管理業務
日常管理業務
光熱水費管理、電話料管理、放送受信料管理、本庁舎施設修繕等

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
本庁舎施設の修繕件数	件	22	21	5
成果状況				
庁舎施設の不具合件数	件	2	1	0
クレーム件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	65,278	0	0	0	743	64,535	2,862
02年度 実績	71,167	0	0	3,400	1,224	66,543	
03年度 当初	64,930	0	0	0	1,050	63,880	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 修繕件数及び不具合件数ともに前年度比で減少しているため、施設利用者（市民・職員等）にとって安心して利用できる環境となっています。
原因 保守点検等の結果に対応した修繕を行うことによって、予防保全が進められており、壊れてから直すという事後保全が減少しているためと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	45.5	46.6	50
公共施設維持管理費	万円	143,715	215,556	192,000

事務事業名 庁用車適正配置事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1578

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員 庁用車

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

庁用車が各部に適正に配置されています。 庁用車の環境負荷が低減しています。
--

事務事業の内容、やり方、手順

保有する庁用車を最大限有効活用するために必要な調査を行い、利用状況に応じた配車を行います。 また、新規登録から13年を経過している庁用車については、適宜、環境負荷の少ない車両へ買い替えを行います。 ・庁用車の利用状況調査等 ・環境負荷の少ない車両への買い替え
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
新車購入台数	台	2	1	0
廃車台数	台	4	2	0
成果状況				
公用車1台に対する職員数	人	4.35	4.43	4.8
共用車の稼働率	%	66.1	60.4	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	5,217	0	0	0	0	5,217	
02年度 実績	2,917	0	0	0	0	2,917	
03年度 当初	1,760	0	0	0	0	1,760	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 新規購入1台、廃車が2台であり全庁的に適正な配置を進めています。
原因 老朽化し環境負荷の大きい車両1台及び令和元年度台風により被災した車両1台の計2台を廃車し、利用用途に即して1台購入したことにより順調です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	45.5	46.6	50
公共施設維持管理費	万円	143,715	215,556	192,000

事務事業名 公共施設マネジメント事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	1731

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が保有する公共施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・継続的に公共施設情報が管理・更新されています。
- ・公共施設の現状や将来見込まれるコストの見通し等が把握できています。
- ・将来の需給バランスを踏まえた公共施設のあり方や方向性が検討されています。

事務事業の内容、やり方、手順

社会経済状況の変化等に対応した見直しが強求められる公共施設に対し、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、総合的かつ長期的に計画、管理活動を行うことで、公共施設の「最適なストック量」と「最適な管理運営」を実現します。

【事業内容】
平成28年度～平成30年度 保全情報システム更新・運用
平成30年度～令和2年度 公共施設個別施設計画策定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
維持管理費削減に係る取組数	件	3	87	87
成果状況				
公共施設維持管理費	千円	1,437,145	2,155,561	1,728,460

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,331	0	0	0	0	1,331	
02年度 実績	1,166	0	0	0	0	1,166	17,237
03年度 当初	7,711	0	0	0	0	7,711	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 公共施設維持管理費は2,155,561千円で、前年度より718,416千円増加しました。
原因 会計年度任用職員制度の開始により、臨時職員賃金が会計年度任用職員人件費への計上及び小中学校での生徒用タブレットの購入費によるものと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市保有の土地利用率	%	45.5	46.6	50
公共施設維持管理費	万円	143,715	215,556	192,000

事務事業名 庁舎感染症対策環境整備事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	令和 02 年度 ~ 令和 02 年度		事務事業整理番号 2132

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市役所庁舎への来庁者及び職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市役所庁舎の感染症対策の実施により、来庁者及び職員の感染を予防する環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

カウンターに設置する飛沫防止用パーテーションや消毒液等を購入しました。

- ・山武杉被害材使用飛沫防止用パーテーション 109台
- ・非接触式自動温度検知器 6台
（本庁舎2台、教育委員会庁舎1台、出張所各1台）
- ・消毒液等其他消耗品

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
購入数	個		115	188
成果状況				
整備率	%		100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	2,028	2,028	0	0	0	0	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
市役所庁舎に飛沫防止用カウンターパーテーション及び非接触式自動温度検知器等を整備したことから、順調としました。
<原因>
感染症対策に必要な備品等を調査し、的確な箇所へ整備する対策を講じたことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	45.5	46.6	50
公共施設維持管理費	万円	143,715	215,556	192,000

事務事業名 松尾IT保健センター施設等改修事業

市民部 松尾出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	2019

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾IT保健福祉センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

施設利用者の安心安全な利用環境を整えます。

事務事業の内容、やり方、手順

施設の老朽化による、松尾IT保健福祉センターの建物外部鉄骨
 定着部欠損等を改修し、耐震性の復旧を行います。
 ・R1 実施設計委託を行います。
 ・R2 工事監理及び改修工事を行います。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
委託件数	件	1	1	0
工事件数	件	0	1	0
成果状況				
改修進捗率	%	30	100	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	462	0	0	0	462	0	
02年度 実績	26,806	0	0	0	26,806	0	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 前年度の工事実施設計業務の完了に伴い、本年度は施設改修工事並びに工事監理業務委託を執行しました。
 < 原因 >
 設計図書により計画的かつ速やかな入札の執行をしたことで、遅滞なく予定通りの工事完了（100%）となりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	45.5	46.6	50
公共施設維持管理費	万円	143,715	215,556	192,000

事務事業名 証明書等コンビニ交付構築事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	06	基本事業名	情報化の推進と適正管理	
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1556

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

市民が住基カード及び個人番号カードを利用して、全国のコンビニで各種証明書等（住民票の写し、印鑑登録証明書、税証明書及び戸籍）を取得するためのシステムの維持管理を行いました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民がコンビニで各種証明書等（住民票の写し、印鑑登録証明書、税証明書及び戸籍）の取得ができます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
保守業者等の保守点検日数	日	-	-	-
住基カード・個人番号カード発行枚数	枚	6,901	13,089	18,000
成果状況				
コンビニで受け取ることができる証明書等の種類	種類	8	8	8
コンビニ交付件数	件	1,827	2,753	4,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	14,892	0	0	0	0	14,892	
02年度 実績	15,054	0	0	0	0	15,054	
03年度 当初	15,054	0	0	0	0	15,054	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<成果>
 コンビニ交付件数は2,753件となり、昨年度と比較し50.7%増加しました。
 <原因>
 マイナンバーカードの普及により、利用者対象者が増えたため、大幅に増加したものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
市のICTサービスを利用している市民割合	%	41.5	43.1	31
主要情報システムの予期せぬ停止時間（年間）	時間	0	0.5	0

事務事業名 例規・法制支援事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1476

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員、市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

例規の制定改廃にかかる職員の事務の合理化、省力化を図ります。
市民が各種申請等を行う際の事務負担の軽減を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

例規立案、例規集の作成及び既存例規データ更新等に関する業務を委託により実施します。
（業務内容）
制定改廃した例規を既存の例規集に溶け込ませ、データベースを更新する。（年4回）
法令・判例情報の提供（随時）
法制執務に係る相談（随時）
例規起案ソフトによる例規立案支援（随時）
市が行う行政手続について、各々の標準処理期間や申請書、必要添付書類等の整理を行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
例規データベース更新回数	回	4	4	4
例規制定改廃件数	件	235	311	150
成果状況				
例規データ更新スケジュール順守率	%	100	100	100
例規改正漏れ件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	4,300	0	0	0	0	4,300	
02年度 実績	4,334	0	0	0	0	4,334	
03年度 当初	4,335	0	0	0	0	4,335	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 例規データ更新スケジュール順守率は100%でした。
< 原因 > 最新法令の情報収集や例規改正手続など、例規支援システムの活用によって効率的に事務が進められているものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値

事務事業名 監査委員活動費

監査委員事務局 監査委員事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	03	基本事業名	監査の充実	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	684

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計 特別会計 企業会計 市役所全部署

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

監査業務が適正かつ計画的に行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市監査計画に基づき、各監査等を実施します。 1 例月現金出納検査...現金の残高や出納事務が適正に行われているかを主眼として実施（毎月25日） 2 決算審査、基金運用状況審査...決算の計数の正確性や事業の経営が適正かを検証（企業会計6月、一般会計及び特別会計7月） 3 財政健全化審査及び公営企業経営健全化審査...健全化判断比率が適正かを主眼に実施（8月） 4 定期監査...財務の執行や事業の管理が適正かを主眼として実施 5 工事監査...技術面の調査を技術士に委託して実施（随時）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
監査等を実施した件数	件	5	4	5
成果状況				
指摘事項等の件数	件	24	41	41
計画に対する監査等実施率	%	100	80	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,072	0	0	0	0	1,072	
02年度 実績	1,092	0	0	0	0	1,092	
03年度 当初	1,092	0	0	0	0	1,092	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<p><状況> 監査等を実施した件数は目標値より1件減で、計画に対する監査等実施率は80%となりました。指摘事項等の件数は41件となり、目標値を達成することができませんでした。 <原因> 監査計画に基づき監査等を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い緊急事態宣言が発出されたことにより、随時監査である工事監査の実施を見送りました。指摘事項等の件数は増加しましたが、監査等により是正すべき点を明確にすることにより、事務が適正に行われるようになります。なお、指摘事項等は、すべて措置が講じられています。</p>

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
監査による指摘事項などの措置率	%	100	100	100

事務事業名 窓口サービス向上事業

市民部 市民課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上
計画年度	平成 28 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1959

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

窓口サービス利用者

事務事業の内容、やり方、手順

正確でわかりやすい手続き等を提供するために、窓口サービス
の向上に向けた取り組みを検討導入します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

窓口での手続きの円滑化と時間短縮が図られ、窓口サービスの
満足度が向上します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
窓口サービス向上に係る取組の検討件数	件	2	1	
成果状況				
窓口サービス向上に係る取組の導入件数	件	2	1	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績							
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和2年度の窓口サービス向上に係る取組の導入件数は1件で、窓口番号案内システムの番号発券機や利用方法の表示を改善しました。
< 原因 > 限られたスペースで番号発券機を設置するため、記載台を移動することで対応しました。また、番号案内表示システムの利用の流れがわかりやすくなるよう写真等を活用した案内表示パネル版を設置したことで、スムーズな利用につながりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82	81.9	84

事務事業名 山武出張所事務費

市民部 山武出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 218

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出 83件 ・諸証明交付 1,732件
 ・住民基本台帳に関する届出 731件 ・諸証明交付 4,628件
 ・マイナンバーカード発行申請等 1,233件
 ・印鑑登録 456件 ・印鑑証明交付 3,839件
 ・国保・後期高齢・年金に関する届出 1,947件
 ・各種税関係申請等の收受 850件 諸証明交付 1,901件
 ・市税等の収納 8,264件 ・ごみ袋販売 214件
 ・障害者福祉等に関する届出 1,443件
 ・児童手当等に関する届出 928件
 ・要介護及び要支援認定等に関する届出 469件
 ・交通災害共済の申請 240件 ・緑の羽根募金の受付 75件
 ・その他の申請及び届出 344件

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。
 ・金融過疎地である山武地区の収納機関としても利用できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
窓口サービス取扱件数	件	31,678	29,377	32,000
成果状況				
出張所利用者数	人	26,913	24,152	27,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	4,746	0	0	0	4,131	615	
02年度 実績	523	0	0	0	523	0	
03年度 当初	670	0	0	0	670	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 山武出張所利用者数が前年度より2,761人減少、窓口サービス取扱件数は2,301件減少しました。
 <原因>
 人口の減少、コンビニ収納やコンビニ交付の利用で窓口サービス取扱件数が減少し、新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い、本庁担当課に郵送での申請が可能となったことなどが来庁者数の減少と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82	81.9	84

事務事業名 蓮沼出張所事務費

市民部 蓮沼出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上		
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号	217

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出111件 ・諸証明交付674件
 ・住民基本台帳に関する届出164件 ・諸証明交付942件
 ・マイナンバーカード発行申請等142件
 ・印鑑登録51件 ・印鑑証明交付969件
 ・国保・後期高齢・年金に関する届出555件
 ・各種税関係申請等の收受327件 ・諸証明交付556件
 ・市税等の収納2608件 ・ごみ袋販売128件
 ・障害者福祉等に関する届出266件
 ・児童手当等に関する届出196件
 ・要介護及び要支援認定等に関する届出150件
 ・交通災害共済の申請96件 ・緑の羽根募金の受付15件
 ・その他申請及び届出250件

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。
 ・税金等の収納機関として利用できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
窓口サービス取扱件数	件	9,048	8,200	9,176
成果状況				
出張所利用者数	人	7,199	6,734	7,458

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	243	0	0	0	243	0	
02年度 実績	297	0	0	0	297	0	
03年度 当初	233	0	0	0	233	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 窓口サービス取扱件数及び出張所利用者数ともに減少傾向ですが、マイナンバーカード関連や介護・障害・年金等の手続き相談が増加傾向にあり、一人当たりの所要時間は増加傾向にあります。
 < 原因 >
 人口の減少とコンビニでの納税や証明書の交付対応により、また新型コロナウイルス感染症の影響で申請の郵送提出が推奨された関係で、利用者が減少していると思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82	81.9	84

事務事業名 松尾出張所事務費

市民部 松尾出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	216

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

事務事業の内容、やり方、手順

- ・戸籍の届出及び諸証明交付 1,587件
- ・住民基本台帳に関する届出及び諸証明交付 3,012件
- ・マイナンバーカード発行申請等 74件
- ・印鑑登録及び印鑑証明交付 2,027件
- ・国保・後期高齢・年金に関する届出 1,357件
- ・各種税関係申請等の收受及び諸証明交付 1,823件
- ・市税等の収納 4,644件 ・ごみ袋販売 136件
- ・障害者福祉等に関わる届出 952件
- ・児童手当等に関する届出 615件
- ・要介護及び要支援認定等に関する届出 404件
- ・交通災害共済の申請 307件 ・緑の羽根募金の受付 44件
- ・その他の申請及び届出 381件

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。
- ・税金等の収納機関として利用できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
窓口サービス取扱件数	件	18,878	17,363	19,000
	件	0		
成果状況				
出張所利用者数	人	15,636	14,064	15,000
	件	0		

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,342	0	0	0	1,342	0	
02年度 実績	359	0	0	0	359	0	
03年度 当初	375	0	0	0	375	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 本年度の松尾出張所の窓口サービス取扱件数に係る前年度比は、1,515件（8.0%）の減少で、利用者数については、1,572人（10.1%）の減少となりました。共に概ね維持・横ばいの状況です。
 < 原因 > ここ数年の窓口サービス取扱件数及び利用者数は減少している状況です。主な理由としては、松尾地区の人口減少と高齢化が考えられます。また、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、市民の行政に対する各種更新手続きの延長措置や諸々の交付申請などの窓口事務が、郵送等による対応（本庁原課あて）となったことが考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82	81.9	84

事務事業名 議員研修事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進		
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号	670

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市議会議員

事務事業の内容、やり方、手順

・議会運営委員会、常任委員会及び特別委員会が、それぞれ所管事務について行う行政調査・研修に対する費用。
 ・審議能力を高めるため、先進の事例等を研修します。
 ・議員資質向上を目的とした研修会への出席に対し、費用の負担を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

情報収集、調査研究活動が充足しています。
 審議能力及び政策立案能力が向上され、議会での議論が活発化し、市政の課題解決に取り組むことができます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
実施する研修の数	回	8	2	11
参加人数	人	72	19	91
成果状況				
議員一人当たりの研修会参加回数	回数	3.6	1	4.8

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績	1,307	0	0	0	0	1,307	
02年度 実績							
03年度 当初	2,786	0	0	0	0	2,786	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 議員一人当たりの研修会参加回数は、令和元年度より2.6ポイント減少しました。
 <原因> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、研修会が中止となったことが大きな要因と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値

事務事業名 特別定額給付金給付事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	99	政策名	総合推進
施策番号	01	施策名	政策の総合推進
基本事業番号	01	基本事業名	総合推進
計画年度	令和 02 年度 ~ 令和 02 年度		事務事業整理番号 2090

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

基準日（令和2年4月27日）において、市の住民基本台帳に記録されている者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新型コロナウイルス感染症による家計への負担が軽減されま

す。

事務事業の内容、やり方、手順

給付対象者1人につき10万円を給付しました。

- 1 給付対象者
基準日（令和2年4月27日）において、市の住民基本台帳に記録されている者
- 2 受給権者
給付対象者が属する世帯の世帯主
- 3 受付期間
(1) オンライン申請：5月1日～8月18日
(2) 郵送による申請：5月18日～8月18日
- 4 給付対象・給付実績
(1) 給付対象：50,837人（22,451世帯）
(2) 給付実績：50,704人（22,335世帯）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	01年度	02年度	03年度
対象者数			50,704	0
成果状況				
給付率			99.7	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
01年度 実績							
02年度 実績	5,087,936	5,087,936	0	0	0	0	
03年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

02年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
給付対象者のうち、99.7%の方に対して給付を行い、「簡素な仕組みで迅速かつ確な家計への支援を実施する」という当初の目的を概ね達成することができました。
<原因>
オンライン申請の活用によって早期から申請受付を開始したことや、未申請者に対する申請の再勧奨を行ったこと等によって迅速かつ確な家計への支援が実施できたものと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	01年度	02年度	めざそう値

